

大阪男声合唱団東京支部 練習報告

もくじ

2015年	1
2014年(降順)	4
2013年(降順)	30
2012年(降順)	64
2011年(降順)	86
2010年(降順)	101
2009年(降順)	114
2008年(降順)	125
2007年(降順)	135
2006年(降順)	147
2005年(降順)	162

2015年

日時：2015. 7. 11(土) 14:00~17:00

場所：於 文京シビックホール B1F 練習室1

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：上田 高木 丸谷 村田 吉識 寺尾* 松本*

TII：宇野 岡部 北村 国分 富田 江守

BI：大野 奥村 福井 藤山 湊山

BII：木戸 鈴木 待山 山邊 馬頭*

*：賛助出演者

ピアノ：坂田

練習内容

- 定演前の最後の通常練習。ステージ順に全曲のおさらいをした
- 次回18日(土)の前日練習は、場所・時刻などいつもと異なりますので、この報告の最後にある、次回練習を確認ください

1. Schubert 合唱曲集

1. 1 Die Nacht

- p1-1段-4小節 リズムを正確に
- p1-4段-4小節 en の n は3拍目の頭で
- p2-1段-1小節 T1の gend は早く切りすぎないように

1. 2 Die Nachtigall

- しっかりリズムに乗り、歌詞が前出しにならないよう（走らない！）
- 練習番号 D～F ベース系は2拍目の裏の入りが早くなりがちなので注意
- p9-1段-3小節 6拍目の so に入る前にスキマを意識する

1. 3 Der Lindenbaum

- 和音の変化を意識し、和音の中での役割も考えて歌う
- p1-3段-1～4小節 B1は音の動きを正確に
- p3-2段-1小節 練習番号Dからテンポが変わることを忘れないで

1. 4 Das Dorfchen

- p6-1段-3、4小節他 16分音符の動きで歌詞が続くが、さらっと歌えるように

2、岬の墓

- 9小節 T1は mp だが 自信をもってしっかり入る
- 18小節 T1は p だが、しっかり目に歌う
- 21小節 「日は」 の入りはまっすぐな音で（こぶしを入れない）
- 26小節 B1、B2は 「みおろせば」 の 「ば」 への下行を正確に
- 44小節 刻まずに音をつなげる。「うつくしい」と「ふね」の間はスキマを意識
- 53小節 T2はアクセントは無い。スラーで f
- 54小節 B1、B2は cresc. decresc. を意識
- 73～76小節 言葉を大切にし 子音もはっきりと
- 85小節 T2、B1は入るタイミングが遅れないよう 87小節の 「うつくしい」 の入りも同様
- 87小節 T1、B2はT2、B1の動きに乗って入る
- 113小節 B1、B2は 「ふかく」 の 「か」 を丁寧に
- 132小節 B2の上行は、ピアノの動きと同じになるよう落ち着いて動く
- 179、180小節 T2、B2 アクセントは無い。テヌートで
- 182小節 T1は Gis にしっかり上がることを。力を抜いてしまわない
- 187小節 T1は Gis への上りをしっかりと
- 229小節 この小節の前にスキマは入れるが テンポは遅くしない
- 241、242小節 ブツブツ切らないよう
- 256小節他 「なにを聞こう」 の k をはっきりと
- 263小節 その前の小節のピアノの音をしっかりと聞き、ハミングの和音を正確に

3. 明日へ続く道

3. 1 君影草

- 2～5小節他 休符は入っているが、ブツブツ切れた感じにならないよう
ベース系はテナーのエコー を意識
- 31小節 B1は 「やさしさは」 の上行を正確に

●57小節 B1は Cis への上りを正確に

3. 2 もう一度

●走らないよう指揮を見る

3. 3 悲しみの意味

●17～20小節 リズムを正確に

3. 4 明日へ続く道

●82小節 リズムを正確に

●87小節 *cresc.* を意識。最後までしっかりとばす

4. 柳河風俗詩

4. 1 柳河

●p46-2段-4小節 気持ちを込めて

4. 2 紺屋のおろく

●p47-1段-2小節～ *poco a poco accel.* です

●p48-3段-3小節～ *legato* です

4. 3 かきつばた

●p49-4段-1, 2小節 B1、B2はさらっと歌う

●p50-1段-5小節 T2は 「しおれて」 の「て」 をのぼし過ぎない

4. 4 梅雨の晴れ間に

●言葉を意識して歌い、言葉が伝わるように

●p51-5段-4, 5小節 T1、T2は一生懸命感が出ないよう

次回練習

<7月18日(土)> 15:00～19:00 新宿村セントラル B204

14:30から入室できますので早めに来場ください

練習順は以下の通りです

柳河 →アンコール曲 (外大及び柳河のみの賛助出演者はここまで)

→岬の墓 →シューベルト →明日へ続く道

新宿村スタジオの場所は下記URLで確認ください

<http://www.shinjukumura.co.jp/map/>

特記事項

●特になし

以上 報告者 江守

2014年（降順）

日時：2014. 06. 29(日) 14:00～17:00

場所：於 文京シビックホール B1 練習室2

参加者(敬称略)

指揮：坂田

TI：上田 高木

TII：国分 富田 本間 江守

BI：宇野 大野 福井 藤山

BII：大城 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- アンコール曲の「大地讃頌」の初練習で、譜読みに続き歌詞で練習
- 「ノスタルジア」を「故郷」から順次、歌詞の表現や音の保ち方などに留意して練習
- 「光る刻」を最初から順次、テンポ感やアクセント、テヌートの入れ方等に留意しつつ練習

1. 大地讃頌

- 譜読みを全体・パート別に、区切りながら行った後、歌詞を付けて練習
- 35小節 T1、T2は歌詞をしっかりとテヌートで歌う
- 55小節への入りは指揮をしっかりと見て入ること

2. ノスタルジア

2-1 故郷

- 1～15小節は楽譜を見ないで歌う
- 17～24小節 T2などメロディー以外のパートは子音がタイミングよく出るように
- 32～39小節 T2はレガートを心掛けて歌う。他のパートも同様

2-2 砂山

- 1小節目 B1、B2は1拍目の裏から入るがしっかりと準備して入ること。
2小節目のT1、T2も同様
- 20～26小節 あまり跳ねないように
- 37小節 T1、T2は早く音を切り過ぎず、しっかりと保つこと
- 46～48小節 途中で消えても良いが緊張感を持続し48小節のフェルマータも意識し
最後は指揮に従う

2-3 鉾をおさめて

- テヌート付きのアクセントやアクセントなどの指示を意識して歌う
- 49小節 最後は伸ばしすぎないように、指揮を見る

2-4 赤とんぼ

- 32小節 T2は他のパートと異なるリズム感をしっかりと出すこと

2-5 みかんの花咲く丘

- 25 小節 B1 の入りは出遅れないよう。
- 22～29 小節 B2 は走らないようにたっぷりと歌う
- Coda への飛びをしっかり意識しておく

3. 光る刻

3-1 老いたきつね

- 9 小節 B1 は曲の最初の歌詞なのでしっかりと表現
「ふゆびが」の「が」の出し方が浅くなり過ぎないように留意
- 15 小節 「ふゆびが」の「が」は鼻濁音で遅れずにしっかり入る
- 30 小節 T1 の「きつねは」をしっかり入る
- 41、42 小節 T1、T2 は p だが「押し寄せる潮騒の」エネルギーを感じさせるように
- 52 小節 「くもに」の「く」の入りが揃うように
- 68～72 小節 73 小節からのテンポを目指して accel. する

3-2 もぐら

- 「ふかい」の「ふ」はしっかり母音をだし、「か」の方が強く聞こえることが無いよう
- 26～33 小節 「ランラン」は跳ねずに音の長さをキープする
51～53 小節の「めが」 や 59～61 小節の「ほって」 76、77 小節の「きらく」も同様
- 117 小節 伸ばしすぎないように指揮を見る

3-3 鹿

- 29～33 小節 accel. で 34 小節のテンポになるよう、指揮を見て
40～42 小節も同様

3-4 象

- 楽譜では♩=84 となっているが ♩=94 で振られる
- 32 小節 B1、B2 は難しいリズムなので体で覚える

次回練習

<7月5日(土)> 14:00～17:00 於：文京シビックホール B1 練習室1

- 「ノスタルジア」「光る刻」

特記事項

- 7月5日(土)と6日(日)は連続で萩原先生が来京されての練習となる

以上 報告者 江守

日時：2014. 06. 15(日) 14:00～17:00

場所：於 新宿文化センター4F 第二会議室

参加者(敬称略)

指揮：坂田

T I：上田 高木 丸谷 村田

T II：北村 国分 富田 本間 江守

B I：大野 福井 藤山 湊山

B II：大城 甲和 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- 大阪から来京された坂田指揮者により、「ミサ」Kyrie から Agnus Dei まで順次練習した。
- 歌詞の意味と曲の表情、その変わり目などについての確認を行った。
- 最後にアンコール曲の muß i denn を正しいドイツ語の発音を確認しながら歌った

1. ミサ

- 昨年の William Byrd のようにモノクロームではなく、華やかさのようなものもあるという意識で歌うこと

1-1. Kyrie

- 1~5 小節あたり p で dolce だが優しい感じで、縮こまらずに歌う
- 4 分音符で動く箇所はしっかりと歌うこと
- 23 小節~ christe eleison . . . はぶつ切りではなく言葉の塊が伝わるように
- 27~32 小節 この間の動きは T1→T2→T1 への滑らかなつながりを意識して
- 38 小節 4 拍目~40 小節 落ち着いた感じにする
- f で 4 分音符で動く所は 2 拍子のような感じでスムーズに動く

1-2. Gloria

- 30 小節~ ここからは主への願いになるので少しテンポを落とす
- 31 小節 T2 の cresc. decresc. はしっかりと表現して良い
- 37 小節 言葉の塊が聞こえるように sedes ad と dex-te-ram の間は区切りを
- 44、46 小節 qu-ni-am の am は強くなり過ぎないように

1-3. Credo

- 11 小節 3 拍目から f だが et ex まではあまり重要な言葉ではない
- 13 小節 p は 15 小節の f に行くための流れなので極端な p にしなくて良い
- 24 小節 ピアノ伴奏が無い所は聞かせ所。言葉を大切に歌う。
- 29 小節 ここからの dolce は少し神秘的な表現で
母音の響きを同じに保つこと
- 41、42 小節 p p だが改めて復誦するために弱めと言う感じで
- 43 小節 4 分休符 1 拍の後の 4 拍目からそれまでと別の世界になる
フェルマータの後、普通の長さで 1 拍休んですぐ 4 拍目に入る
4 拍目の Et より 44 小節からの re-sur-re-xit を大事に歌う
- 46 小節 p でテンポが緩まないように
- 64~73 小節 言葉がしっかり伝わるよう区切りを意識して歌う
- 68 小節 conglorificatur の入りは、各パート揃いを意識して入る
- 73、74 小節 この小節の間はそのままの流れで動く
- 75 小節 6 拍目の in re- の前に少し区切りを意識する
- 78 小節~ ここからは明るめの声で
f だが最初の Et より ex-pe-cto が大事

- 82 小節 T2 はメロディーなのでしっかり歌う。低音系は強すぎないように
- 88 小節 長めに伸ばすので最後まで弱くならないように
- 全体的に f では支えの無い生の声にならないよう、気を付けて歌う

1-4. Sanctus

- 1 小節~ p p だが芯のある声で
- 8~11 小節 B1→T2→T1 と移っていく 4 分音符の動きをしっかりと
- 13 小節~ 刻まないでゆったり目の感じで
- 15 小節~ 他のパートの動きを感じながら歌えるようになることが大事
- 23 小節 4 拍目の和音が大事

1-5. Benedictus

- リズム感を出したいので流れを感じるように
- 44 小節 sis の最後の s は 6 拍目の頭で入れる

1-6. Agnus Dei

- 1~5 小節 ピアノの刻みに合わせてタイミングよく母音を出すように
- 7 小節 T2 の 4 拍目の se はしっかりとタイミングよく
- 21 小節 p だが響きは保って
- 37~39 小節 T2 の cresc. decresc. はのびのびと支えのある声で
- 49、50 小節 T1 の do-na は存在感を出す

2. Muß i denn

- Muß i は「ムシ」ではなく「ムス イ」
wenn i は「ベニ」ではなく「ベン イ」
- 2 番は T2 がメロディーなので T2 はしっかり歌い、他のパートはメロディーを聞く

次回練習

<6月29日(日)> 14:00~17:00 於:文京シビックホール B1 練習室2

- 「ノスタルジア」「光る刻」

特記事項

- ミサの練習は次回は7月19日で、かなり先なので、各自しっかり自習のこと
- 練習後、恒例の懇親会を坂田指揮者の参加を得て行った。
これからの演奏会の話やミサの滑舌の話などで多いに盛り上がった。

以上 報告者 江守

日時: 2014. 06. 14(土) 14:00~17:00

場所: 於 新宿文化センター4F 第二会議室

参加者(敬称略)

指揮: 甲和

TI: 上田 高木 丸谷 村田

TII: 北村 国分 富田 本間 江守

BI: 宇野 大野 福井 藤山 淵山

BII: 大城 木戸 待山 山邊

練習内容

- 「ミサ」 Kyrie から Agnus Dei まで順次練習した。
- 歌詞の発音の仕方、合わせ方、フレーズ間の隙間の取り方などの細部を確認しつつ、曲の表情の変化点などについても確認した。

1. Kyrie

- 2小節 Kyrie と eleison が分かれて聞こえるよう、隙間を意識する
- 3小節 下3パート elei のリズムはパートにより異なるが i の入りを合わせる
- 21小節 son の n は4拍目の頭で入れるつもりで
- 32小節 Chris の i は短かすぎないように
- 35小節 T2 はしっかり出し、他の3パートは T2 の邪魔にならない cresc. で
- 56小節 p だが言葉ははっきり出すこと
- 61~63小節 T2、B1 の Kyrie の頭のアクセントを意識し、受渡していく感じで
- 70小節 B2 の動きはしっかりと

2. Gloria

- 1小節 terra はテッラー
- 2小節 homini はオミニ（ホミニではない）
- 17小節 tu-am はテヌートで（アクセントのようにならないこと）
- 13小節 gratias の ti はツイ
- 30小節 テンポが変わるので指揮を見て qui に入ること
- 35小節 T1 の cationem の ti はツイ
- 50小節 mus をしっかり揃えて言い切ってから Jesu に入る
- 58~59小節 tris、と a-men の間に隙間を入れる

3. Credo

- 1~3小節 言葉をリズムに乗せて出す
母音が短すぎると言葉のかたまりが分からなくなるので注意
- 11~13小節 符点8分音符+16音符のリズムと 8分音符+8分音符のリズムの違いを意識して
- 22小節 B2 は qui をしっかり入る
- 24小節 nostram と salutem が離れて聞こえるよう
- 32小節 T1 の san の n は他のパートと同じタイミングになるように
- 33小節 Maria の m をはっきりと
- 37~41小節 言葉をはっきりしゃべること
- 41小節 T2 の4拍目の pas-sus ははっきりと
- 68、69小節 sf はリズムに乗って
- 70、71小節 B1 は聞かせる

4. Sanctus

- 3、4小節 T1 のテヌートは丁寧に歌う気持ちで
- 13小節 ここからテンポが変わる。ple-ni sunt・・・少しマルカートで
- 長くのばす音は拍を数えながら音にする

5. Benedictus

- 短い曲で練習時間も少ないので、曲の感じを忘れないよう自習しておく

6. Agnus Dei

- 伴奏のリズムを意識しながら歌う。特に8分音符での動きの時
- 7~9小節 T2の7、9小節、B1の8小節の4拍目はタイミングよく子音を出し
しっかり動く
- 12小節 B1、B2の *cresc. decresc.* は極端にならない範囲で
- 17、18小節 4分音符が続く所は、走らないでたつぷりと
- 23、24小節 この2小節をかけて *cresc.* で *p* から *f* に持って行く
- 31小節 ここから長調になる。最初の和音が大切なので綺麗に
- 34小節 T1は明るめに B2の *peccata mun-* の上昇音も明るめに
- 35~40小節 各パートの動きが異なるのでそれぞれしっかり動くように
- 42小節 B2の4拍目の半音上がる所は広めを意識した半音で
以後の各パートの半音の動きも重要
- 45小節 T1は3拍目以降、長いフレーズに入ることを意識してブレスを
- 45小節 3拍目の縦の揃えが重要。以降48小節までしっかりと歌う
- 49小節 T1は3拍目以降もしっかりと（3拍目の入りの力が抜けないよう）

次回練習

<6月15日> 14:00~17:00 於：新宿文化センター 4F 第二会議室

- 「ミサ」を坂田指揮者で練習予定

特記事項

- アンコール曲の「大地讃頌」の楽譜が配付された

以上 報告者 江守

日時：2014. 06. 07(土) 9:30~12:00

場所：於 新宿文化センター4F 第二会議室

参加者(敬称略)

指揮：甲和

T I：上田 高木 丸谷 村田

T II：国分 富田 本間 江守

B I：大野 福井 藤山 池田

B II：木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

(B1 池田さんは東京出張からの帰りの前に参加)

練習内容

- 「岬の墓」の11小節から61小節までの復習をしたあと最初に戻り、言葉の表し方 などを中心に確認しながら
最後まで進めた。

- 最後に通しで歌い、途中いくつかの事故は有ったが何とか通せた。
- 次回のこの曲の練習はかなり先になるので注意点を忘れないよう自習が必要。

1. 岬の墓

- 4小節 上3声はB2の流れに合わせる気持ちで入る
- 18小節 T1はpをあまり意識せず楽な音量で歌う
- 19小節 T1の下パートの下降音は途中で瘦せないように
- 20小節 T1はしっかり入る（この小節の前にブレスを入れても良い）
- 21小節 T2、B1は最初の音を（持ち上げたりせず）ストレートに入ること
- 23、24小節 T2、B1は音の動きが階段にならないように
- 24小節 T2、B1は「の」が強くなり過ぎないようにし、「お」が聞こえるように
- 27~29小節 T2はゆったり歌い、忙しい感じにならないように
- 31~33小節 「やすらう」は溜めて入ること
- 36小節 *decresc.* は短めにして *cresc.* に入る
- 39小節 少しテンポを緩めるので注意
- 46小節 小節の終わりまで音を伸ばすこと
- 50~52小節 下3声は51小節からのT1の音を消さないように控えめに
- 50小節 T2の上はここで急に入るのが難しければ48小節からT1のパートを歌っていても良い
- 65小節~ 「日はたかく」はアクセントだが音の長さは保つこと
- 73小節 溜めて入る
- 75小節 「はか」の「は」がしっかり聞こえるように出す
- 85小節 T2、B1はテンポ通りに入る
（ピアノが刻んでいる箇所は同じテンポで入る）
- 87小節 「ふねよ」の「ふ」は遅れないようにしっかり準備が必要
- 95小節 3連符は遅れないように、軽く
- 102小節 「ふーね」の h をしっかり準備して出す
- 126小節 最後の8分音符はイン・テンポで
- 149小節 T1、B2の入りはT2、B1のブレスの隙間を意識して合わせるように
- 163小節 頭の「ふ」の h をしっかり準備する
- 176、177小節 重い感じにならないように
- 181・182と185・186小節 T1、B1はm pだが言葉はしっかり立てる
- 192~197小節 soloはT1は上田さんに決定、T2は保留
- 204小節 この小節の前のブレスでテンポが緩まないように
また、この小節で弱くならないよう
- 206~210小節 「えいえんはひかりとたわむれ」はm fで軽めの感じで
- 228小節 テヌート・スタッカート「ふ」は8分休符分を空ける
- 242小節 最初の「を」は少し飲み込む感じにし、強すぎないように
- 247、249小節 溜めを作って入る
- 252小節~ 「聞こう」をはっきりと伝える

次回練習

<6月14日> 14:00~17:00 於：新宿文化センター 4F 第二会議室

- 「ミサ」を練習予定

特記事項

- 特になし

以上 報告者 江守

日時：2014. 05. 31(土) 14:00~17:00

場所：於 文京シビックホール B1 練習室2

参加者(敬称略)

指揮：甲和

T I：上田 高木 松本 丸谷

T II：北村 富田 本間 江守

B I：宇野 大野 福井 藤山

B II：木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- 定演までの残りの練習時間が29時間ほどになった。これからは一回の練習で1曲に集中することが増えるので、次の練習までに忘れないよう自習して下さい
- 「光る刻」の「もぐら」、「老いたきつね」をリズム感の確認等を中心に練習し最後に全曲を通して歌った。
- 「岬の墓」を最初から音程、強弱の具合などを確認しながら練習した。最初のページは少し良くなってきたが2ページ目は不安定なので引き続き練習が必要

1. 光る刻

1. 1 もぐら

- 10小節~ 「ふかい」は「ふ」をしっかり出し、「か」の方が強くないように
- 23小節~ 「ランラン」はあまり跳ねないように
- 27小節 T1は音程に注意し、言葉もはっきりさせる
- 59小節~ 「ほって」の「ほっ」は早く切り過ぎないように
- 各パート共に休みの後の入りはしっかり準備し、リズムに乗って入ること

1. 2 老いたきつね

- 15小節 「ふゆびが」の「が」は鼻濁音で
- 20、21小節 T1,T2は神秘的な雰囲気
- 25、26小節 B2は「すすきと」「ひかりと」「かぜが」をしゃべるように言葉を立てて
- 28小節 「かくして」は縦の揃いを意識して入る

- 31 小節 B1、B2 は縦に揃うように
- 64 小節 3 連符が走らないよう。 B1、B2 はテナー系のテンポに合わせて入る
- 68 小節~ テンポが変化するので指揮を見る。次の歌詞をしっかりと準備する
- 79 小節 最後の 8 分休符はしっかり空白にする
- 81 小節 3 連符はアクセントをつけず平坦に

2. 岬の墓

- 9 小節 T1 は *m f* 一位で軽く出せる音量で
- 17 小節 T1 は 18 小節の入りの準備をしっかりとする
(17 小節と 18 小節の間に隙間をとるので注意)
- 24 小節 T2、B2 は「うみのへの」「おかに」と言葉が聞こえるように注意
- 36 小節 *decresc.* *cresc.* を明確に
- 44 小節 1 拍目の裏で入る所は少し溜め気味にテヌートで入る
97 小節の入りも同様
- 53 小節 T2 の「うみに」は *f* 一位にする
- 55、56 小節 T2 以外は同じ音が続くが、言葉が聞こえるように
- 67、68 小節 T2 はしっかり出す
- 75 小節 「はか」が初めて出てくるのでしっかり出す
- 85 小節 入りの準備をしっかりと。ピアノのリズムに惑わされ無いよう
- 112 小節 B1、B2 の入り、113 小節 T1、T2 の入りは *m f* より少し落とし目に
116 小節 *f* も落とし目で入る
- 115 小節 B1、B2 の上昇音は少し階段状の表現で
- 173 小節 T1、T2 の入りは *m f* 一位で
- 116 小節 *f* は *f* 一位から入り 118 小節の「て」でポンと *f* に
- 182 小節 T1 はリズムを間違えないように
- 225 小節 入りの準備をしっかりと
- 228 小節 「ふね」の「ふ」は、のばしすぎない
- 242 小節 「ふねを」「みつめて」と分かれて聞こえるように

次回練習

<6月7日> 9:00~12:00 於：新宿文化センター 4F 第二会議室

- 「岬の墓」を練習予定

特記事項

- 特になし

以上 報告者 江守

日時：2014. 05. 24 (土) 14:00~17:00

場所：於 文京シビックホール B1 練習室2

参加者(敬称略)

指揮：甲和

T I : 上田 高木 村田
T II : 北村 国分 富田 本間 江守
B I : 宇野 大野 福井 藤山 渕山
B II : 大城 木戸 待山 山邊
ピアノ : 坂田

練習内容

- 「ノスタルジア」の「みかんの花咲く丘」をパート間の役割の確認やリズムの確認をしながら進めた。「銚をおさめて」は転調箇所などを復習、「赤とんぼ」はテンポの変化の確認等をしながら進めた。
- 「光る刻」は「鹿」、「象」、「もぐら」、「老いたきつね」の順に3連符のリズム感やパートの揃いなどを確認しながら通した。

1. ノスタルジア

1. 1 みかんの花咲く丘

- 1小節 T2の入りは、T1の音の流れを聞いて（レド→シ）入ると音がとり易い
- 6小節最後 T1の（レミ | ソ）はしっかりと動く
12小節 T1の上のパートの動きも同様
- 5～12小節 T2のスラーの箇所は滑らかに（階段的な動きにしない）
10小節 B1の「ちー」と上がる所はたつぷりと歌う（次はノンブレスのつもりで）
- 8小節 B1の音はB2の最後の8分音符の動きがあるまでのばすこと
- 17、18小節 T2はしっかりと歌う
- 22小節～ B2はリズムに乗って音を保つこと
T2は他のパートとの絡みを意識しながら歌う
- 40小節 T1の「が」はしっかりとのばす
- ★メロディー以外のパートも走らずたつぷりと歌うことを心がける

1. 2 銚をおさめて

- 転調する箇所が多いが和音の動きをしっかりとつかんでおくこと
- 49小節 最後は伸ばしすぎないように

1. 3 赤とんぼ

- 10小節 メロディー以外のパートは音の動きを刻みがちなので注意しメロディーのリズムで歌う
- 10→11小節 B1、B2は11小節への入りをあせらないように
- 29小節～最後 リズムの変化が多いので指揮を見て合わせること
- 32小節 T2は8分音符の動きをたつぷりと歌う
- 38小節 息が続かない場合は消えても良いが脱力感を表に出さない

2. 光る刻

2. 1 鹿

- 22小節 T1はリズムをしっかりとる

- 22、23 小節 B1,B2 は「ちいさい」「ひたい」の言葉を立てるように
- 27 小節 ここの休符は大切 その前の「できた」は緩くならないよう
- 29 小節 T1、T2 の「かれ」で音が動くが同じ響きを保って歌う
- 30 小節 「すんなり」は、もたもたせずにすんなり感を出す
- 33～46 小節 「ひかる」「おうごん」「じかん」「いきる」などの言葉が立つように重くならず透明感が出るように

2. 2 象

- 53 小節 T2,B1 は 1 拍目が揃うことを意識して入る
B2 の「かけら」の入りは T2,B1 に続けて合わせて入る
- 54 小節 B1,B2 の「いま」の入りが遅れないよう
57 小節の「ものに」の入りも同様
- 55 小節 「うつ」は「う」をしっかりと出し、「つ」の方が目立つことが無いよう
- 96、99、101 小節 裏で入る所は合わせてしっかりと入る

2. 3 もぐら

- 10 小節～ 「ふかい」の「ふ」を大切に（「か」の方が目立つことが無いよう）
- 21 小節 T2 の「もぐら」の入りをしっかりと
- 51～53 小節 「めが」の「め」はテヌートを意識する

2. 4 老いたきつね

- 64 小節 「ばかり」で縦に揃うことを意識する
B1、B2 はこの 3 連符が狭くならないように
- 81 小節 ここの 3 連符は自分の中でしっかりと数えて揃えること

次回練習

<5月31日> 14:00～17:00 文京シビックホール B1 練習室 2

- 「岬の墓」、「光る刻」を練習予定

特記事項

- 特にな

以上 報告者 江守

日時：2014. 05. 17(土) 9:30～11:30

場所：於 文京シビックホール B1 練習室 2

参加者(敬称略)

指揮：甲和

T I：上田 高木 松本 丸谷 村田

T II：国分 富田 本間 江守

B I：大野 福井 藤山 淵山

B II：大城 小川 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- 「ノスタルジア」の「砂山」、「故郷」をパート毎の強弱やテンポの変化を確認しながら進め、最後に通した。
- 「ミサ」の「Credo」、「Sanctus」を曲想の変化の確認や言葉の切れ目と歌い方などの確認などをしながら練習した。

1. ノスタルジア

1. 1 砂山

- 1小節 B1、B2 のルルの1拍目の裏の入りは強くなり過ぎないように
1拍目の表から息を出しているような感じで入る
- 5小節～ T2はレガートで歌うこと
- 11小節、14小節 T1の f の音は下がり過ぎないように
- 19小節～26小節 符点はあるが、あまりはねすぎないように
また、メロディーが聞こえるようにバランスを考える
- 27小節 B1は朗々と歌い、他のパートは mf マイナス位から入るように
- 34小節 T1、T2の3拍目の a の音は下がり過ぎないように
- 42小節 T2の4拍目の音はしっかり動くこと

1. 2 故郷

- 1～15小節 ユニゾンの所は楽譜を見ないで歌うこと
- 14小節 1拍目の音は下がり過ぎないように
- 32～39小節 レガートで。特に39小節のT1、T2の8分音符での上昇箇所は階段にしないよう
- 40～51小節 メロディ以外は少し抑える
- 52小節～最後まで テンポの変化が多いので指揮をしっかり見る

2. ミサ

2. 1 Credo

- 4～7小節 --um のウはあまり強調しない
- 23～25小節 歌詞の区切りを意識して歌う
- 82小節～ f f は最後の小節まで

2. 2 Sanctus

- 8小節 --oth の発音は/o:t/ であり、“オツ”とはしないこと
- 17小節 B2は音程に注意

次回練習

<5月24日> 14:00～17:00 於：文京シビックホール B1 練習室2

- 「光る刻」、「ノスタルジア」を練習予定

特記事項

●特になし

以上 報告者 江守

日時 2014年5月3日(土) 14:00~17:00

場所 新宿文化センター4F 第二会議室

参加者 (敬称略)

指揮: 甲和

T1: 丸谷 高木 上田 松本

T2: 富田 国分

B1: 湊山 福井 宇野

B2: 待山 木戸 山邊

ピアノ: 坂田

練習内容

1. ラインベルガーの「ミサ曲」

Kyrie

- ・ 2小節の e-lei の e エを明確に歌う
各パートが追っかけるが 8小節の son ソンで揃える
- ・ 9小節の B2は追っかける Ky キを明確に
- ・ 19小節のスラーを3パートははっきり表現するが B2は刻む
- ・ 23小節の Chris-te のクリスをきっちり鋭く表現する 遅れないこと
- ・ 27小節からは mf で前の p とははっきり差をつけて歌い 32小節の p につなげる
- ・ 56小節の3パートともに p だが Kyrie キリエはアクセントをつけてきちっと出る
T1が追っかけるが 60小節からの e-lei-son はしっかり表現する
- ・ 59小節の T1、61小節の B1,B2 の Ky-ri-e が遅れないようにはっきり歌う

Gloria

- ・ B1,B2の出だし f で Et エトをきっちり出し 2小節の ho はオの発音で明確に
- ・ 14小節の a-gimus アジムスのくりかえしで子音の出し方が遅れないように
mus の部分が短くならないよう
- ・ B1,B2 の Do-mi-ne が遅れないように出る
- ・ 31小節の T1 の mi-se-re-re は1フレーズで途中で切らない
- ・ 56小節~57小節の各パートの in glo-ri-a の出だしをはっきりと歌う

Agnus Dei

- ・ 全体に四分音符の長さをきっちり保ち、八分音符できざむつもりで歌う
- ・ 7小節~8小節の mi-se-re-re で各パートの se と re の出方をはっきり
- ・ 11小節の B2の音の動きを明確に、B1は re レをきっちりのぼす
- ・ 18小節の T2の mun の音の変化を明確に
- ・ 27小節の B1,B2の音の変化を正確に刻む
- ・ 31小節の長調への変化を明確に見せるが T2の音程が重要

- ・ 3 3 小節～3 4 小節の<>の部分の歌い方に変化を付ける
- ・ 3 6 小節の各パートともに四分音符の部分が先に行かないように
- ・ 5 0 小節～5 1 小節の T1 の四分音符の変化を同じ長さで保つ

2. 岬の墓

- ・ 8 5 小節からの T2,B1 の「うつくしい」の流れを T1,B2 が変えないで「ふね」につなげる
- ・ 1 1 2 小節からはピアノ伴奏は抑え気味にして B1,B2 ともに mf でしっかり出る
1 1 3 小節からの T1,T2 も同じでん「なめらか」は遅れないで出る
- ・ 1 2 3 小節からの「ゆらーれ」は波の動きの<>をつけ 1 2 5 小節の mp から mf の変化を明確につける
- ・ 1 2 9 小節からはレガートに波のうねりを表現する
- ・ 1 3 6 小節からブレスの取り方を楽譜通りにきっちりする
- ・ 1 4 9 小節の「永遠の」はエイエンと区切って歌う
- ・ 1 6 1 小節からの「うつくしい」の流れは 8 5 小節と同じで「ふねよー」につなげる
- ・ 1 8 1 小節の「しろいはかよ」の前に間をあける
「はかよ」の H の子音をきっちり出す

最初の 1 小節に戻る

- ・ 9 小節の T1 の出だしを遅れないでしっかり出る
- ・ 2 3 小節の T2,B1 の「うみの辺」はレガートで歌う
- ・ 2 7 小節の B1,B2 の「きららに」をあわてないで落ち着いて歌う 走らない
- ・ 2 8 小節の「いり江」の前で切って出だしをそろえる
- ・ 3 7 小節からのテンポの変化を付けアクセントも明確にし 3 9 小節からは弱めにレガートに歌う
- ・ 5 4 小節でテンポをゆるめて 5 5 小節からはゆったりと歌う
- ・ 5 8 小節で 5 1 小節の「日はたかく」のテンポにもどす
- ・ 7 5 小節の 「はか」の H の子音をはっきり発音してヌートをかけゆっくり歌う
「はかー」を音符通りきっちりのばす

次回練習

< 5 月 1 7 日 (土) > 9 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0 文京シビックホール B1 練習室 2

「ミサ」と「ノスタルジア」を練習

午前中練習なので間違えないように集合ください。

以上 報告者 富田

日時：2014. 04. 26 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00

場所：於 文京シビックホール B1 練習室 2

参加者(敬称略)

指揮：甲和

T I : 上田 高木 丸谷

T II : 北村 国分 富田 江守

B I : 池田 宇野 福井 藤山 湊山

BII：小川 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

(B1の池田さんは4月から三原に赴任されたが東京出張からの帰りの前に参加)

練習内容

- 「岬の墓」の後半部に重点を置いて練習した。まず練習番号28番以降。
続いて25番以降、17番~23番、最後に1番から16番で特に最初の2頁の和音を繰り返して確認した。
- 「光る刻」の「老いたきつね」、「象」を、曲想、リズムを確認しながら通した。

1. 岬の墓

- 11小節 3連符は一音ずつアクセントをつけることはせず、纏めて流す感じで
- 17小節 ピアノ伴奏の最後の6連符の後ろ4音位から少しゆっくりになるので
T1は18小節の入りのリズムに気を付ける
- 28小節 T1は他のパートにはない「ひかる」をしっかりと出す
- 37、38小節に対し39小節は一旦mf くらいに落としてcresc. decresc. する
- 54小節 B1、B2の「うみに」は少しゆったりと
- 55~57小節 T2はしっかり動く
- 56小節 B2のfisの音を正確にとること
- 59小節 T1 「さーく」の4分音符への上がりの所をしっかりと聞かせる
- 72小節 B2の「透明な」は70小節の時とは違いdim.を意識して
- 75小節 初めて出てくる「はか」をしっかりと表現する
- 132小節のB2、133小節のB1の上昇音の所は動きを少しつけるが
⑰の他の箇所は波のうねりを意識して歌う
- 138小節 T1の下降音の所は少しcresc.で
- 150小節 「やすらいと・・・」はmp位で良い
- 181小節の「しろいはか」と185小節の「そのいしの」の入りは
少し溜めを作るので指揮をしっかりと見ること
- 200小節 「日は」の所はユニゾンを意識して合わせる
- 205小節 ここのcresc.は大切なので前の小節は少し抑える
- 207、208小節 B1、B2はmf位で軽い感じに歌う また入りのリズムに注意
- 211、212小節 B1、B2の3連符が走ってしまわないよう
- 216小節 B1の動きが大切なので意識して
- 225~227小節 marcatoからlegatoへの変化をしっかりと表現する
- 226小節 「ふね」の所で少しrit.にする
- 229小節 T1、B1は符点を意識したリズムに。 T2は抑え気味にする
- 229~232小節は1フレーズを意識し、もたつかないよう
- 239小節 最後の「はか」の「は」の入りはその前の「い」を早めに切っても
hの準備をしてしっかりと出す
- 240小節 その前の小節からのcresc.が途中で痩せないよう
- 241、242小節 「うつくしいうみをみつめている」は、各言葉をしっかりと

ただし 242 小節 頭の「を」は抑え気味にする

- 247 小節 T1、T2 の最初の「い」の音は低めの音だがしっかり出すこと
- 248 小節 T1 の「咲一く」の「一」の 4 分音符はリズム良くしっかり歌う
- 250 小節 T2 は 4 拍目の「に」をしっかりと

2. 光る刻

2. 1 老いたきつね

- 1~17 小節は静かな枯野だが日が照っていて明るいイメージを意識して
18 小節からはテンポも速くなるが、ストーリーが始まるので動きをしっかりと
- 19~24 小節 T1,T2 と B1、B2 の掛け合いを意識 縦の揃いの所もしっかりと
- 41~44 小節 p だがエネルギーを感じさせるように
- 59 小節 T1 は $\text{♩}=66$ になっているので落ち着いてリズムを取る
- 61 小節 T1 の「しょくよくがない」の「が」は鼻濁音で
- 81 小節 3 連符が走らないように

2. 2 象

- 12 小節 「なく一」の「一」を伸ばしすぎないこと

次回練習

<5月3日> 14:00~17:00 新宿文化センター 4F 第二会議室

- 「ミサ」、「岬の墓」を練習予定

特記事項

- 8月からの通常練習の時間帯は今までより 30 分繰り上げ、13:30~16:30 にすることになった。

以上 報告者 江守

日時：2014. 04.12(土) 14:00~17:00

場所：於 新宿文化センター 4F 第二会議室

参加者(敬称略)

指揮：甲和

T I：上田 高木 丸谷 村田

T II：北村 国分 富田 本間 江守

B I：大野 福井 藤山 淵山

B II：大城 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- 「光る刻」の「象」、「鹿」、「もぐら」を細部を確認しながら進め、「老いたきつね」を一回通しで歌った
- 「ノスタルジア」の「故郷」、「砂山」をパートのつながりなどに気を付けながら進め、「銚をおさめて」、「みかんの花咲く丘」をリズムに気を付けて通した。

1. 光る刻

1. 1 象

- 4分音符の3連符が揃わないが、8分音符6個と考えると取りやすい
- 28小節 「u-」の入るタイミングを合わせる
- 33小節 B1、B2は「とじられた」の「と」の入りをしっかり合わせる
- 36小節 T2は2拍目の裏の「と」をしっかり入る
- 40小節 T1、T2の「おもい・・・」の入りは、B1、B2の「ありあり」の流れにのって
- 50～58小節にかけ、散らばっていたものが一つに揃っていく感じをイメージして歌う
- 64小節から、象の行進をイメージし、リズムを守って歌う
- 67小節の「まえ」、69小節の「ふれ」はテヌートで母音をしっかり伸ばす
- 83～86小節 B1、B2はリズムを正確に（3連符の後の8分音符2つの所は、2番目の音が早く出過ぎないように。「とりたちは」の「は」の音の入りの所など）

1. 2 鹿

- 1小節 「しかは」は、はずまないように。
「し」は母音の i が短か過ぎないように。「は」は長さをしっかり保つこと
- 4～6小節 「もりのはずれのゆうひのなかに」は3連符を含め、レガートでしっかりしゃべるように歌うこと
- 5小節 B2は「ゆうひ」の入るタイミングを上3声と合わせるように意識
- 13小節 2拍半できっちり切るように
- 19小節 T1、T2は「ねらわれて」の「ね」をしっかり入る
- 27小節 「できた」の3連符の後の8分休符は大切
- 33小節 B1の「いきる」のリズムが ♩=76 のリズムにつながっていく
- 45小節～ ここからは落ち着いたレガートの音楽へ
47小節からの大きなスラーも意識して
- 51小節 B1の「もりのよる」の動きは大切なので注意して
- 65小節 「とー」は伸ばしすぎず、1拍分の休みが入るように

1. 3 もぐら

- 10小節～ 「ふかい」の「ふ」の子音 h をしっかり出す
85～87小節の「ふかい」も同様。88小節のスタッカートの所と区別を
- 28小節 B2は入りのタイミングに気を付けて
- 51～53小節 「めが」は刻まないでテヌートに

1. 4 老いたきつね

- 一回通しでの確認をした

2. ノスタルジア

2. 1 故郷

- パート間のつながを感じながら歌うように
- メロディーではなく伴奏的な所も歌詞を大切に歌い、ブツブツ切らないよう
- 最初から15小節目までは暗譜で歌うことになる
- 16小節 T1は早めにブレスしても良いので、しっかり「o-」に入る

- 32、33 小節 T2 のスラーは次の 34 小節の 1 拍目まで続けた方が繋がりが良い
- 36 小節～ 「ラララ・・・」はブツブツ切れにならないように
- 43、45 小節の T2 など 8 分音符が続く所は早くならないよう、ゆったりと歌う
- テンポの変化に気を付けて歌う（52 小節、57 小節、61 小節などで）

2. 2 砂山

- 1、2 小節 「るるる・・・」は刻まないよう
B1、B2 は弱めに入る
- 19～26 小節 あまり弾まないように
- 40 小節 1 拍目の「あ」は、縦の揃いを意識して
- 各パートの絡み合いがまだできていない。他のパートの動きにも注意して

2. 3 鉾をおさめて

- 49 小節 最後の音は伸ばしすぎないこと
- 最初から 8 小節までは暗譜で歌うことになる
(Tempo I : tempo primo に対し Tempo II の読み方が話題になったが tempo secondo のようです。ちなみに三番目は terzo)

2. 4 みかんの花咲く丘

- 伴奏的な所で 8 分音符が続く所は急ぎがちになるので、たっぷり歌うこと

次回練習

<4月26日> 14:00～17:00 於：文京シビックホール B1 練習室 2

- 「光る刻」、「岬の墓」を練習予定

特記事項

- 特になし

以上 報告者 江守

日時：2014. 03. 29(土) 14:00～17:00

場所：於 雑司が谷地域文化創造館 B1F 音楽室

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：上田 高木 丸谷

TII：国分 富田 本間 江守

BI：池田 宇野 大野 福井 瀧山

BII：木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- 「ノスタルジア」の「みかんの花咲く丘」と「赤とんぼ」をパート別に確認しながら進め、最後に通して歌った
- 「ミサ」の「Sanctus」、「Agnus Dei」をパート別に確認しながら歌い、最後に通した。「Kyrie」は 1 回通して復習した。

1. ノスタルジア

1. 1 みかんの花咲く丘

- 区切りながら各パート別に音を確認しつつ進めた
- 5～12小節 各パートによってスラーの箇所が異なるので意識して歌うこと
- 24、26小節 B2の動く所の音程を正確に
- 8分の6拍子だが縦に揃っている所が少ないので、自分の中で
ビートを感じながら歌うこと
また四分音符、8分音符と続いている所は4分音符が短かすぎないように

1. 2 赤とんぼ

- 5～8小節 一フレーズなので真ん中でブレスしないこと
- 10小節 T2はメロディーではないが、刻まずにメロディーを歌うような流れで
- 11小節 T2の1拍目の「い」は控えめに
- 11小節 B1、B2の「A」はその前の「はー」の続きに聞こえないよう、
軽くアクセントをつけて
- 19小節 B2の最初の音は、ずり上がらないようストレートに入る
- 32小節 A-durに変わることを意識する。 B1のcisの音が大切
- 34小節 B1の最後のaの音はメロディーの音なので、しっかりとする
- メロディーでないパートも、リズムを合わせる気持ちが大切

2. ミサ

2. 1 Sanctus

- sanctus の ctus の発音はクとトゥが分かれず、クトゥとなるように
- 10小節 B1、B2の3拍目を揃って入るように
- 19小節 B2のcisの音程をは注意して入ること
- 15小節 B2 ここはスラーだが、スラーが無い前後の小節は少し弾んだ感じで良い

2. 2 Agnus Dei

- 1～13小節 B1、B2の動きが和音を決めるので、しっかり動くこと
- 伴奏も終始ゆったりした動きで進むので、休みの箇所も含めそのリズム感で通すこと

2. 3 Kyrie

- 一度通しで確認をした、前の週も練習したのでそれなりに通せた。

次回練習

<4月12日> 14:00～17:00 於：新宿文化センター 4F 第二会議室

- 「ノスタルジア」、「光る刻」を練習予定

特記事項

- B1の池田さんが4月から三原に転勤となるため東京支部での練習は今回が
区切りとなった。これからも機会を作って参加いただけるよう、お待ちしております。
- 東京支部の年内の活動予定に関して富田支部長より下記の説明があった
定演：8月3日 クレオ大阪中央にて 前日練習：8月2日 夕刻

大阪外大 OB との合同演奏会 11月2日 文京学院大学の仁愛ホールにて

(今年は東京男声合唱フェスティバルへの参加は取りやめとする)

クリスマスイベント 12月23日 ルミアモーレにて

以上 報告者 江守

日時：2014. 03. 22(土) 14:00~17:00

場所：於 文京シビックホール B1 練習室2

参加者(敬称略)

指揮：甲和

T I：高木 松本 丸谷

T II：北村 国分 富田 本間 江守

B I：池田 宇野 大野 福井 藤山 湊山

B II：小川 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- 「ミサ」の Kyrie、Gloria、Benedictus のそれぞれを、通しで歌った後、最初に戻って細部を確認しながら最後まで進め、最後に通しで歌った (Benedictus は TUTTI の部分のみを練習)
- 「岬の墓」を最初から歌ったが、17小節目までの間で怪しい所が多く、各パートの音の確認をした。その後 220小節目までを区切りながら進めた。

1. ミサ

1. 1 Kyrie

- 10小節 T1 4拍目の”エ”は言い直しをする
- 11小節 T2 はしっかり入り、しっかり動く。1拍目の音程が低くならないように
- 17小節 B1 は他のパートとのリズムの違いを出すように
- 23小節 入りの音は、その前のピアノの間奏の音を聞いてとること
- 29小節 T2 の下降は間奏的な感じで B1、T1 に引き継がれていくことを意識して
- 49小節 T1 の1拍目の ei をしっかり歌う
- 55小節 最後の8分休符を意識して、すきまを作ること
- 61~63小節 T2、B1 のアクセントの有る所をしっかり出し、リズム感を出す
- 66小節 クレッシェンドだが 67小節は p なので注意 (歌い方は要確認)
- 68小節 p p の後 71小節からクレッシェンドが有り 72小節の f に持って行く

1. 2 Gloria

- 14小節 1拍目のアクセントを意識して。音程はずり上がるような感じにしない
- 16小節 T1 は gloriam の入りが遅れないように
- 33~34小節 peccata の”カ”は ” ッカ” のような少し詰まった感じで

1. 3 Benedictus

- TUTTIの部分を最初から通したがかなり忘れており。パート別の練習となった各自練習して思い出しておくこと

2. 岬の墓

1～17小節 怪しい所が多く、確認をした

- アクセントのついていない音は強くなり過ぎないように
- 2小節 B2は1拍目と2拍目の間をあけすぎないように
- 6, 7小節 T2の下は下がる時の音を少し強調する
- 8小節 T2はブレスの後の音の音程を正しくとること
- 11小節 B1、B2の3連符は少し巻き気味にしてしっかり動く
(アはここでは言い直してよい)
- 14小節 T2のブレスの後の音が低くならないよう
- 21小節 ”日は”のhはスピード感を持って入る
- 23小節 ”うみのへ”の”の”は強すぎにならないように
- 28小節 T1、T2、B1の最後の4分音符の”い”は縦の揃いを意識して
- 31～33小節 ”やすらう”の”う”はあまり言い直さないように
- 33小節 最後の4分音符の”し”は縦の揃いを意識して
- 37小節 アクセントの音は高さを定めてまっすぐ入る(ずり上がったりしない)
- 39小節 mf - くらいの強さにする
- 55～60小節 hやsの子音をしっかり出す
- 65～68小節 アクセントを意識して
68小節のB2の4分音符のアクセントはしっかり動いて
- 72小節 B2の”透明な”の”う”は言わなくて良い
- 126小節 最後の8分音符は短か過ぎないこと
- 127小節 ffを十分聞かせたうえで128小節からデクレッシェンドに
- 132小節 B2、133小節 B1の上がっていく所は、軽やかに上がる
- 149小節 T2、B1の”永遠の”の”えいえん”は4分音符4つのつもりで歌う
- 181小節 T1、B1の”しろいはか”の”い”と”は”の間は少し開ける
- 215～220小節 ”かぜはなにをかたるや”と”うみはなみ立つ”は
フラットにべったりと歌い(母音を長く鳴らす)和音が途切れないように

次回練習

<3月29日> 14:00～17:00 於：雑司ヶ谷地域文化創造館音楽室

- 「ミサ曲」「ノスタルジア」を練習予定

特記事項

- 特になし

以上 報告者 江守

日時：2014. 03. 08(土) 14:00～17:00

場所：於 新宿文化センター 4F 第2会議室

参加者(敬称略)

指揮：甲和

T I：上田 丸谷

T II：北村 国分 富田 本間 江守

B I：大野 福井 藤山 淵山

B II：大城 小川 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- 「岬の墓」を最初から㊸の終わりまで、曲想も確認しながら進めた
特に最初の2ページは、和音の役割も意識しながら、繰り返し音の確認をした
最初の2ページはまだ音の確認段階だが、少しずつ曲想をつけた練習となる
- 「光る刻」の「象」、「鹿」、「もぐら」を通し練習した

1. 岬の墓

- 最初の2ページの音をパート別に繰り返し確認した
- 1~3小節 B2は音の動きが刻んだ感じにならないよう、滑らかに歌う
- 4小節の頭 B2のEsの音程はしっかりイメージ(準備)して入るように
- 6小節 T2の下は *decresc.* にはせず、動きがはっきり分かるように *cresc.* 気味に
- 7小節の後半 T2の動きの所で少し *accel.* をかけるが、小節最初の3連符は急がない
- 9小節からのT1の動きは、それまでとは違った”波”の動きにする。mpだが小さ過ぎず
T2、B1はその波に合わせる感じで
- 11小節 3連符は少し勢いをつけ、やや巻く感じで
- 18小節からのT1は、また別の”波”の感じになる
- T1は、18小節から24小節で 4分音符や8分音符で動いている所をしっかりと出す
- 21小節 「日は」の所は f だがアクセントは付けないで
- 23小節 T2、B1 の mf は mf一位の感じで入りしっかりと *cresc.* する
- 25、26小節 B1、B2は軽めに歌う(怖い感じにならないよう)
- 30小節は *rallentando* なので指揮に合わせて
- 33小節 「しろい」の「し」の入りは、縦の揃いを意識して
- 39小節 「舞い下りて」はレガートにして、その前のアクセントとの対比を明確に
- 54小節 後半に *rit* を付けて次の *Meno mosso* に入るので指揮を見る
- 55小節以降 「おかの辺」「かげひとつ」「日は」「はか」などの h の音を意識して
しっかりと出す
- 60小節 3連符の「いは」の「は」の h は早めに準備して出す
- 73小節 *Lento* になるので指揮を見て合わせる
- 104小節から早くなるので遅れないよう
- 112~113小節 B1、B2の「ふかく」は、「ふ」をしっかりと歌い「か」は強すぎないように
- 140小節~155小節 T2、B1は、詩を語る意識で
「かげ」のk 「ひとつ」のh 「くらい」のk などをしっかりと出す
- 153小節後半 154小節の *Adagio* に向けて少し *rit.* になる
- 171小節 *a tempo* は、㊸の頭のテンポくらいになる

2. 「光る刻」

2. 1 「象」

- まず通してみるはずだったが、3小節目で破綻
- 少しずつ思い出しながら進め、最後に通して歌った

2. 2 「鹿」

- 通して歌った後、リズムのずれたところなどの確認をした
- 40小節目からの poco accel. は重くならないように

2. 3 「もぐら」

- 47小節目からの確認をした後、最初からリズムの確認などを行い、最後に通して歌った

次回練習

<3月22日> 14:00~17:00 於：文京シビックホール B1 練習室2

- 「ミサ曲」「岬の墓」を練習予定

特記事項

- 特になし

以上 報告者 江守

日時：2014. 02. 08(土) 9:30~12:00

場所：於 新宿文化センター4F 第一会議室

<参加者(敬称略)>

指揮：甲和

TI：上田 高木 村田

TII：国分 富田

BI：池田 福井 藤山 澁山

BII：大城 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

東京は、未明からの積雪で5cm位の大雪に見舞われる中、午前中に、多くの団員が参加して、練習することができた。

<練習内容>

- ・ミサの Credo 全体を練習した。

10月以来、久々の練習だったので、皆 かなり忘れていた。

もう一度、最初から最後まで、譜読みをして、その後、歌詞をつけた。

譜読みでは、変調するところや、綺麗な和音が変わるところを中心に、各パートの音を確認しながら練習を進めた。

歌詞付けでは、各々の単語に対しては、前回のミサと同じ発音であるが、

特に、coe(チェ)、sce(シェ), qui(kwi: kw は子音), ho(=o ; h は、発音しない), gni(=ni)

語頭、語尾の s は、(s) だが、単語の真ん中に出てくる s+母音の場合は、(軽い z) になるなど、

各人が、注意していないと、揃わなくなる発音を確認しながら進めた。

<次回の練習>

2月22日(土) 17:30~20:00 生涯学習センター(ばるーん) ; 新橋 101 学習室

*練習時間・場所とも、普段と違いますから、ご注意ください。

・ノスタルジア (砂山を中心に)、及び 岬の墓 を練習予定。

以上、報告者 ; 村田

日時 : 2014. 01. 25(土) 14 : 00 ~17 : 00

場所 : 於 文京シビックホール B1 練習室 2

参加者(敬称略)

指揮 : 甲和

TI : 上田 高木 丸谷 村田

TII : 北村 国分 富田 江守

BI : 池田 大野 湊山

BII : 大城 小川 木戸 待山 山邊

ピアノ : 坂田

練習内容

- 「ノスタルジア」の「銚をおさめて」の譜読みを行い歌詞でも通した
- 「故郷」を通して歌った後、忘れていた箇所をパート別に確認
- 「光る刻」の「鹿」を1回通して歌った後、最初から終わりまでポイントを確認しながら進め、最後に通して歌った。
- 「もぐら」を通して歌った後、何点かの確認を行った
- 「老いたきつね」を1回通して歌った

1. 銚をおさめて

- 譜読みで最初から最後までパート別に進めた
- 一通り譜読みで確認した後、歌詞で全体を通した

2. 故郷

- 最初に歌詞で通したが忘れていた箇所が多く、13小節からパート別に確認
- 8分音符のリズムを意識して歌うこと (8分音符になった時に走らないよう)
- 54小節 T2 は1拍目のアクセントを意識して
- 61小節からは Tempo I なので合わせること
- 和音の動きが難しいので良く覚えること
また和音の中での役割を考え、強め弱めを意識して歌うように

3. 鹿

- 1回通して歌った後、最初から大事な点を確認しながら進めた
- 3小節 「しかは」は、変にリズムを刻まないように。「は」は伸ばしすぎない

- 5小節 「ゆうひ」の「ゆ」をはっきり出し「ゆーひ」のような感じで歌う
- 7小節から12小節まで一つのフレーズと言うことを意識する
- 10小節 B1、B2は早く強くなり過ぎないように。11小節からが f
- 13小節 3拍目の裏の前まできちんと伸ばす
- 16小節 T1は口を開けて準備し、しっかり入る
- 18小節 T1、T2の「ひたい」のhをはっきり出す（「いたい」と聞こえないよう）
- 23小節 1拍目の3連符は譜面の幅に惑わされて間延びしないこと
- 31小節 3拍目の「ほうを」の入りを揃える
- 35小節～44小節 「おうごんのようにひかる」が続くが、
「ように」が強過ぎないようにし、「おうごん」「ひかる」を大事に歌う
- 37小節 T2は「いきる」をしっかり動く
- 39小節 1拍目の「おうごん」の入りを揃える
- 40小節 T2は3拍目裏からの「ひかる」をしっかり動く
- 16小節～24小節 「かれは知っていた」、「ねらわれて」、「ひたい」
などの言葉は緊迫感を持って歌うように
- 他のパートとの絡みを覚え、数えなくても入れるようにすること

4. もぐら

- 通して歌った後47小節以降、確認しながら歌った
- 59小節～61小節 「ほって」はスタッカーにしないで1拍分のばす

5. 老いたきつね

- 一回通して歌った

次回練習

<2月8日> 9:30～12:00 於：新宿文化センター4F 第一会議室

- 「ミサ曲」を練習予定

特記事項

- 特になし

以上 報告者 江守

日時：2014. 01. 11(土) 14:00～17:00

場所：於 文京シビックホール B1 練習室2

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：上田 高木 丸谷

TII：北村 国分 富田 江守

BI：大野 福井 藤山 瀧山

BII：木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- 「岬の墓」の 65 小節から 76 小節、85 小節から 192 小節、200 小節から最後までに区切り、パート別に音の確認を行い、それぞれの区切りを通して歌った
- その後、最初の 2 頁の音の確認を繰り返した後、62 小節までのおさらいをした。
- 最後に、最初から 192 小節までを通して歌った

1. 岬の墓（以下の内容は歌の順序に従って記入）

- 9 小節 T1 はしっかり音の準備をして入る
- 18 小節や 20 小節などの T1 の「M」は歌いにくい場合は「N」で歌っても良い
- 21、22 小節の「日は高く」は 51 小節などと異なり、f だがアクセントは無い
- 25 小節 B1、B2 の「ぼって」の間に休符が有るが、スラーを意識して歌う
- 26 小節 B1、B2 の「見おろせば」の「ば」は丁寧に入る
- 39 小節から少しテンポを緩ませる
- 50～52 小節 T2、B1 は T1 が入りやすいように
- 53 小節 T2 の「うみに」の「う」は、ずり上げずまっすぐ入ること
- 65～67 小節の「日は」の h を鋭目に
- 69 小節目からは上の段とは対比的に dolce を意識して B1 は言葉が出遅れないように
- 154 小節 T2 の「りー」は B1 につられて落ちないように音を保つ
- 200 小節「日は」のアクセントは「日」の方にしっかり入れる（逆にならないよう）
- 200、201 小節 B2 の「日は高く」はアクセントをつけてメリハリを
- 203 小節 T2 の「うーみ」の「み」は下がり過ぎないように
- 215～220 小節は B1 がしっかり出す
- 225 小節 T1 は「しろい」の「し」をしっかり出す
- 239 小節 T1・B1 と T2・B2 のリズムの違いがはっきり出るように
- 252 小節は T2 がメロディーなのでしっかり動く
- 262 小節と 263 小節の間を区切る
- 208 小節と 209 小節の間もポーズが入る
音がしっかりとれるようになったら、今後テンポの変化を加えていく

次回練習

<1月25日> 14:00～17:00 於：文京シビックホール B1 練習室2

- 「ノスタルジア（鉾をおさめて）」と「光る刻（鹿）」を練習予定

特記事項

- 本日より、'65年入団の国分和夫さんが T2 として参加されることになった
- 1月18日（土）に OB 会東京支部の新年懇親会が下記の通り開催される
18時～ 於：「北の酒蔵駒八 別館」 港区芝 5-16-14

以上 報告者 江守

2013年（降順）

日時：2013・12・28(土) 9:30~12:00

場所：於 新宿文化センター 第二会議室

参加者(敬称略)

指揮：甲和

T I：上田 高木 丸谷 村田

T II：北村 富田 江守

B I：池田 大野 藤山 淵山

B II：待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- Rheinberger のミサの Kyrie を和音や各パートの動きを確認しながら通した。
- 「光る刻」の「老いたきつね」を一度通して歌った後、最初に戻り、言葉の伝え方やリズムなどを確認しながら進め、最後にもう一度通して歌った

1. ミサ「Kyrie」

- 6小節の4拍目の前でT2、B1等はブレスが入るがT1はノンブレスで8小節目までつなげる
- 7小節 4拍目の裏で各パートのeiを揃える
- T2の11小節目からの音の動きは、その前のT1の動きを受けてしっかりと動く
- 12小節の4拍目、T2はeをしっかりと言い直す
- 各パートのeleisonの動きがしっかりと分かるように意識する
- 12小節から22小節まではfで
- 27小節 T2のsonはしっかりと伸ばして存在感を残す
- 33小節からT2はオブリガートになるのでしっかりと歌う
- 47小節からT1は音程に注意し、ここまでと違うリズムを意識して歌う
- 61~63小節 のKyrieは音の変化の山形を意識して強さを変化させる
- 65~67小節のeで動く所は汚いeにならないように
- 全体に各パートの動きを把握し、歌詞を大切に歌うように
- eleioson のeiやonの伸ばしは、リズム感の有る所では早めに切って次の入りに備える

2. 「光る刻」の「老いたきつね」

- 13小節 「すすきの」は「すすき」と分かるように、T1、T2は最初の「す」をしっかりと
- 16小節 「てっ」はテヌートで
- 27小節 T1、T2の「じぶん」のは「じぶーんの」と言うリズム感で
B1、B2の「そんざい」もリズムをしっかりと刻む
- 41~43小節 T1、T2はリズムに乗って
- 49小節4拍目 B1、B2の「ひ」をしっかりと出す
- 64小節 「ばかり」は縦の揃えを意識して

●73小節 「うちゅう」から ♩=80 のリズムに

●81小節 3連符を合わせる

次回練習

<1月11日> 14:00~17:30 於:文京シビックホール B1 練習室2

●「岬の墓」を練習予定

特記事項

●特になし

以上 報告者 江守

日時:2013・12・21(土) 17:30~20:30

場所:「ルミアモーレ」

参加者(敬称略)

ピアノ :坂田 百合子

バイオリン:松永 真理子

指揮:甲和

TI:上田 高木 松本 丸谷 村田

TII:北村 富田 本間 江守

BI:池田 大野 福井 藤山 渕山

BII:奥戸 待山 山邊

OB:岡部 (T2)、奥村 (B1)、藤原 (B1)、高島 (B2)、大江 (B2)、佐々木 (B2)

外大OB:五十嵐 (T1)、西川 (B1)、浜崎 (B1)、樽井 (B2)、野田

1. X'masConcert

- 東京支部の練習に11年に渡って携わっていただいているピアニストの坂田さんと音大同期のバイオリニスト松永さんによるジョイントコンサートを、目黒雅叙園系列の結婚式場「ルミアモーレ」のチャペルで開催した。
- 上記の参加者の他、東京支部メンバーの家族・知人44名、東京支部の北村さんが所属する男声合唱団「アンサンブルコロナ」のメンバー18名など総勢93名が参加。
- デュオの他、バイオリンソロ、ピアノソロの構成で、クリスマスソングやポピュラーな曲も含め13曲が演奏された。楽しい曲からしっとり聞かせる曲まで幅広い選曲で、参加者からはお二人の熱演に盛大な拍手が送られた。

2. パーティー

- コンサートの後は同所のパーティー会場でパーティーを実施。
- パーティーの中で、「アンサンブルコロナ」による「A Little Jazz Mass」、東京支部メンバー+阪大男声OB+外大OBによる「富士山II番」と「クリスマスソングメドレー」を演奏。
- それぞれ約15分の演奏だったが、飲食がされている中でもあり、やや集中しづらい面はあったが、お客様には楽しんでもらえたものと思う。
- その後、各所から協賛いただいた景品による「お楽しみ抽選会」なども行い、締めくくりの全体合唱に入る前に、お客様からのアンコールに応え「Ständchen」を、お客様からの

飛び入りの方1名と共に演奏。

最後は「遙かなる友に」を歌いながら和やかな内にお開きとなった。

3. その他

- 参加されたお客様からは「コンサートもパーティーも予想以上に楽しく満足した」「来年も有れば是非参加したい」などの感想が寄せられています。
- 東京支部として初めてのクリスマスイベントでしたが、外大OB合唱団との交流や都内の他の合唱団との交流、団員の知人、家族との交流など、多くの意義ある企画でした。
- 甲和さんにはこの会の為に「クリスマスソングメドレー」を編曲いただきました。また、このイベントの為に多くの時間を練習や打合せに費やしていただいた坂田百合子さん、松永真理子さんに、心より御礼を申し上げます。

以上 報告者 江守

日時：2013・12・14(土) 13:00~15:30

場所：於 新宿文化センター 第二会議室

参加者(敬称略)

指揮：甲和

T I：上田 高木 村田

T II：北村 富田 江守

B I：池田 大野 福井 藤山 渕山

B II：小川 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- ノスタルジアの「みかんの花咲く丘」を譜読みで最初から通した。
- 12月21日のX'masPartyで歌うクリスマスソングメドレーをテンポ、強弱、マなどを確認しながら全体を通した。
- 岬の墓を最初から61小節目まで、和音やパートの役割などを確認しながら進め最後に通して歌った

1. ノスタルジア「みかんの花咲く丘」

- T2は5小節目から14小節目までのAの音とAisの音程の差を明確に歌う
- 22小節目から31小節目にかけて、T1はメロディーの流れに沿うよう、T2は動きを出すこと、B1は和音の厚みをつけること を意識して歌う
- 8分音符の連続でテンポが速くなりがちになる。ゆったりと歌うこと
また、和音と旋律の流れを確認しながら歌うこと

2. クリスマスソングメドレー

- p1 1段目 I'm の所はクレッシェンドでふくらませる
- p1 1段目 dreaming of の dreaming と of の間に隙間を入れる
- 14小節目 listen and の listen と and の間も隙間を入れる
- 20小節目から音が分かれるので小さくならないよう、しっかり歌う

- 32 小節目の 2 拍目の後のブレスはしっかり入れる
- 53 小節目 もろびと・・・ からテンポを少し落とす（指揮を見ること）
- p3 きよしこのよる は音が落ちないように注意し、ゆったり歌う
- 118 小節目 フェルマータのついている音は sfz を入れる

3. 岬の墓

- 4, 5 小節目の和音の確認を繰り返し行った。最初なので特に重要
- 12 小節目から 14 小節目 スラーのかかり方がパートによって異なるので
違いが活きるように
- 11 小節目から 14 小節目にかけてクレッシェンドが続くが 13 小節目の下降音
の所で一旦おさめ、その後再度クレッシェンドする
- 18 小節目からの T1 のクレッシェンド、デクレッシェンドは波の寄せ引きの
感じができるように
- 21 小節目 日はたかく の所の f はきつくない f で
- 23 小節目 T2、B1 の海の辺のおかに はレガートで
- 26 小節目 B1、B2 の ば の音はしっかり歌う
- 28 小節目 T1 の ひかる の h をしっかり出す
- 30 小節目 rall. でテンポをゆるめる
- 31 小節目 p で入り 34 小節の前の mf めがけてクレッシェンドしていく
- 53 小節目 T2 の うみに はエコーなのでアクセントは付けない
- 54 小節目でテンポダウンに入る
6 1 小節目まで（特に最初の 2 ページ）が重要なのでしっかり自習する

次回練習

<12月28日> 9:30~12:00 於：新宿文化センター4F 第二会議室

- 「ミサ」、「光る刻」を練習予定

特記事項

- 12月21日はX' MasPartyを開催する。発声練習などを16:30から行うので
参加者は各自集合のこと（JR浜松町駅 北口から徒歩7分 ルミアモーレ）

以上 報告者 江守

日時：2013・11・30(土) 14:00~17:00

場所：於 新宿文化センター 会議室1

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：上田 高木 丸谷 村田

TII：北村 富田 本間 江守

BI：大野 福井 藤山 淵山

BII：小川 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- Rheinberger のミサの「Sanctus」を歌詞で最初から通した。
「Benedictus」、「Agnus Dei」を譜読みで通した。
- 12月21日のX'masPartyで歌うクリスマスソングメドレーの「きよしこのよる」の後半部の確認をした後「きよしこのよる」を通し、最後に全体を通した

1. ミサ

「Sanctus」

- 13小節目からの poco animato はスラーの箇所以外はマルカート気味に歌う
- 6小節目 T1 の Deus の De はしっかり入ること

「Benedictus」

- SOLO の箇所も含め、最初から終わりまで譜読みで通した
- TUTTI の箇所は歌詞を交えながらの確認もした

「Agnus Dei」

- 最初から終わりまで譜読みで通した
- 和音の変化を意識しながら歌うこと

2. クリスマスソングメドレー

- p1 1段目 テンポ良く歌う
- dreaming of の of は「アブ」に近い発音で
- 25、26小節目 T2の「Uh」は「A」にする
- 37小節目以降の「Joy」は「ジョイ」と短く歌い「ジョーイ」とならないよう
- 45小節目 T1はしっかり歌いB1は抑え気味に歌う
- 83小節目 強く入り過ぎないようにするが、和音はしっかり聞かせる
- 104小節目 音を上げる所はポルタメントをかける
- 112小節目 T1の「ほしは一」の「一」と伸ばす箇所は「あー」と言い直して歌う

次回練習

- <12月14日> 13:00~15:30 於：新宿文化センター4F 第二会議室
- 「岬の墓」、「ノスタルジア」を練習予定

特記事項

- 特になし

以上 報告者 江守

日時：2013・11・23(土) 14:00~17:00

場所：於 文京シビックホール 練習室2

参加者(敬称略)

指揮：甲和

T I : 上田 高木 松本 村田
T II : 北村 富田 本間 江守
B I : 池田 大野 福井 藤山
B II : 大城 木戸 待山 山邊
ピアノ : 坂田

練習内容

- 岬の墓を最初から順次歌詞で通した。25 番以降は譜読みやリズムの確認など
もしながら進めた。
- 12 月 21 日の X'masParty で歌うクリスマスソングメドレーを最後の数小節前迄一通り通した

1. 岬の墓

- 22 小節目 T2 の「く」の音は頑張り過ぎないで、抜くくらいの気持ちで
- 27、28 小節目 T2 の「きららに」は強すぎないように、T1 の「ひかーる」はしっかり歌う
- 31 小節目以降 「やすらう」の「ら」は「ろ」と発音する
- 55 小節目から 57 小節目まではテンポを落とし、58 小節目からは戻すことを意識する
- 68 小節目 T2 の「く」はしっかりアクセントを入れ、B2 の「ー」の＝ は強すぎないように
- 87 小節目 「ふ」をしっかり揃えて入る。T2、B1 の「う」の入りが遅れないように準備
- 91 小節目 T1 の 8 分音符の動きは早すぎないように
- 104 小節目 *piu mosso* だが早くするのは 106 小節目からとする
- 104 小節目 「ひ」の入りが鈍いので気を付ける
- 115 小節目 T1、T2 の「かがやく」はしっかり歌う。「く」で全パート揃って入るように
- 132 小節目以降 N と M があるので違いを意識して
- 208 小節目 B1、B2 「ひ」の入りが遅くなるので注意
B1、B2 の 3 連符はリズムを刻む気持ちで、重くならないように
- 228 小節目 この小節の終わりで一旦切ってから次の小節に入る
262 小節目も同様

2. クリスマスソングメドレー

- 1 ページ目のブレスの位置がずれて小節の終わりに表記されている箇所があるが
正しくは 1 拍前なので修正しておくこと
- 51 小節目の「Ah」の前に軽くブレスを入れる

次回練習

<11 月 30 日> 14:00~17:00 於：新宿文化センター 4F 第一会議室

- 「ミサ」を練習予定

以後の年内の練習は以下の予定

- 12 月 14 日 「岬の墓」、「ノスタルジア」 この日の練習は 13 時~
- 12 月 28 日 「光る刻」、「ミサ」 この日の練習は 9 時半~

特記事項

- X'masParty では合唱団アンサンブルコロナにジャズミサ歌って頂くことになった
大阪男声東京支部は「富士山Ⅱ番」と「クリスマスソングメドレー」を
外大グリーOBの参加者と歌う
最後は「遙かな友に」をパーティ参加者全員で歌うことにする

以上 報告者 江守

日時：2013・11・03(土) 14:00~17:00

場所：於 東京文化会館 リハーサル室 B

参加者(敬称略)

指揮：甲和

T I：上田 高木 松本 丸谷 村田

T II：北村 富田 本間 江守 岡部*

B I：福井 奥村*

B II：大城 待山 山邊 大江* 佐々木* 高島*

(* は男声フェスティバルへの賛助出演者)

外大OBは8名 (T I：戸田・田中、T II：赤城・竹尾・若林、

B I：浜崎、B II：大井、樽井)

ピアノ：坂田

練習内容

- 男声フェスティバルに向け、「富士山」の外大グリーOBとの合同練習4回目
- Ⅱ番の最後の4小節のメロディーを発声練習を兼ねてマーや母音で歌い
和音の確認をした後 Ⅱ番、Ⅴ番の順で細部の確認をしながら通した
- 12月21日のX'masPartyで歌うクリスマスソングメドレーを一通り通した

1. Ⅱ番

- p10 2段 1小節目 「まぶしく」は、軽くスタッカートで
- p10 2段 2小節目 「あふれ」は豊かさを意識し「ふ」のuは短くなり過ぎない
また「ふ」は音が分かれる所なので少し強めでも良い
「れ」の和音はT1に合わせる意識で
- p10 2段 4小節目 「が」と「ふけば」の間は切らずにノンブレスで
- p10 3段 1, 2小節目 少し accel. する
- p10 4段 1小節目 m f 一位で入る。繰り返しの言葉は気持ちを込めて大切に
- p10 4段 1, 2小節目 「ささやき」のsの子音は少し強めに出す
- p11 1段 2小節目最初の 「の」は decresc.だが次の p p は予想させない
また、音はのぼし、切れた形にはしない
- p11 3段 6小節目 「なか」は8分音符の長さを保ちタイミングを合わせる
- p12 3段 T1は歌詞が多いが、走らないように
- p12 4段 3~5小節目 アクセントの箇所は強くなり過ぎないようにし

dim.するくらいの意識で

- p12 5段 1小節目 B1,B2の「する」は頑張り過ぎないように
- p13 2段 2小節目 「みみには」はpだが緊張感を持った声で
- p13 2段 4小節目最後の「り」の和音をしっかり決める意識を持つ

2. V番

- p20 「へいやすれすれ」の音が正しく取れず何度も繰り返して確認した。
各パート共に p20 の復習が必要
- p20 1段 1, 2小節目 言葉をしっかり言い切る
- p20 2段 4小節目 T1,T2 はリズムに乗り、入り遅れないようにする
この小節の終わりまでテンポを落とさない
- p20 3段 1, 2小節目 pだが言葉を立てて。「すれすれ」のsを明確に
- p20 4, 5段 「ぜったん」のzをしっかり出す。「たん」は8分音符の長さを正確に
- p22 5段 の「ぜったん」も同様
- p20 5段 3小節目 「いきなり」はユニゾンなので、ここで音程を合わせる！

- p21 1段 1小節目 「ゆう」のyを大切に
- p21 1段目から2段目の3小節目まではブレス無し（カンブレで）
- p21 3段 3小節目の前でブレスを入れ、縦を揃える
- p21 3段 3小節目 「ゆう」の長さを2拍しっかり取り、「ばえ」に突っ込まない

- p22 1段 1小節目 T2、B1の「ふりそそぐ」の「り」は動きが分かるよう強めに
- p22 2段 T1の「スーの」の「の」はアクセントは無いのもう少し滑らかに
- p22 3段 T1、T2の「へいやすれすれ」は音が下がらないよう
- p22 5段 4小節目 「いきなり」の所で *piu f* に

- p23 1段 *Meno mosso* の所から4小節を1フレーズとし、間にブレスを入れない
- p23 1段 *Meno mosso* から *f* だが、5段 2小節目からの *f f* を意識して
少し抑えた豊かな *f* で
- p23 5段 2小節目 *f f* の前にブレス、4小節目に入る前にブレス
- 古い版の楽譜ではテンポ指定が違っているものが有るので注意。下記が最新
- p20 1段： $\text{♩} = 144$
- p21 1段： $\text{♩} = 84$ 、4段： $\text{♩} = 108$
- p23 1段： *Meno mosso* $\text{♩} = 94$

- 今回はⅡ番とV番だけだが、一つの楽曲とすることを意識して歌う

3. クリスマスソングメドレー

- 譜読みまたは歌詞で最後まで通し、流れを確認した

次回練習

<11月9日(土)> 9:00~9:45 於:東京文化会館 リハーサル室 A

集合は8:50 部屋は8:45に入れます

●男声合唱フェスティバル 於:浜離宮朝日ホール 受付10:37 集合10:47

<11月23日(土)> 14:00~17:00 於:文京シビックホール B1 練習室2

●「ミサ」、「岬の墓」を練習予定

特記事項

●特になし

以上 報告者 江守

日時:2013・10・27(日) 14:00~17:00

場所:於 文京シビックホール 練習室2

参加者(敬称略)

指揮:甲和

TI:上田 丸谷 村田

TII:富田 江守

BI:宇野 福井 藤山 淵山

BII:大城 待山 山邊

練習内容

- ミサ 「Sanctus」の譜読みの後歌詞を付けた
- ノスタルジア 「砂山」の譜読み

1. ミサ Sanctus

- 「Sanctus」は初練習。パート毎に譜読みを行った
- その後歌詞をつけて通した。
- 16小節目 T2 等の coe-li は チェリ と発音
- 25小節目 T1 等の ex-celsis は エクスセルスィース と発音

2. ノスタルジア 砂山

- 「砂山」は初練習。パート毎に譜読みを最後まで行った後、4声で譜読み
- 特に5小節目から18小節目迄の和音の変化を重点的に確認
- スラーが付いている箇所注意到意し、その中は切れた感じにならないように

次回練習

11月3日(日) 14:00~17:00 於:東京文化会館 B1 リハーサル室 B

●「富士山」II番、V番 外大グリーOBとの合同練習

特記事項

●特になし

日時：2013・10・26(土) 9：30～12：00

場所：於 アカデミー音羽 多目的ホール

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：松本 丸谷 村田

TII：富田 江守 岡部*

BI：宇野 福井 藤山 藤原*

BII：大城 木戸 山邊

(* は男声フェスティバルへの賛助出演者)

外大OBは10名参加

ピアノ：坂田

練習内容

- 男声フェスティバルに向け、「富士山」の外大グリーOBとの合同練習3回目
- II番の最初の6小節のメロディーを発声練習を兼ねてマーや母音で歌った後II番、V番の順で細部の確認をしながら通した

1. II番

- p10 1段 2小節目 「に」の音は最初のミの高さにしっかり戻る意識で
- p10 2段 1小節目 「まぶしく」は、軽くスタッカートで
- p10 2段 4小節目 「が」と「ふけば」の間はノンブレスで
- 同じ歌詞が繰り返される場所の2回目は歌詞の気持ちを特に大切に歌う
例：「あしのはのささやき あしのはのささやき」
- p10 3段 4小節目 この小節の最後まで f で歌い次の mf と対比を明確に
- p11 1段 2小節目 「したにも」のスタッカートはタイミングを合わせることに特に「も」は出遅れやすいので早めに準備する
- p11 1段 3, 4小節目 「はるのひかり」は曲の最初と同じく軟らかな気持ちで
- p11 3段 6小節目 「な」と「か」は同じ母音だが「な」は明るめ、「か」は暗めを意識して
- p11 5段 1小節目 8分休符の所で「っ」が入るイメージで
- p11 5段 4小節目 「た」の音では cresc. しない
- p12 1段 4小節目 8分休符の後の「て」の入りを揃える
- p12 2段 4小節目 T2の「しょうじょ・・・」の「しょう」は強くなり過ぎないように
- p12 4段 3小節目から 縄跳びの縄を回す感じで
- p12 5段 2小節目から 縄がだんだん早く回る感じで
- p13 2段 3小節目 「ちかづき」の「き」から rit. に入る（その前では rit しない）

- p13 2段 2小節目 「みみには」は一音ずつ *cresc.* していく
- p13 2段 4小節目 hの音が多いが、hの発音を一つずつ大切に

●歌詞は平仮名記載だが、漢字を横に記すなどして言葉のイメージを持って歌うこと

2. V番

- p20 1段 「へいやすれすれ」の2回目は言葉を大切に立てて歌う
「す」の音にも時間をかける
- p20 2段 4小節目 この小節の中ではブレーキをかけない
- p20 4段 1、3小節目 「ぜったん」の「ぜ」は鋭さを持って
3小節目はpだがpの中での鋭さをだす。pは言葉を立てる意識が必要
- p21 1段目から2段目の3小節目まではブレス無し（カンブレで）
- p21 1段目から3段目 「ゆうばえのふじ」の「ふ」はuの音の時間をしっかりとる
- p21 5段 4小節目 T2、B1の「だいしゅうう」の入りが遅れないように
- p22 1段 1小節目 T2、B1の「ふりそそぐ」の「ふ」が遅れないよう準備して
- p22 1段 3小節目他 「すいらんガラス」の8分音符が続く所は走らないよう
- p22 2段 2～4小節 アクセントを意識して
- p22 2段 4小節目 「へい」の付点八分音符の付点をしっかり意識
- p22 4段 2～4小節目 テナー系はしっかり上がること
- p22 5段 「ぜったんに」の「っ」を意識する。「た」「ん」も一音ずつ意識して
- p22 5段 5小節目 T1の「ガッ」の音はしっかり上から出す
- p22 5段 poco a poco *cresc.* だが「に」で大きくしない
- 次にどう歌うかを常に意識しながら歌うこと

次回練習

10月27日(日) 14:00～17:00 於：文京シビックホール B1 練習室2

- 「ノスタルジア」、「ミサ」を予定

特記事項

- 坂田さん(ピアニスト)のイベントで歌うクリスマスソングメドレーの楽譜
(甲和さん編曲)が配付された

以上 報告者 江守

日時：2013.10.12(土) 14:00～17:00

場所：於 新宿文化センター 4F 第二会議室

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：上田 高木 村田 内田*

TII : 北村 富田 本間 江守

BI : 池田 宇野 大野 福井 藤山 湊山

BII : 木戸 待山 山邊

(* 帰京中の内田さんが臨時参加)

ピアノ : 坂田

練習内容

- 「岬の墓」の 65 小節目から 172 小節目までを譜読みした後、
1 小節目から 172 小節目までを歌詞で通した
- 「ノスタルジア」の「故郷」を歌詞で通した。
「赤とんぼ」は一度だけ歌詞で通して復習をした

1. 岬の墓

- 31 小節目から 33 小節目までの「やすらうー」は「やすろおー」と発音する
- 104 小節の 3 拍目はピアノの 7 連符の幅に合わせて間隔が広いが騙されないよう
- 最初の 4 ページまで、特にアカペラ部分が音取りが難しいので復習しておくこと

2. ノスタルジア

(1) 故郷

- 7 小節目や 9 小節目の最後の音は下がりすぎないように、特にテナー系は注意
- 14 小節目の「が」は鼻濁音で
- 57 小節目で *Piu lento* になるが、61 小節目で *Tempo I* なので注意する

(2) 赤とんぼ

- 他のパートとリズムが違う箇所ではリズムを刻むだけでなく、
メロディアスに歌うこと

次回練習

10月26日(土) 9:30~12:30 於: アカデミー音羽 1F 多目的ホール

- 「富士山」II番、V番を外大グリーンOBと合同練習

次々回練習

10月27日(日) 14:00~17:00 於: 文京シビックホール B1 練習室2

- 「ノスタルジア」、「ミサ」を練習予定

特記事項

- 練習を始める前、経澤さんの訃報の報告が富田支部長よりあり、
待山さんからの、亡くなられるまでの経過のお話の後、全員で黙祷をした。
— たいへんお世話になりました。ご冥福をお祈りいたします —

以上 報告者 江守

日時：2013・09・29(日) 14:00～17:00

場所：於 文京シビックホール 練習室 2

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：上田 高木

TII：北村 富田 本間 江守

BI：宇野 福井 藤山 瀧山

BII：小川 大城 木戸 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- Rheinberger のミサ曲 Credo を譜読みで最後まで通した
- 岬の墓の 2 回目練習 61 小節までの譜読みの復習の後、歌詞をつけて練習

1. Credo

- ベース系とテナー系の掛け合いが多いので、動きを意識して入る
- 13 小節目 バリトン以外はしっかり切り、バリトンは p だがはっきり出る
- 15 小節目 f の所の音程を正しくとる
- 85 小節目 バリトンの動きからバスの動きにつながるよう意識して

2. 岬の墓

- 61 小節目までを譜読みで復習 (p1、p2 は特に時間をかけて)
- その後、同じ範囲を順次歌詞をつけて練習
- 8 小節目のバリトンの入りは、その前のベースの動きから音を取ると入り易い
- 43 小節目 「うー」は「う」と「お」の中間的な発音で
- 55 小節目 「おかの辺に」の h、56 小節目 「かげひとつ」の h を明瞭に出す
- 61 小節目 「なーー」の音の変化は階段にしないでレガートで
- p 1 ~ p 2 の音取りが非常に大切なのでおさらいをしておくこと

次回練習

10月12日(土) 14:00～17:00 於：新宿文化センター 4F 第二会議室

- 「ノスタルジア」、「岬の墓」を予定

特記事項

- 特になし

以上 報告者 江守

日時：2013・9.21(土) 14:00～17:00

場所：於 東京聖テモテ教会

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI : 上田 高木 松本 丸谷

TII : 北村 富田 江守

BI : 宇野 福井 藤山 淵山 藤原*

BII : 木戸 待山 山邊 大江* 佐々木*

(* は男声フェスティバルへの賛助出演者)

外大 OB は 8 名参加

ピアノ : 坂田

練習内容

- 男声フェスティバルに向け、「富士山」の外大グリーOB との合同練習 2 回目
- II 番、V 番それぞれの最初から、歌う気持ちの持ち方などを確認しながら通した

1. II 番

- p10 1 段目 B1、B2 の入りはテナー系の響きと同じになる気持ちで
- p10 2 段目 「まぶしく」はややスタッカート気味に。ただし走らないこと。
- p10 3 段目 3 小節目 f だが強すぎないよう。然し 4 小節目終わりまで痩せない。
- p 10 3 段目、4 段目 「あしのはのささやき」の歌詞の繰り返しは同じには歌わない。2 回目は言葉を大切に。
- p 10 4 段目 3 から 4 小節目 「よしきりは」の「は」は押し過ぎないように
- p11 3 段目 6 小節目 8 分休符は、切れた感じにならずに余韻を出す
- p11 4 段目 T2 の = の付いた音は和音の切替わりの大切な音なので注意する
- p12 1 段目 4 小節目 付点四分音符はしっかり伸ばすこと
- p12 3 段目 1, 2 小節目 B1 はテナー系の響きと同じになる気持ちで
- p12 4 段目 2 小節目の終わりまで mp が続く
- p12 5 段目 1 小節目の最後まで mf で歌い、次の mp との差を明瞭に
- p13 1 段目 4 小節目の f は強くなり過ぎないようにし、2 段目の f f に持って行く意識で歌い上げる。

2. V 番

- p20 1 段目 「へいやすれすれ」の 1 回目は音を大事に一息で
2 回目は歌詞を大事に。h、s、s、の子音を意識して歌う。
- p20 2 段目 1 小節目~3 小節目は 滑舌良く、テンポ良く。
- p20 3 段目 1, 2 小節目 p だが言葉を立てるように、届く声で
- p20 4 段目 「そのぜったんに」の z を意識して歌う。 p22 5 段目も同様
- p21 「ゆうばえのふじ」の「ふ」をしっかり歌う（短くならないよう）
また 2 小節目ずつ切れた感じにならないよう、つながりを意識して。
- p21 3 段目 4 小節目 B2 は全体のクレッシェンドが崩れないよう控え目に入る
- p21 5 段目 4 小節目 T2、B1 の「だいしゅう」の「だ」は強すぎないように
T1 の「ふ」はしっかり歌う
- p22 2 段目 2 小節目 「だい・・・」の前に軽くブレスを入れ「だ」をしっかり歌う
- p22 2 段目 4 小節目 「へい」の付点八分音符の付点をしっかり意識
- p23 1 段目 molto espre.の所は頑張り過ぎず伸びやかな f で歌い上げる

●p23 3段目 2小節目 休符の入り方を揃える

次回練習

9月29日(日) 14:00~17:00 於:文京シビックホール B1 練習室2

●「ミサ (Credo)」、「岬の墓」を予定

特記事項

●特になし

以上 報告者 江守

日時:2013・09・14(土) 14:00~17:00

場所:於 文京シビックホール B1 練習室2

参加者(敬称略)

指揮:甲和

TI:上田 高木 丸谷 村田

TII:富田 本間 江守

BI:大野 福井 藤山 淵山

BII:大城 小川 木戸 待山 山邊

ピアノ:坂田

練習内容

- 「岬の墓」を初めて練習
- 「ノスタルジア」の「故郷」の譜読み、「赤とんぼ」は前回の復習

1. 岬の墓

- p8の61小節目までの譜読みを行った
- 15小節目までのアカペラの部分は、音の取り方が難しい所も有るが練習用CDを聞いて覚えてしまうこと
- 16小節目はc-durの和音を意識すること

2. ノスタルジア

(1) 故郷

- 初回なので全体を譜読みした

(2) 赤とんぼ

- 前回の練習を思い出すため全体を一度通した。

「忘れていた所も有るが2/3位は覚えていましたね」との甲和さんの評価

次回練習

9月21日(土) 14:00~17:00 於:東京聖テモテ教会

●「富士山」II番、V番を外大グリーOBと合同練習

特記事項

- 特になし

以上 報告者 江守

日時：2013・8.31(土) 13:30~17:00

場所：於 東京聖テモテ教会

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：上田 高木 丸谷 村田

TII：北村 富田 本間 江守

BI：藤山

BII：大城 木戸 山邊 服部 大江* 高島*

(* は男声フェスティバルへの賛助出演者 来京中の服部さんが臨時参加)

外大OBは9名参加

ピアノ：坂田

練習内容

- 本日は男声フェスティバルに向け「富士山」を外大グリーOBと合同練習
- II番、V番を一通り通した

1. II番

- p10 1段目 「はるのひかりは」の”は”の発声は音の出が遅れやすいので意識してはっきり出ること
- p10 4段目 「よしきりはなく」の”は”は助詞なので強すぎず「なく」にweightを
- p11 3段目 a tempo は、 $\text{♩} = 120$ くらいにする
- p12 3段目~ トップは「うまごやしの」から「はなわをつくる」までを1フレーズの意識をして歌う

2. V番

- p21 1段目、2段目「ゆうばえのふじ」の”ふ”は8分音符の長さを意識する
- p21 4段目、5段目 4小節を1フレーズと意識して歌う
- p21 4段目 1, 2小節目 「そそぐそそぐ」の”そ”は皆同じ強さではなく、それぞれの”そそぐ”の最初の”そ”をやや丁寧に
- p22 5段目 「ぜーったん」の”たん”は8分音符ずつの長さで。
(”ん”が早く入らないよう)
- p23 1段目 2, 3小節目 音符の所は rit を意識しない。休符で rit 位の感じに

次回練習

9月14日(土) 14:00~17:00 於：文京シビックホール B1 練習室2

- 「岬の墓」、「ノスタルジア」を予定

特記事項

- 合同練習の初回だったので、練習開始を 30 分早めて自己紹介を行った
また、練習終了後に懇親会を実施し親睦を深めた

以上 報告者 江守

日時：2013・8.24(土) 14:00~17:00

場所：於 新宿文化センター 4F 第二会議室

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：高木 丸谷 村田

TII：北村 富田 江守

BI：宇野 大野 藤山 淵山

BII：大城 小川 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- 本日は Rheinberger のミサ曲：Gloria と ノスタルジア：赤とんぼ を練習した
- Rheinberger のミサ曲の発音は Byrd のミサと同様の発音に変更となった

1. ミサ：Gloria

(1) 30 小節の拍目までを譜読みの後、歌詞を付けて復習

- 14 小節 上三声の mus の発音はバスの 8 分音符の動きに合わせ、
ムーウスと発音
- 16 小節 4 拍目の am はア．ム．ではなくアーアムと発音する
- 19 小節 4 拍目の us などと同様に

(2) 30 小節 2 拍目以降、最後までを譜読みした後歌詞をつけた

2. ノスタルジア：赤とんぼ

(1) 最後まで譜読みし、歌詞をつけて通した

- 楽譜中 B.O.とあるのは口を開いた (nによる) ハミング
B.F.とあるのは口を閉じた (mによる) ハミング
- 付点四分音符+8 分音符の箇所はしっかりリズムを掴んで 8 分音符に入る
- 32 小節 セカンドの 2.5 拍目 も同様。裏の和音を大切に

次回練習

8 月 31 日(土) 13:30~17:00 於：東京聖テモテ教会 (下記の URL を参照ください)

http://www.nskk.org/tokyo/church/map_html/timothy_m.htm

- 富士山 II、V を外大 OB と合同練習

特記事項

日時：2013・8.10(土) 14:00~17:00

場所：於 新宿文化センター 4F 第二会議室

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：高木 丸谷

TII：江守 北村 富田 本間

BI：宇野 大野 福井 藤山

BII：小川 木戸 待山

ピアノ：坂田

練習内容

- 本日は Rheinberger のミサ曲の練習を行った
- 発音はドイツ式で行う。Byrd の時と異なるため混乱しないように

(1) Kyrie

- 以下の発音に注意すること
Kyrie：yはu ウムラウトで
eleison：エレイゾン
- 譜読みの後、歌詞をつけて通した

(2) Gloria

- 以下の発音に注意すること
hominibus：ホミニブス (h を発音する)
agims：アギムス
magnam：マーグナム
unigenite：ユニゲニテ
Jesu：イエーズ
agnus：アグヌス
qui：クヴィ
suscipe：ススチペ
quoniam：クヴォーニウム
- 30 小節の頭まで、譜読みの後、歌詞をつけて歌った

次回練習

8月24日(土) 14:00~17:00 於新宿文化センター 4F 第二会議室

- ミサ
- 岬の墓、ノスタルジアも部分的に練習予定
(必要な楽譜は準備予定だが、持っている人は持参のこと)

特記事項

- 定演に特別参加された福井朗さん、小川倫洋さんが
継続的に練習に参加されることとなった。
- 東京支部の新年度の運用方針に関し富田支部長より以下について説明
が有り、了解が得られた
外大 OB との交流を深めていく
(外大定演の合同ステージに向け、8月31日に「富士山」を合同練習する)
新年度の運用支援メンバー紹介

以上 報告者 江守

日時：2013・7・14(日) 14:00~17:00

場所：於文京シビックホール B1 練習室1

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：上田 高木 松本 丸谷 村田

TII：江守 北村 富田 本間

BI：池田 宇野 大野 藤山 渕山

BII：大城 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- 本日は演奏会のステージの順に従った練習を行った。

(1) 三声のミサ

- 全体的に歌詞(単語)の切れ目をしっかり意識して歌うこと
- 四分音符や8分音符での動きの有る所は、大切に歌うこと
- 歌詞の意味を考え「讃える」、「願う」等の気持ちをこめて歌うこと

(2) 富士山

- p13 III番 入りの所はピッチの幅をしっかり取って音がずれていかないようにする
- p14 5段目 に入る前の4段目までの所でしっかり音を合わせる
- p17 2段目 accel が有るのでしっかりついていくこと

(3) マザーグースの歌

- IV p42 の2回目の「釘が不足で・・・」は悔しさも込めた感じに
- VII 3連譜の刻みを正確にとること

(4) 光る刻

- もう一度歌詞をしっかり読んで詩の意味を感じておくこと

(5) アンコール曲

- ひばり : p6 3段目の最後 入りが遅れないように
- Muss i denn : 歌詞を正確に。リズム感が出るように

次回練習

7月20日(土) 15:00~19:20 於東京文化会館 B1 リハーサル室A
前日リハーサルとなる。

特記事項 なし

以上 報告者 江守

日時：2013・7・6(土) 9:30~12:00

場所：於文京シビックホール B1 練習室1

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：上田 高木 松本 村田

TII：江守 北村 富田 本間

BI：池田 宇野 大野 藤山 渕山

BII：大城 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- 1、本日は当初指揮者不在の自主練習の予定だったが、甲和さんが大阪出張のぎりぎり直前まで時間を割いて下さり、通常の練習となった。
- 2、「マザー・グースのうた」 「ソロモン・グランディ」の Coro と Quartetto との初めての総合練習、何度か繰り返すうちに徐々にリズムに乗って唄えるようになったが、未だ中間「D」部分に若干不安要素が残る。初めて全曲通しての練習となった。

次回練習

7月14日(日) 13:00~17:00 於文京シビックホール B1 練習室1

全ステージの総ざらいの練習となる。

特記事項 なし

以上 報告者 木戸

日時：2013.6.30 (日) 13:00~16:55

場所：新宿村 S館 24号室

参加者(敬称略)

指揮：萩原

TI：上田 高木 松本 丸谷 村田

TII：江守 北村 富田 本間

BI：池田 宇野 藤山 渕山 甲和

BII：大城 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

萩原先生による「光る刻」及びアンコール曲「ひばり」の駄目だし&仕上げ

1、「ひばり」

- 1) 原則1小節を1つ振りとする。旨くりズムに乗ること (rit.やテヌートのあと a tempo になるところ 指揮をよく見て合わせる)
- 2) 言葉を大切に、クリアーに (キーワードになる語頭の子音を立てて、早めに口の形を作って準備する。)
- 3) 低音部はテナー系に近い発声で音色合わせる。女声二部合唱のイメージ。

2、「光る刻」 ご指導内容が長くなりますので、別資料に纏めました。添付資料参照願います。(小生の勘違いや誤解があるかもしれませんが、その際にご容赦下さい)

3、練習後 萩原先生を囲んで懇親会を開催しました。

次回練習

1. 7月6日(土) 9:30~12:00 於文京シビックホール B1 練習室1
2. 自主練習としていましたが、甲和さんが大阪出張の出発直前まで指揮していただく事になりました。
3. 練習曲 「マザーグースの唄」中心ですが、その他の曲も準備を願います。
4. 練習後 有志による昼食会を予定しています。

特記事項 特になし

以上

報告者

木戸

日時：6月23日(日) 13:30~17:20

場所：新宿村スタジオ WEST-304

参加者(敬称略) ()内特別参加

指揮：本城

T1：上田 大野 丸谷 松本 村田 (檜木) (花田) (守屋)

T2：江守 北村 富田 本間 (岡部)

B1：池田 藤山 湊山 (奥村幸) (奥村秀) (小田) (福井)

B2：奥戸 木戸 甲和 待山 山邊 (大江) (太田) (小川) (小早川) (高島) (渡邊)

ピアノ：坂田

練習内容

本城指揮者を迎えての練習。全体事項として以下の注意が有った。

- 全体の音色を合わせることが大切
- 耳で歌うこと (他のパートの音を聞き、和音を意識する)
- 音が山型に上がって降りる所はしっかり上がり、下がるときは落ちすぎないように

1、「富士山」

(I番)

1) p4 1段目 B1,B2は明るめにして音程が下がらないように。レガートで。

T1,T2は上でたなびく感じで。「ふもとは」の「は」、「さくらや」の「や」は

重くしないで軽くぬく感じで

- 2) p4 4段目 「なないろの」の下降音を大切に「たなびく」の「びく」の所で一つになることを意識する
- 3) p6 2段目～4段目フォルテとメゾピアノの差を表現する
- 4) p7 4, 5段目 B2は4小節を1フレーズの気持ちで歌う
- 5) p8 5段目 T1、B2の「あー」は、軟らかく入り、まどろむ感じで
- 6) p9 2段目 **Tempo primo** からのテンポをしっかりと合わせる
- 7) p9 4, 5段目 「わたってくる」の「る」は、一つの音に収束する気持ちで

(Ⅱ番)

- 1) p10 2段目 T2の「あふれ」の「れ」は高めを意識して
- 2) p10 3段目 「あしのはのささやき」は、のびやかな喜びのあるフォルテで
- 3) p11 5段目 最後の小節からのフォルテは頑張りすぎず秤う・
- 4) p12 1段目 「かえって」の「て」はフライングしないこと
- 5) p12 4段目 「それをなわにして・・・」は揺れのあるアクセントで
- 6) p12 5段目 2小節目からのmpは、mpマイナス くらいの音量で

(Ⅲ番)

- 1) p13 1段目 「うしくの」は緊張感のあるピアノで入る
- 2) p14 2段目 「ふじー」の「ふ」は溜めて入る
- 3) p14 5段目 「さくらんぼいろは」は「だんだんしずみ」に向かう意識を持って
- 4) p15 2, 3段目 「じょうてんに」とB2が歌う所は、上3声はおさえて
- 5) p16 1～4段目 「そんざいをこえた・・・」は大切な言葉。おごそかに
- 6) p16 5段目 **Tempo I** は、一旦切ってから入る
- 7) この曲は危険な箇所が2か所あるので、そこに入る前からずれないように

(Ⅳ番)

- 1) p18 1段目 「あー」はsfzで入る

(Ⅴ番)

- 1) p21 「ゆうばえの・・・」以降は、とにかくハモる。耳で歌うこと
 - 2) p21 4, 5段目 4小節が1フレーズになるように。ブレスで切れないように
 - 3) p22 3段目 「すれすれ」の山型の変化で音程が落ちないように
 - 4) p23 5段目 最後の小節の「う」の前でブレスしないこと
2. 秋のピエロ
通しで歌った。宴会で歌う時の癖を忘れること
 3. ムシデン
通しで歌った。ドイツ語の発音に注意すること
 4. 練習後、本城指揮者、特別参加のOBと共に懇親会を開催した。

次回練習予定

1. 日時・場所：6月29日(土) 14:00～17:00 文京シビックホールB1・練習室1
2. 練習曲：「光る刻」「マザーグースの歌」

次々回練習予定

1. 日時・場所：6月30日(日) 13:00～17:00 新宿村 S-24

2. 練習曲：「光る刻」

3. 練習後に萩原指揮者を囲み、懇親会が予定されている

以上

報告者

江守

日時：6月22日(土) 14:00～16:50

場所：文京シビックホール B1 練習室1

参加者(敬称略) ()内特別参加

指揮：甲和

T1：上田 高木 丸谷 村田 (花田)(守屋)

T2：江守 北村 富田 本間 (岡部)

B1：池田 宇野 藤山 渕山 (奥村幸)(奥村秀)(小田)(福井)

B2：大城 奥戸 木戸 待山 山邊 (大江)(太田)(小川)(小早川)(高島)(渡邊)

ピアニスト：坂田

練習内容

1、「富士山」

(Ⅱ番)

- 1) p10 3段目「おにごっこー」の所は頑張り過ぎず和音を大切に
- 2) p12 1段目「かえって」の「え」をしっかりとのぼす
- 3) p12 4段目「それをなわにして」の所から、縄跳びの感じをしっかりと出す
- 4) p13 2段目伯・°の和音に向かっていく狼=という意識をもつ

(Ⅰ番)

- 1) p4 「おくまんまんの」の「ん」はmで歌うこと
- 2) p5 1段目「さいてーん」の和音を大切に
- 3) p5 4段目「ちょうはまい」の「ま」は出るタイミングが遅れないように (B1,B2)
- 4) p6 2段目「とりはあつまり」の「は」が強すぎる。「と」と「ま」をしっかりと歌う
- 5) p6 2段目「たねまきのように」の「た」の入りが遅れないように (B1)
- 6) p7 3段目「ふじの」の「ふ」の入りをしっかりと合わせる
- 7) p8 1段目「しかや」などの「や」は強すぎないように

(Ⅲ番)

- 1) p16 5段目「うしくの」の入りは注意が必要。ここに入る前から合わせる意識で

(Ⅳ番)

- 1) p19 5段目「がくおん」の最後にnを入れる

(Ⅴ番)

- 1) p21 1段目「ふじ」のfをはっきり発音する
- 2) p22 3段目「へいやすれすれ」の箇所は音が上がる所の音程をしっかりとること

2、秋のピエロ

通しで歌い、流れの確認をした。

次回練習予定

1、日時・場所：6月23日(日) 13:30～17:30 新宿村スタジオ WEST304

2、練習曲「富士山」 本城指揮者を迎え、特別参加のOBも加わった
総合練習となる。(特別参加のOBも出席願います)

3、練習後 本城指揮者を囲み、懇親会が予定されている。

以上 報告 江守(富士山の合同練習に関し、代理報告)

日時：6月16日(日) 13:00～16:45

場所：新宿文化センター 4F 第2会議室

参加者(敬称略) ()内特別参加 *ピンチヒッター

指揮：坂田(大阪本部)

TI：上田 丸谷 村田 (内田)

TII：江守 北村 本間

BI：宇野 藤山 湊山 大野*

BII：大城 木戸 甲和 山邊

ピアニスト：なし

練習内容

1、「三声のミサ」の坂田指揮者による総合練習

細部の色々な指摘・留意事項は割愛するも、何度も強調されたは下記の通り(あまり旨く整理されていないかな?)

- 1) 各曲の全体ストーリー、途中で転換される場面、繰り返されるフレーズ(メッセージ)の理解。(唄う側の心情がそのまま客席に伝わる)
- 2) 各フレーズを唄いだす前に、そのフレーズの長さを予めイメージして呼吸量をコントロールする。(息を保つ) 個々の音を追っかけるのではなく、フレーズを一つの流れとして捉えること。
- 3) 繰り返される言葉(メッセージ)は2度目、3度目と気持ちを強め高揚させてゆく
- 4) 各パート間で絡み合う部分は、先行するパート(主役)を立て、後を追うパートは脇役と心得ること。(特に二つのパート間の絡み合い部分はよく目立つので、要注意)
- 5) アクセントの付く音節と軽く抜いて唄う音節との唄い分け
- 6) 各曲の区切り、納めとなる部分は必ずテンポを弛めるので、よく指揮を見てきっちり合わせる事
- 7) ピッチが下がっても、曲を唄い終わった後は忘れてしまうこと。改めて音取りをするので、新たな気持ちで次の曲に入る事。

2、試みにパートの席順の壁を除いて、混在状態で唄ってみるとやはり比較的旨くアンサンブルが纏まった。この方法を本番で採用は出来ないが、他のパートを良く聴きながら、合わせる事が大切なことが改めて分かった。

3、練習後 坂田指揮者を囲み有志による懇親会を開催した。

次回練習予定

1、日時・場所：6月22日(土) 14:00～17:00 文京シビックホール B1 練習室1

- 2、練習曲「富士山」 翌日の本城指揮者による特別練習に備え、全曲のおさらいをする。(特別参加のOBも出席願います)

次々回練習予定

- 1、日時・場所：6月23日(日) 13:30~17:30 於新宿村 WEST 304号室
- 2、練習曲「富士山」 本部より本城指揮者を迎え、特別参加のOBも加わった総合練習となる。
- 3、練習後 本城指揮者を囲み、懇親会が予定されている。

特記事項

アンコール曲「ひばり」の楽譜が配布された。

以上 報告者 木戸

日時：6月15日(土) 18:00~20:50

場所：文京シビックホール B1 練習室2

参加者(敬称略) () 内特別参加 *ピンチヒッター

指揮：甲和

TI：上田 高木 松本 丸谷 村田 (内田)

TII：江守 北村 本間

BI：宇野 淵山 大野*

BII：大城 木戸 待山 山邊

練習内容

- 1、翌日の坂田指揮者による特別練習を控え、「三声のミサ」全曲のおさらいに終始した。

次回練習予定

- 1、日時・場所：6月16日(日)13:00~17:00 於新宿文化センター4F 第2会議室
- 2、大阪本部より坂田指揮者を迎え、「三声のミサ」の特別総合練習

特記事項

- 1、アンコール曲決定

萩原先生：「ひばり」(やなせたかし作詞 木下牧子作曲・二部合唱)

本城指揮者：「秋のピエロ」 甲和指揮者：「Muss i denn」

以上 報告者 木戸

日時：2013・6・8(土) 18:00~20:50

場所：文京シビックホール B1 練習室2

参加者(敬称略) *ピンチヒッター

指揮：甲和

TI：上田 高木 松本 村田

TII：江守 北村 富田 本間

BI：藤山 淵山 大野*

BII : 大城 木戸 待山 山邊

ピアノ : 坂田

練習内容

- 1、「光る刻」より「鹿」と「老いたきつね」 本部の練習報告にある指揮者の指摘事項を受けて部分練習を繰り返し、全体を通した。
- 2、「マザーグースのうた」より「ソロモン・グランディ」の **Quartteto** 部分を集中練習した後、8人のメンバーが決定。Coro 部分も加えたコラボ?の総合練習に初めて取り組んだが、全体の円滑な流れには未だし。
「ほねとかわのおんな」と「ミルクよバターに」の部分練習とおさらい。

次回練習

- 1、日時・場所 : 6・15 (土) 18:00~ 於文京シビックホール B1 練習室2
- 2、練習曲 : 「三声のミサ」を重点に一部「マザーグースのうた」も。

次々回練習

- 1、日時・場所 : 6・16(日) 13:00~17:00 於新宿文化センター4F 第2会議室
- 2、「三声のミサ」(坂田指揮者を迎えての特別練習)

特記事項 なし

以上 報告者 木戸

日時 : 2013・6・1(土) 9:30~11:50

場所 : 新宿文化センター 4F 第1会議室

参加者(敬称略)

指揮 : 坂田ピアニスト

TI : 上田 高木 丸谷 村田

TII : 江守 北村 富田 本間

BI : 池田 宇野 藤山 淵山

BII : 木戸 待山 山邊

ピアノ : 坂田

練習内容

- 1、指揮者の甲和さんが大阪本部への出張練習で不在のため、ピアニストの坂田さんから熱心な指導を受けた。(休憩なし)
- 2、練習曲 「三声のミサ」 全曲 「Kyrie」から順次「Agnus Dei」まで各パート別に部分練習をしたあとアンサンブルで確認と言う形で、練習が進められた。繰り返し注意されたのは
 - 1) フレーズの唄い出し、呼吸、姿勢準備不足で音をずり上げて唄いだす事
 - 2) 一つのフレーズを、上昇部分は盛り上げ下降部分は収めるようにレガートで、滑らかに唄い繋いでゆくこと
 - 3) フレーズの唄い収めの最後の和音が決まらない。(気が緩むのか、音程が下がってしまう)
 - 4) 最後に各パートの席を入れ替え、混在状態で立って全曲通して唄った。

(やはりこの方が他パートの声がよく聴こえて唄いやすく感じた)

5) ピアノの手助けがないとまだまだ覚束ない状態 各人徹底的な自主練習が必要。(ピアノに頼らず、人に頼らず 一人で唄えるレベルまで)

3、「マザーグースのうた」は時間不足で 手が付かずに終わった。

次回練習

- 1、時間：6月8日(土) 18:00～21:00 (時間に注意！)
- 2、場所：文京シビックホール B1 練習室2
- 3、練習曲：「マザーグースのうた」及び「光る刻」

特記事項

- 1、しばらく休団しておられた宇野さんが久々練習に来られた。

以上 報告者 木戸

日時：2013.5.25(土) 14:00～16:45

場所：新宿文化センター4F 第2会議室

参加者(敬称略)

指揮：甲和

T I：上田 大野 高木 松本 丸谷 村田

T II：江守 富田

B I：池田 藤山

B II：大城 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

1. 「三声のミサ」より

- 1) 「Credo」をパート毎の部分練習を繰り返しながら、最後まで唄い切ったピアノの助けがないと未だ覚束ない部分がある。特に新しいフレーズの始まり部分を唄い出すパートはしっかり意識して唄うこと。
- 2) 「Sanctus」「Agnus Dei」各パートの境をなくし、混在状態で唄ったが他パートを聴きながら唄う効果があって比較的縦の線が合うようになって来た。

2. 「マザーグースのうた」より

- 1) 「ほねとかわの・・・」特にテンポの変化の激しい49pのDから最後まで部分を何度か繰り返し練習した。よく指揮を見ることが不可欠である。
- 2) 「くぎがふそくで」 1番 Marcato で元気よく軍歌調で 2番やや押さえて Legato で唄い分けをすること
- 3) 「ソロモン・グランディ」 前奏部からの合唱への入りが未だ覚束ない。Coro部分のみの練習に終始した。「金曜に危篤・・・」部分のpからfへの盛り上げよく意識する。東京支部担当のQuartetto部分は手付かず。次回練習以降の課題として残った。

次回練習

1. 日時・場所：6月1日(土)9:30～12:00 於新宿文化センター4F 第1会議室

2. 練習曲：主に「三声のミサ」及び適宜「マザーグースのうた」も。

甲和さんが大阪本部練習のため不在、ピアニストの坂田さんの指導を

受ける予定。(昨日の練習後懇親会の席で開始時間が30分早まりました)

特記事項 なし

以上 報告者 木戸

日時：2013・5・18(土) 14:00～17:00

場所：東京文化会館地下リハーサル室A

参加者(敬称略) ()内は特別参加のOB諸氏

指揮：甲和

TI：上田 大野 高木 丸谷 村田 (檜木) (花田)

TII：江守 北村 富田 本間 (福井隆) (岡部) (佐山)

BI：藤山 (奥村幸) (奥村秀) (小田) (福井朗)

BII：奥戸 木戸 待山 (小早川) (太田) (高島) (小川)

ピアノ：坂田

練習内容

1、「富士山」全5曲 2曲目から入り1, 3, 4, 5曲目の順序で取り組んだ。

正指揮者のテンポ指示やコメントを織り交ぜて、部分練習を繰り返しながらおさらい。最後に全5曲を立ったまま通したが、かなりのスタミナを要求される大曲だと改めて痛感した。

特記事項

1、練習後 特別参加のOB諸氏を交えて懇親会開催

次回練習

1、日時・場所：5月25日(土) 14:00～17:00 於新宿文化センター4F 第2会議室

2、練習曲：「マザーグースの唄」「三声のミサ」

以上 報告者 木戸

日時：2013・5・11(土) 14:00～16:50

場所：新宿村スタジオ S-24

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：上田 大野 高木 松本 丸谷 村田

TII：江守 北村 富田 本間

BI：藤山 淵山

BII：木戸 待山 山邊 大城

ピアノ：坂田

練習内容

- 1、「光る刻」から「もぐら」「老いたきつね」「鹿」の順で部分練習を繰り返しながらおさらい。さらに「象」に挑戦。まだまだ音程を探りながらの覚束ない状況。
- 2、「マザーグースのうた」の「ミルクよバターに」Endingを新たに追加し全体繰り返し練習。「ソロモン・グランディ」は「Coro」部分を集中練習「くぎがふそくで」の間奏部分のセリフは大阪本部で担当。

次回練習

- 1、日時・場所：5月18日（土）14:00～17:00 東京文化会館地下リハーサル室A
- 2、練習曲：「富士山」全曲 OBと共に合同練習

特記事項 特になし

以上 報告者 木戸

日時：2013・4・27（土） 14:00～16:50

場所：文京シビックホール B1 練習室1

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：上田 大野 高木 村田

TII：江守 富田

BI：藤山 淵山

BII：木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

1. 「マザーグースのうた」全曲に取り組んだ。先ず「ばらはあかい」のおさらいから始まり、以下「ゆくゆくあるいて」から最終曲「ゴータムむらの」まで、順次唄った。
2. 本日最も時間を掛けたのは「ソロモン・グランディ」の **Quartetto** 部分。これを東京メンバーだけのダブルカルテットで唄う事になったとのこと。本日は取りあえず全員で音取りを始めた。全体にリズム感覚を身に付けるのが難しい。特にD部分から最後まではかなり手こずりそう。練習用CDで何度も繰り返し自主練習をして、慣れるより他に妙手はなさそう。
3. 「マザーグースのうた」の全体構成として「ゆくゆくあるいて」の前にピアノ演奏による序曲が入る。また「ソロモン・グランディ」に同じくピアノによる前奏が入る事が決まった。

次回練習

1. 日時・場所：5月11日（土）14:00～17:00 於新宿村スタジオ S-24
2. 練習曲：「マザーグースのうた」及び「光る刻」

特記事項

1. 演奏会のチケット・チラシが到着し団員への配布が始まった。

日時：2013・4・13（土） 14:00～17:00

場所：アカデミー音羽 多目的ホール

参加者(敬称略)

指揮：甲和

Top：上田 高木 松本 丸谷 村田

Sec：江守 北村 富田

Bari：藤山 淵山

Bas：大城 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

1. 「三声ミサ」から、「Kirie」「Agnus Dei」「Sanctus」「Gloria」の順で練習。

昨年のステージで一度経験しているとは言え（初めての団員も数名いるが）

練習が少ない所為かまだ音程の不安定な箇所があり、パート別に確認しながら練習した。

声出し部分（特に曲の最初の部分）で、しゃくり上げる傾向がみられ、

常に高めから入る事を意識してピタリその音を出すよう注意を受けた。

全体的に、まだ音符を追うことから抜け出していない。早く他のパートを聞いて歌えるようになりたいもの。

一番の難曲「Credo」は次回に持ち越し。

次回練習

1. 日時・場所：4月27日（土）14:00～ 於文京シビックホール B1 練習室1

2. 練習曲：「マザーグース」

以上 報告者 山邊代

日時：2013・4・6（土） 14:00～17:00

場所：文京シビックホール B1 練習室2

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：高木 丸谷 松本

TII：江守 北村 富田 本間

BI：池田 藤山 淵山

BII：大城 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

1. 「光る刻」から「もぐら」及び「老いた狐」の復習から入った。「もぐ

ら」テンポやや遅めであるが、ピアノ伴奏に乗って最後まで通せるようになった。「老いた狐」はところどころパートメロディのピアノの手助けを得ながらも通せるようになった。

2. 「象」前回 46 小節まで音取りしたが、本日は残り部分を最後までと「鹿」全部の音取りを完了した。これで全 4 曲の音取りを一応完了した。結局 4 曲とも全てピアノに助けられながらも、いきなり歌詞読みで音取りをしたことになる。予想外に効率的な練習が出来たように感じた。

次回練習

1. 日時・場所：4月13日（土）14:00～ 於アカデミー音羽 1F 多目的ホール
(初めての場所なのでご注意ください)
2. 練習曲：「三声のミサ」を主とするも、「光る刻」のおさらいもする。

特記事項

以上 報告者 木戸

日時：2013・3・23（土）14:00～16:45

場所：於文京シビックホール B1 練習室 1

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：上田 大野 高木 丸谷

TII：江守 北村 富田

BI：池田 藤山 淵山

BII：大城 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

1. 「三声のミサ」より前回残った「Credo」の 105～166 小節の譜読みを部分練習を繰り返しながら行った。
2. 「光る刻」より「老いた狐」いきなり歌詞読みで 76 小節まで、音取りをしたが、最初からおさらいの格好で部分練習を繰り返した。ピアノに助けられ、音程と和音を探りながらではあったが、最後まで、通せるようになった。
3. 「象」に初めて取り組んだ。この曲も階名読みを跳ばしてスローテンポながら、いきなり歌詞で音取りを始めた。1～46 小節まで辿りついたがなかなかの難曲だと実感した。

次回練習

1. 時間・場所：4月6日（土）14:00～ 於文京シビックホール B1 階
練習室 2
2. 練習曲：「光る刻」全曲

特記事項： 特になし

以上 報告者 木戸

日時：2013・3・9（土）14:00～17:00

場所：アカデミー向丘4F 学習室

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：上田 大野 高木 丸谷 村田

TII：江守 北村 富田 本間

BI：藤山

BII：大城 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

1. 「三声のミサ」から「Agnus Dei」のおさらい（母音と歌詞で唄った）
「Credo」昨夏以来初めての取り組みで、基本に立ち返えり1s～104sまでを階名で音取り確認。（105s以降は次回に残った）
2. 「光る刻」の「もぐら」のおさらい。ややテンポを遅めにし、流れに乗って何とか唄えるようになった。
「老いた狐」初めての取り組みだが、頻発する転調に、階名で唄うのが面倒とばかりにいきなり歌詞で唄い始めた。（ピアノに助けられ予想以上に効率が上がり、1s～76sまで音取りが捗った。77s以降は残念ながら次回に残った）

次回練習

1. 日時・場所：3月23日（土）14:00～ 於文京シビックホールB1練習室1
（初めての場所なので、配付済みの案内図などで確認方）
2. 練習曲：「三声のミサ」及び「光る刻」

以上 報告者 木戸

日時：2013・2・23（土）14:00～17:00

場所：新宿村スタジオ S-19号室

参加者(敬称略) { } は新入団 () は特別参加

指揮：甲和

TI：上田 高木 村田 {松本} (内田)

TII：北村 富田 本間

BI：藤山 湊山

BII：木戸 待山 山邊 {大城}

ピアノ：坂田

練習内容

1. 「三声のミサ」より発声練習を兼ね「Kyrie」を母音と歌詞でおさらい
「Gloria」をパートごとに階名や母音で確認後歌詞をつけ唄った。
2. 「光る刻」に初めて取り組んだ。予想が外れて(?)2曲目「もぐら」から挑戦。曲の途中で繰り返し展開される転調に階名読みが追いつかず苦戦続き。ピアノ伴奏に助けられ、何とか最後は歌詞付けまで出来た。意外に歌詞で唄った方が音程が取りやすく感じた。

次回練習

1. 日時・場所 3月9日(土) 14:00~ 於アカデミー向丘 4階学習室
(初めての場所 間違い無きよう別途配付された地図を参照・確認方)
2. 練習曲:「三声のミサ」の「Credo」及び「光る刻」の「老いた狐」

特記事項

1. 「マザーグースの唄」の本番ピアニスト 坂田百合子さんに決定した由
富田支部長より報告あり、大きな拍手と歓声で賛意と祝意を表した。
2. 新入団員のご紹介 T I : 松本浩昭さん (79年入団)
B II : 大城直樹さん (71年入団)

以上 報告者 木戸

日時: 2013・2・23 (土) 14:00~17:00

場所: 新宿村スタジオ S-19号室

参加者(敬称略) { } は新入団 () は特別参加

指揮: 甲和

T I : 上田 高木 村田 {松本} (内田)

T II : 北村 富田 本間

B I : 藤山 淵山

B II : 木戸 待山 山邊 {大城}

ピアノ: 坂田

練習内容

1. 「三声のミサ」より発声練習を兼ね「Kyrie」を母音と歌詞でおさらい
「Gloria」をパートごとに階名や母音で確認後歌詞をつけ唄った。
2. 「光る刻」に初めて取り組んだ。予想が外れて(?) 2曲目「もぐら」
から挑戦。曲の途中で繰り返し展開される転調に階名読みが追いつ
かず苦戦続き。ピアノ伴奏に助けられ、何とか最後は歌詞付けまで出来
た。意外に歌詞で唄った方が音程が取りやすく感じた。

次回練習

1. 日時・場所 3月9日(土) 14:00~ 於アカデミー向丘 4階学習室
(初めての場所 間違い無きよう別途配付された地図を参照・確認方)
2. 練習曲:「三声のミサ」の「Credo」及び「光る刻」の「老いた狐」

特記事項

1. 「マザーグースの唄」の本番ピアニスト 坂田百合子さんに決定した由
富田支部長より報告あり、大きな拍手と歓声で賛意と祝意を表した。
2. 新入団員のご紹介 T I : 松本浩昭さん (79年入団)
B II : 大城直樹さん (71年入団)

以上 報告者 木戸

日時: 2013・2・9 (土) 14:00~17:00

場所: 新宿文化センター4F 第2会議室

参加者(敬称略) () 特別参加者

指揮：甲和

TI：上田 大野 高木 丸谷 村田 (松本)

TII：江守 北村 富田 本間

BI：池田 宇野

BII：木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

1. 「マザーグースの唄」より「ソロモン・グランディ」に初めて取り組んだ。部分的に譜読みと歌詞付けを繰り返し、一応最後までたどり着いた。ジャズ独特の慣れないリズム・メロディ・転調で苦戦したが、ピアノ伴奏のおかげで、何とかなるかなと言う感触を得たのが収穫。これで全曲の譜読みが完了した。
2. 7ヶ月振りに「三声のミサ」より「Kyrie」「Sanctus」「Agnus Dei」の取り組み。TIに3人の新入団員もあり、譜読み・母音・歌詞と基礎からのおさらい。これはこれで正確な音程と和音の確認と言う意味で効果があったように思う。

次回練習

1. 日時・場所：2月23日(土) 14:00～ 於新宿村 S館-19号室
2. 練習曲：「三声のミサ」 「光る刻」(初めての取り組みとなる)

特記事項

これから練習会場が色々変わるため、お間違いの無きようご留意下さい。

以上 報告者 木戸

日時：2013・1・19(土) 14:00～17:00

場所：東京文化会館地下 リハーサル室 B

参加者(敬称略) () 内は特別参加

指揮：甲和

TI：上田 大野 高木 丸谷 村田 (松本) (内田) (久保)

TII：江守 北村 富田 本間 (岡部) (福井)

BI：池田 宇野 藤山 淵山 (近藤) (藤原)

BII：奥戸 木戸 待山 山邊 (服部) (大城) (渡辺) (高島)

ピアノ：坂田

練習内容

1. 14:00～16:00 通常練習 「マザーグースの唄」より始めての取り組みとして、「くぎがふそくで」及び「ミルクよバターに」譜読みと歌詞付けその後「ゆくゆくあるいて」「ばらはあかい」「ほねとかわの・・・」「ゴータムむらの」をさらった。あと1曲「ソロモン・グランディ」が

残ったことになる。

2. 16:00～17:00 「富士山」の特別練習 全5曲を部分練習を繰り返しながらさらった。

特記事項

1. 上記練習終了後 本部の近藤会長にもおいで頂き、18:00 から三田「駒八別館」で、新年会を兼ねた懇親会を開催した。
2. 1月20日(日)の本城指揮者を迎えての特別練習は、別途甲和氏から報告ある予定。

次回練習

1. 2月9日(土) 14:00～ 於新宿文化センター4F・第二会議室
(初めての場所です。配付された地図を参照してください)

以上 報告者 木戸

日時：2013・1・12(土) 14:00～17:00

場所：西新宿カルチャープラザ D室

参加者(敬称略) ()内は特別参加者

指揮：甲和

TI：上田 高木 丸谷 村田 (檜木) (松本)

TII：江守 北村 富田 本間 (佐山)

BI：宇野 藤山 淵山 (奥村) (藤原)

BII：木戸 待山 山邊 (傘谷) (高島)

ピアノ：坂田

練習内容

1. 第60回阪大男声定演合同演奏のため特別練習 「富士山」全5曲を部分練習を繰り返しながらさらった。最後にアンコール用曲の「秋のピエロ」「斎太郎節」「いざ起て戦人よ」「Muss i denn」を一通り唄った。

次回練習

1. 日時：1月19日(土) 14:00～16:00 通常練習「マザーグースの唄」
16:00～17:00 特別練習「富士山」及びアンコール曲
2. 場所：上野駅近くの東京文化会館地下 リハーサル室B
3. なお 翌日1月20日(日) 14:00～17:00 上記と同じ場所で大阪本部から本城指揮者を迎えて「富士山」の特別練習の予定。

特記事項

1. 上記1月19日(土)の練習後 三田「駒八別館」で新年懇親会を予定

以上 報告者 木戸

2012年(降順)

日時：2012・12・22(土) 14:00～16:50

場所：西新宿カルチャープラザ D室

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：上田 大野 高木 丸谷 村田

TII：江守 北村 富田 本間

BI：藤山

BII：木戸 待山

ピアノ：坂田

練習内容

1. 富士山の4曲目と5曲目のおさらい
2. マザーグースのうたの「ゆくゆくあるいて」「ぼらはあかい」「ほねとかわのおんながいた」のおさらい。「ほねと・・・」は2度目の取り組み、少々手こずったが最後まで通せるようになった。

次回練習

1. 日時：2013・1・12(土) 14:00～17:00
2. 場所：西新宿カルチャープラザ D室
3. 練習曲「富士山」60回定演用 特別練習

特記事項 とくになし

以上 報告者 木戸

日時：2012・12・8(土) 14:00～17:00

場所：西新宿カルチャープラザ D室

参加者(敬称略) ()内は特別参加

指揮：甲和

TI：上田 大野 高木 丸谷 村田 (檜木) (松本)

TII：江守 北村 富田 本間 (岡部) (佐山)

BI：池田 宇野 藤山 (野中) (藤原)

BII：木戸 (傘谷)

ピアノ：坂田

練習内容

1. 7名の特別参加者を加えて「富士山」全曲に取り組んだ。本部の本城氏から指摘されている事項を参考に部分練習を重ねながらさらった。
(詳細は省略)

次回練習

1. 12月22日(土) 14:00～17:00 於西新宿カルチャープラザ D室
2. 通常練習 主に「マザーグースの歌」及び一部「富士山」も練習

特記事項 特になし

以上 報告者 木戸

日時：2012・11・24(土) 14:30～17:00

場所：西新宿カルチャープラザ D室

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：上田 高木 丸谷 村田

TII：江守 富田 本間

BI：宇野 藤山 （奥村氏は退団の挨拶後退席）

BII：木戸 待山 山邊

ピアノ：甲和（坂田さん欠席のため）

練習内容

「マザーグースのうた」より「ばらはあかい」「ゆくゆくあるいて」「ほねとかわの・・・」の順で3曲に取り組んだ。1, 2曲目は比較的易しい曲で、階名母音、歌詞付けまで順調に進んだ。3曲目はリズム、音程、テンポの変化などかなりの難曲。特にD部分の音程を確実に把握することが難しく、今後も手こずりそう。階名読みで何とか最後までたどり着いたと言う感じ。

次回練習

1、日時：12月8日(土) 14:00~17:00

2、場所：西新宿カルチャープラザ D室

3、練習曲：「富士山」 主にIII、IV、V曲目を中心に組み
（阪大男声第60回定期演奏会のための特別練習となる）

特記事項

1、大阪男声東京支部創立以来のメンバーである奥村さんが本日の練習をもって残念ながら退団されることになった。

以上 報告者 木戸

日時：2012・11・10(土) 14:30~16:00

場所：西新宿カルチャープラザ D室

参加者(敬称略) ()内は特別参加

指揮：甲和

TI：上田 大野 高木 丸谷 村田 (内田) (松本)

TII：江守 北村 富田 本間 (岡部)

BI：宇野 奥村 藤山 淵山 (藤原) (堀)

BII：奥戸 木戸 待山 山邊 (大江) (佐々木)

ピアノ：坂田

練習内容

東京男声合唱フェスティバル出演前の特別練習 練習曲「富士山 第壱」及び「ゴータムむらの」 終了後フェスティバル会場の浜離宮朝日ホールに出発（演奏結果については、指揮者の甲和さんから別途報告があるかと思えます。）

次回練習

日時・場所：11月24日(土) 14:30~ 於西新宿カルチャープラザ D室

練習曲：「マザーグースのうた」

以上 報告者 木戸

日時：2012・11・3(土) 14：00～17：00

場所：於新宿村スタジオ S-21 号室

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：上田 大野 高木 丸谷 村田 (松本)

TII：江守 北村 富田 本間 (岡部)

BI：宇野 奥村 藤山 淵山 (藤原)(堀)

BII：奥戸 木戸 待山 (大江)(佐々木)

ピアノ：坂田

練習内容

1、11月10日(土)演奏予定の「富士山 第壱」及び「ゴータムむらの」
次回練習

1、11月10日日本番前 14：30～16：00 於西新宿カルチャープラザ D室
練習後 浜離宮朝日ホールに移動 演奏終了後 近くで打ち上げ

特記事項

1、本番服装 黒式服 白ワイシャツ 黒蝶ネクタイ 黒靴 黒ファイル
(ステージでの楽譜はコピーも可 但し正規楽譜を持参すること)

以上 報告者 木戸

日時：2012・10・27(土) 14：30～17：00

場所：西新宿カルチャープラザ D室

参加者(敬称略) ()内は特別参加者

指揮：甲和

TI：大野 高木 丸谷 村田 (松本)

TII：江守 北村 富田 本間 (岡部)

BI：宇野 奥村 藤山 淵山 (藤原)(堀)

BII：奥戸 木戸 山邊 (大江)(佐々木)

ピアノ：坂田

練習内容

- 1 発声練習を兼ねて「富士山 第肆」の20小節までを母音と歌詞で唄った。
- 2 11月10日(土)演奏予定の「富士山 第壱」及び「マザーグースのうた」の「ゴータムむらの」の2曲を集中的に練習した。

次回練習

- 1 日時・場所：11月3日(土) 14：00～ 於新宿村スタジオ S-21 号室

特記事項

- 1 11月10日(土)本番前の練習時間を30分早めて、14:30~16:00とする。
(場所は西新宿カルチャープラザ D室)
- 2 当日の服装:黒礼服 白ワイシャツ 黒蝶ネクタイ 黒靴 とする
- 3 楽譜コピー不可 正規の楽譜持参のこと。

以上 報告者 木戸

日時:2012・10・13(土) 14:30~17:30

場所:西新宿カルチャープラザ D室

参加者(敬称略) ()内は特別参加者

指揮:甲和

TI:上田 大野 高木 丸谷 村田 (松本)

TII:江守 北村 富田 本間

BI:宇野 奥村 藤山 淵山 (堀)(藤原)

BII:奥戸 木戸 待山 山邊 (大江)(佐々木)

ピアノ:坂田

練習内容

1. 発声練習を兼ねて「富士山 第肆」の20小節までを最初は母音で、その後歌詞で唄った。出だしの8小節くらいまで低音部は透明感のある頭声で唄い音程正確に和音を決めること。
2. 「富士山 第壹」 出だしのBI、II 8分音符のビートを感じてテンポやリズムを決める。TI、II BIの「億萬萬」の「まんまん」の発音ぶつ切れにならぬよう注意。節の最後に何度か出てくるH-durの和音を決めることBIの「たねまき・・・」「にはほんの・・・」の語頭にその直前の他の3パートの「とりは・・・」の語尾がかぶらないよう注意 また同節のfとmpの唄い分け「なないろ・・・」以下BII、TIのパートメロディ部分、他の3パートのオブリガードは音量抑える。meno mosso以下のBIIの「あー」「とーおく」の唄い出し頭声で音程正確に
3. 「マザーグースのうた」の「ゴータムむらの」
出だしのピアノイントロ8拍(2小節)とする。(A)の直前少し間を置く。
(A)のメロディ部分は「Hum」でなく「Woo」でレガートに(はねない)。
(B)のBIIのpp箇所 2小節目音量抑える。(D)以降の音量、テンポ、リズムの変化に対応し切れていない。明らかに唄いこみの不足。

次回練習

- 1、日時・場所 10月27日(土) 14:30~ 西新宿カルチャープラザ D室
- 2、練習曲:「富士山」「マザーグースのうた」

特記事項

- 1、TII:4名だとパート間のバランスに問題?

日時：2012・9・22（土）14：00～16：30

場所：経沢氏宅

参加者(敬称略) () 内は特別参加

指揮：甲和

TI：上田 高木 丸谷 村田 (松本)

TII：江守 北村 富田 本間 (岡部)

BI：宇野 奥村 藤山 淵山 (藤原)

BII：奥戸 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

1. 発声練習を兼ねて「富士山」2曲目の1～20小節までを、母音と歌詞で唄った。唄い慣れた曲だが、音程・和音の正確さが必要である。
2. 「富士山」1曲目 BI・BIIの出だし子音を早めに立て積極的な前向きのリズムで。対照的にTI・TIIはレガートで唄いだすこと。中間部に何度か出てくるフレーズの最後のH-durの和音をきちんと決めること。
8ページ1・2段目 TII・BI・BIIのスタッカート部分 語尾はやや押さえて柔らかく。
3. 「マザーグースのうた」7曲目 前回の音取りに終わったが、今日は歌詞で部分練習を繰り返し、全体を通して唄えるようになった。

次回練習

1. 日時・場所：10月13日（土）14：00～ 西新宿カルチャープラザ D室
2. 練習曲：「富士山」及び「マザーグースのうた」

特記事項

1. メンバーが増えて来て、経沢氏宅でかなりきつくなって来た。その場合の会場探しが、大きな宿題になりそう。(本日のワインパーティの大きな話題となった)

以上 報告者 木戸

日時：2012・9・8（土）14：00～16：30

場所：西新宿カルチャープラザ D室

参加者(敬称略) () 内は特別参加者

指揮：甲和

TI：上田 大野 高木 丸谷 村田 (松本)

TII：江守 北村 富田 本間

BI：池田 奥村 藤山 淵山 (藤原)

BII：奥戸 木戸 待山 山邊 (大江) (堀)

ピアノ：坂田

練習内容

男声合唱フェスティバルの演奏を目指して

1. 「富士山」1曲目 細部の部分練習を繰り返した。子音を早めに立ててしっかり発音すること。強弱テンポの変化等ダイナミズムに留意すること
2. 「マザーグースのうた」7曲目 初めての取り組み 譜読みを開始した。8/9拍子の3連音符のリズムを感じて、各パートに配置された主旋律をレガートに唄う。5から6小節目の4/4拍子から8/9拍子に変わる所少し間を置く。78頁3段目コーラスのF#durの唄い出し部分1小節前のピアノ伴奏から確実に音取りする。なかなか歌い映えのする感じのよい曲だとメンバー間で好評。

次回練習

1. 日時・場所 9月22日(土) 14:00～ 於経沢氏宅
2. 練習曲:「富士山」「マザーグースのうた」

特記事項

1. 本日の欠席者(TII:2名 BI:1名)が加わると各パート6名のバランスの良い編成となり、本番での充実した演奏が期待できる。

以上 報告者 木戸

日時: 2012・8・25(土) 14:00～16:30

場所: 経沢氏宅

参加者(敬称略)

指揮: 甲和

TI: 大野 村田 高木 上田(新入団)

TII: 江守 仮谷川 北村 富田 本間

BI: 宇野 奥村 藤山

BII: 奥戸 木戸 待山 山邊 堀(特別参加)

ピアノ: 坂田

練習内容

1. 「富士山」前回途中で時間切れとなった3曲目の後半から、音取り後歌詞で最後まで通した。1曲目のおさらいと新たに2曲目の取り組み。これも歌詞で唄いきった。

次回練習

1. 日時・場所 9月8日(土) 14:00～ 於西新宿カルチャープラザ D室
2. 練習曲 「富士山」及び「マザー・グースのうた」7曲目

特記事項

1. 新入団員 68年入学 上田勝己さん(TI) これでTIは5名の一大勢力

となった。メンバー構成は下記の通り（敬称略）

指揮者：甲和 ピアニスト：坂田

TI：5名（上田 大野 高木 丸谷 村田）

TII：6名（江守 仮谷川 北村 経沢 富田 本間）

BI：5名（池田 宇野 奥村 藤山 淵山） 休団（関本）

BII：4名（奥戸 木戸 待山 山邊）

- 2、楽譜の配付 「富士山」「光る刻」「マザー・グースのうた」
- 3、東京男声合唱フェスティバル 11月10日（土）出演の件
上記メンバーのほか臨時メンバーも加わり、出演26名前後になりそう
演奏曲「富士山」1曲目と「マザー・グースのうた」7曲目の予定

以上 報告者 木戸

日時：8月11日（土）14：00～16：30

場所：西新宿カルチャープラザ D室

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：大野 丸谷 高木（新入団）

TII：江守 仮谷川 北村 富田

BI：藤山 淵山

BII：奥戸 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- 1、「富士山」1曲目 3曲目 殆どの人が唄ったこともあり、いきなり歌詞で部分練習を何度か繰り返した。大阪男声としては第7回演奏会で取り上げた。5年も経過しているので部分的に記憶が薄れていたが、唄っているうちに徐々に思い出すことが出来た。3曲目は途中までで時間切れ。

次回練習

1. 日時：場所 8月25日（土） 14：00～ 於 経沢氏宅
2. 練習曲：「富士山」

特記事項

1. 新入団 高木 保氏（67年入学 TI） 次回に上田氏も入団の予定（同じく TI） これで構成メンバーは
TI：4名 TII：6名 BI：5名 BII：4名となり、パートバランスが良くなった。 以上

報告者 木戸

日時：7月21日（土）14：30～17：45

場所：経沢氏宅

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：大野 村田

TII：江守 北村 富田 本間

BI：宇野 奥村 藤山 淵山

BII：木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

大阪演奏会に向け東京支部に於ける最後の練習となった。先ずアンコール曲の「Standchen」「いざ起て戦人よ」「Muss i denn」をさらった。その後演奏会のプログラムの順で全曲のおさらいをした。

次回練習

演奏会終了後 8月11日(土) 14:00~17:00

於西新宿カルチャープラザ(2階) D室

練習曲 組曲「富士山」練習開始の予定 以上

報告者 木戸

日時：2012・7・15(日) 14:00~17:00

場所：新宿村 WEST館 304号室

参加者(敬称略)

指揮：坂田(裕)

TI：大野 村田 内田(特別参加)

TII：江守 北村 富田 本間

BI：宇野 奥村 藤山 淵山

BII：木戸 待山 山邊 甲和

ピアノ：坂田(百)

練習内容

1、三声のミサの特別練習 楽器は電子オルガン(レンタル)を使用した。

全体的な指摘事項・確認事項

- 1) 全曲 基本的に4拍子振りとする。
- 2) 伴奏は基本的に「Tenor」と「Bassus」パートのみとする。
- 3) いずれの曲も三部構成されている。その切り替えを意識する。
(テンポ、強弱 曲想 歌詞の意味など)
- 4) フレーズ感を持って唄う
- 5) 一語の中でもややアクセントをつける部分と引く部分の唄い分け
- 6) 各パート間よく聴き合う(特に二部でフレーズのやり取りする部分)
- 7) 「Sanctus」の1、39小節目 及び「Agnus Dei」1小節目のCantusの唄い出しはオルガン音を入れる。具体的にはリハーサル時決定する。

2、最後に本番並みに全曲を通した。(演奏時間約19分)

次回練習

7月21日(土) 14:00~17:00 於経沢氏宅

練習曲 全曲おさらい。(アンコール曲 「Standchen」「Muss i denn」
「いざ起て戦人よ」 の楽譜も忘れずに持参願います)

以上 報告者 木戸

日時：2012・7・14(土) 14:00~17:00

場所：経沢氏宅

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：村田 内田(特別参加)

TII：江守 北村 富田 本間

BI：池田 宇野 藤山 淵山

BII：木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- 1、三声のミサ&永訣の朝 いずれも部分練習を繰り返しながら、全曲通した。
(本部からの情報で、三声のミサは本番演奏にオルガン伴奏を付けることとなったため、電子ピアノをオルガンに設定して弾いてもらった)

次回練習

7月15日(日) 14:00~17:00 於新宿村 WEST 館 304号

本部より坂田指揮者を迎え、「三声のミサ」の特別練習

以上 報告者 木戸

日時：2012・6・30(土) 14:00~17:00

場所：経沢氏宅

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：丸谷 村田

TII：江守 北村 富田 本間

BI：池田 宇野 奥村 藤山 淵山

BII：奥戸 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- 1、日本唱歌集 全5曲をコンサートの演奏順に練習した
1) 早春賦 1,2番のアカペラ部分 ブレスたっぷりに豊かに 3番のテンポ

やや早く軽く 6 拍目の食い付き遅れない 50p2 段目 2 小節目テンポやや緩
め 5 拍目の 8 分休止符正確に 51p2 段目 2 小節目 4 拍目から音量やや落とし
4 小節目から cresc. 53p1,2 段目の語尾「や」軽く柔らかく収める

2) 叱られて 39p2 段目 2,3,4 小節目の Hum 拍の頭軽いアクセント
40p2 段目 1 小節目拍の頭 軽いアクセント 子音明確に

3) ずいずい・・ 出だしのシンコペーション強く 3,4 拍目はやや押える
1,2 小節は m f で 3 小節目からは m p で 3 段目 2 小節目 p を意識して
3 小節目後半から molt cresc. で BII 最後の A 音やや抑え気味で
テンポ、強弱 繰返しなどの変化に対応できるよう自主練習を要す

4) 浜辺の歌 ピアノ伴奏に寄り添っててらいなく BI 出だしのパートソロ
16 部音符レガートに 29p2 段目オブリガード部分 1,3 小節の 3,6 拍目は押さ
えて 2,4 小節目の 8 分音符 4 つはレガートにつなげる

5) どんぐり・・ ドングリ コロコロのオブリガード 強弱の変化明確に
65p2 段目 T=120 ではなく 100 に落とし 3 段目 3 小節目から T=120 とする
BII のパートソロ前半 (おどろおどろしく) 後半 (演歌調? で) 唄い分け
3 曲目と同様 テンポ 強弱 繰返しの変化に対応 自主練習を要す

2、「月光とピエロ」 本部練習時の指揮者の指摘事項を確認しながら

全 5 曲を 5 4 1 2 3 の順でさらった。本番前日当日の指揮者の指示に
よく合わせることを肝要。

次回練習

日時・場所：7 月 14 日(土) 14:00~17:00 於経沢氏宅

練習曲：三声のミサ 永訣の朝

特記事項

三声のミサのオルガン伴奏をつけることになった由

7 月 15 日(日)の坂田指揮者を迎えての練習 伴奏楽器をどうするか検討課題

以上

報告者 木戸

日時：2012・6・17(日) 14:00~17:00

場所：新宿村スタジオ WEST 館 304 号室

参加者(敬称略)

指揮：坂田(祐)

TI：大野 村田

TII：江守 仮谷川 北村 富田 本間

BI：宇野 奥村 藤山

BII：木戸 待山 山邊 甲和

ピアノ：坂田(百)

練習内容

大阪から坂田(祐)指揮者を迎えて「三声のミサ」特別練習
(全般的な指示事項)

1. 「Kyrie」「Gloria」「Credo」はゆったりした二拍子振り 「Sanctus」

と「Agnus Dei」は四拍子振りとする。

2. いずれの曲も終り又は区切りの唄い収めの2小節はテンポを緩めるので指揮を良く見ること
3. 各パート間良く聴き合っのフレーズの受け渡しの意識 新たなフレーズの唄い出しをするパートは唄い出しを明確にする
4. 3パートが揃って、フレーズを唄いだす部分 柔らかい拡がりのある響きで
5. 音程・リズム・歌詞など不安定な部分があり、集中してパート練習を要す
6. アクセントのある音符と軽く添える音符との唄い分け

(曲ごとの指示事項)

「Kyrie」

- 1、1・3・5小節(以下sと略す)の唄い出し 柔らかく拡がりのある響きが欲しい
- 2、6sのTen 「Kyrie」きちんと言い直す
- 3、7sのTen 「lei」 G音躊躇せずしっかり上げる
- 4、8s9s テンポを弛める。指揮を良く見る。(他の曲の唄い収めも同じ)

「Gloria」

- 1、17sの唄い出し 柔らかく拡がりのある響きで
- 2、43sからややテンポを落とす
- 3、73s74s テンポ更に弛め 75s「bis」はフェルマータ
「Quo」からテンポ戻す

「Credo」

- 1、Ten 18s 23s 25s 27s 29s 34s 他パートに先行してフレーズを唄い出す部分 意識して 27s28sは音程低いが動きを明確に
- 2、40s41s テンポ弛める 40sの「cta」3パートよく揃える
- 3、42sからテンポ落とす 53s「Et」から更にテンポと音量落とす
- 4、58s～61s Cantus メロディ明確に
- 5、74s「Et」からテンポ&ヴォリュームアップ 「復活」のイメージ
- 6、82s「ras」短めに切って 83sの「Et」の入り揃える(CanとTen)
- 7、85s Ten「se-det」唄い出し 明確に
- 8、105s～116s TenとBas よく聴き合っフレーズの受け渡し
- 9、116sの「Qui」の唄い出し 拡がりある響きで
- 10、125sの「Qui」の入り TenとBasのズレを明確に
- 11、141s 「Con」の入り揃える
- 12、143s 144sの「ba」の3パート間のズレを意識して
- 13、162s 一度切って 改めて163sの「Amen」にはいる

「Sanctus」

- 1、4拍子振りとする 17sで切ってあまり間を置かず18sに入る
- 2、39sから明るくやさしく 「祝福された」イメージを持って
- 3、Ten 44s～47s 音程・リズム・アクセント パート練習で確認のこと

報告者の解釈違いや聞き違いがあればご容赦下さい。

次回練習

6月30日(土) 14:00~17:00 於 経沢氏宅

練習曲:「日本唱歌集」 「月光とピエロ」

特記事項

練習後指揮者坂田さんを囲んで懇親会を開催した。

以上 報告者 木戸

日時: 2012・6・16(土) 14:00~17:00

場所: 経沢氏宅

参加者(敬称略)

指揮: 甲和

TI: 大野 村田

TII: 江守 仮谷川 北村 富田

BI: 宇野 奥村

BII: 木戸 待山 山邊

ピアノ: 坂田

練習内容

1. 翌日の特別練習に備え「三声のミサ」に取り組んだ。最初に大野さんの指導で全文の歌詞の読み方を確認した。
2. 「Kyrie」一通り唄った後 「Credo」を集中的に練習
3. その後「Sanctus」「Agnus Dei」もおさらいした。

次回練習

2012・6・17(日)14:00~17:00 於新宿村 WEST 館 304 号室

大阪から坂田指揮者を迎えて「三声のミサ」の特別練習

以上 報告者 木戸

日時: 2012・6・10 14:00~17:00

場所: 新宿村 West 館 304 号室

参加者(敬称略)

指揮: 萩原先生

TI: 内田 村田

TII: 江守 仮谷川 北村 富田 本間

BI: 池田 宇野 奥村 藤山 渕山

BII: 木戸 甲和 待山 山邊

ピアノ: 山口さん

練習内容

指揮者萩原先生とピアニスト山口さんをお迎えしての特別練習

1. 腹式呼吸法及び発声のご指導
2. 「永訣の朝」全曲の練習 取りあえず全曲を通した後、最初から最後まで部分練習を繰り返し、最後に再度全曲を通した
3. 全般的な指導・指示事項
 - 1) 緊張感と集中心の持続（長い曲の途中で切れたら立て直しが困難）
 - 2) ブレス準備早めに深く安定した息の流れに言葉を乗せる（p pでも）
 - 3) 促音の唄い方（該当の8分音符少し長めに、鋭くなく自然な促音で）
 - 4) 何回か出てくるアカペラ部分音程下がりやすい。（しっかりした体の支えと深いブレスで音程高めのイメージを作ってから発声）
4. 部分練習での指示事項
 - 1) 練習番号①1小節目 T I、II ブレス早めに 細心の注意を払って発声する
 - 2) 2、3小節目 T I、II 「とおー」滑らかに 「しまう」柔らかく B I の4分音符の動きははっきりさせる
 - 3) 練習番号②1小節目 T I 16分音符滑らない 冷静に 2小節目の付点4分音符長さ正確に
 - 4) P 8 「陰惨」の発音鋭く乱暴にならないように 母音をきちんと発音
 - 5) 練習番号③ 1、2小節目 徐々に軽くテンポアップ
 - 6) 練習番号③ Tempo I 「あめゆじゅ」曲線的な入りのイメージ 但し ヘロヘロにならない ブレスしっかり 「とてちて」滑らない 冷静に 「ち」は無声音で
 - 7) 練習番号③の最終小節で一度音を切り、改めて練習番号④に入る
 - 8) 練習番号④2小節目 「じゅん」の「じゅ」母音明確に
 - ④最終小節最後の付点四分音符十分に延ばし一度切る
 - 9) 練習番号⑤テンポの揺れ 指揮に良く合わせる
 - ⑤5、6小節目の「とびだした」の「と」より「び」が強くなるよう
 - 10) 練習番号⑥ T II pp 細心の注意を払って 曲線で入るイメージ
 - ⑥ T I Hum の動きははっきりさせる
 - 11) 練習番号⑦ 「みぞれは」の掛け合い ブレス早めに 入り遅れない
 - 12) 練習番号⑧ 少し Accel. を掛けて テンションを上げてゆく 言葉を立てる 最終小節の「だの」はテンポを緩める
 - 13) 練習番号⑨ 言葉を熱く テンション上げて B I、II の「としこ」の呼びかけの繰り返し軽く 「し」は無声音で
 - 14) 練習番号⑩ piuf 変化を意識して
 - 15) 練習番号⑪ T I あわてない 5連音符さらっと 深いブレスで
 - 16) 練習番号⑫ 「わたくしもまっすぐに」からの感情の高まりを表現する
 - 17) 練習番号⑬ 「Ah——」からは大らかな感じで
 - 18) 練習番号⑭ 「あめゆじゅ」の受け渡しの音程の変化と確かさ意識して
 - 19) 練習番号⑮ T I、II レガートで B II 「おまえは」力まず響き大切に
 - 20) 練習番号⑯ B II 頑張りすぎるな 「銀河」の母音丁寧に 全パート 「せかいの」「そらから」の S 音早めに発声 「さいごの」の「さい」の母音を丁寧に

- 2 1) 練習番号⑰ BII 「Un」 軽く BI パートソロ フレーズ感覚曲線的
 な入りのイメージで TI 「たまっ」 Accel 慌てない
- 2 2) 練習番号⑱ 5 小節目 「ゆきとみずとの」 レガートで cresc,
- 2 3) 練習番号⑲ 3 小節目 「みちた」の「た」きちんと1拍を保つ
 4 小節目以降 mp から慌てて大きくしない
 「やさしい」の「や」 Y 音を意識して
- 2 4) 練習番号⑳ 最後の3小節目音量を fff に備えて 抑え気味にする
- 2 5) 練習番号 21 3 小節目 egumo ピアノのリズムに合わせる
- 2 6) 練習番号 22 BII パートソロ 抑揚を付けず深く静かに
 TI 4、5 小節目 3 連音符慌てない 丁寧に
 TII 8 小節目 「やさしく」の Y 子音準備して
- 2 7) 練習番号 23 ブレスをしっかりとしてから入る
 BI、II のパートソロ 力まず自然に
- 2 8) 練習番号 24 TII 最大の聴かせどころ 口先ではなく深い息の流れで
 明るく 顔を上げて (暗譜で)
- 2 9) 練習番号 25 6 小節目 1 拍目 揃えて プツンとしない
- 3 0) 練習番号 26 3 小節目 「てんの」の「て」の母音長めに
- 3 1) 練習番号 27 「ねがう」は「が」より「ね」をはっきり大きく発声

以上 報告者の聞き間違いや解釈違いがあったらご容赦下さい。

次回練習

2012・6・16 於 経沢氏 宅

練習曲 三声のミサ 「日本抒情歌集」

特記事項

練習終了後 萩原先生と山口さんを囲んで懇親会を開いた。 以上

報告者 木戸

日時：2012・6・9 14:00~17:00

場所：経沢氏宅

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：大野 村田 丸谷 内田

TII：江守 仮谷川 北村 富田 本間

BI：宇野 奥村 藤山 湊山 池田

BII：待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

1. 永訣の朝

パートの掛け合いの後、4パート揃って出る所が何箇所かあるが、出遅れるパートがある。特に揃って出る前に音が移動しているパートは音程に気を取られ遅れるきらいがあるので注意。

テンポの変化も多いので、指揮者を良く見て合わせること。

演奏会も近づいて来た折、もう一度詩を読み返して伝えたい事を確認したい。

2. 月光とピエロ

誰もが一度は歌った事のある曲だが、アカペラなのでどうしても音が下がり傾向になる。

高めを意識して歌いましょう。

次回練習

日時；6月10日14:00～

場所；新宿村スタジオ WEST304

萩原先生の指揮、山口さんのピアノ伴奏で、永訣の朝を練習します。

練習の後懇親会があります。

特記事項

大阪男声本部の片桐様のご尽力(?)により、本日よりB1の池田さんが東京支部に入団されました。

これによりパートバランスは、T1 = 4, T2 = 5, B1 = 5, B2 = 4 といふ具合になって来ました。

本日はB2が2名で寂しかったですが……。

以上、報告者代理 山邊

日時：2012・5・26(土) 14:00～17:00

場所：経沢氏宅

参加者(敬称略)

指揮：甲和

T I：大野 村田 (丸太)

T II：江守 仮谷川 北村 富田 本間

B I：宇野 奥村 藤山 淵山 (堀)

B II：木戸 待山

ピアノ：坂田

練習内容

- 1、三声のミサ [Kyrie]「Gloria」「Sanctus」をおさらい。自分のパートを唄うことに懸命になり過ぎて余裕がない。もっと唄い込んで他パートとの兼ね合いを理解して唄うこと。拍子よりもフレーズ感を持って唄うことが肝要。
- 2、「月光とピエロ」 1曲目から4曲目まで、正指揮者から出されている注意事項を確認しながら部分練習を繰り返した後、最後にピアノなしで通した。5曲目のみは一度通したのみで時間切れ。

次回練習

- 1、日時・場所 6月9日(土) 14:00～ 於経沢さん宅

2、練習曲 「永訣の朝」 「月光とピエロ」

特記事項

- 1、新入団 65年入学 丸谷隆一さん(TI) これで構成メンバーは次の通り
(TI : 4 TII : 6 BI : 4 BII : 4 休団のBI 関本さん除く)
- 2、本日の特別参加 BI : 堀さん

以上 報告者 木戸

日時 : 2012・5・12 (土) 14 : 00~17 : 00

場所 : 経沢氏宅

参加者(敬称略)

指揮 : 甲和

TI : 村田

TII : 江守 仮谷川 経沢 富田

BI : 宇野 奥村 藤山

BII : 奥戸 木戸 待山 山邊

ピアノ : 坂田

練習内容

1、日本唱歌集より

- 1) 「ずいずいずっころばし」 27小節目のG.P.飛び出し要注意。
29小節目のTempo IからのBI、IIの音程不安定 課題として残る
 - 2) 「どんぐりころころ」 20小節目「ポチャン」は舌打ちでなく言葉で
35小節からコーダへ入る際のG.P.の飛び出し要注意
36及び58小節から次小節へ移る際「間」を取る(指揮をよく見る)
 - 3) 「浜辺の歌」 ピアノのアルペジオにうまく乗れない。特に6拍目の
子音発声の準備を早めに 2番ベースパートメロディ部分唄いだし
mpで TI、II及びBIのオブリガード 高音に上がる際突き上げない
柔らかく
- 2、「永訣の朝」 先ず練習番号⑩から最後までさらった後 最初から
全曲通した。まだまだ音程、リズムの怪しいところあり。第4ステージ
で最後まで唄い切るスタミナ確保が必要。

次回練習

- 1、日時・場所 : 5月26日 14 : 00~17 : 00 経沢氏宅
- 2、練習曲 : 「月光とピエロ」 「三声のミサ」

特記事項

- 1、BI 関本さん 家庭の事情でしばらく休団(2月から休団扱い)

以上 報告者 木戸

日時：2012・4・28 14：00～16：30

場所：経沢氏宅

参加者(敬称略)

ピアノと指導：坂田

TI：大野 村田

TII：経沢 江守 北村 富田

BI：奥村 澁山

BII：木戸 待山 奥戸 山辺

発声：大野

練習内容

3声のミサ全曲

1. クラビノーヴァをオルガンボイスにして演奏してもらい、曲の感じを掴んだ。
2. 全曲を坂田さんの指導により、音を中心に、2声ずつあるいはパート別で練習した。
3. 「永訣の朝」は練習出来なかった。

次回練習

5月12日(土) 14：00～ 於 経沢氏宅

練習曲 全曲ご用意ください

以上 報告者 大野

日時：2012・4・7 14：00～16：45

場所：新宿村 S-21スタジオ

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：大野 村田 高木

TII：江守 仮谷川 北村 富田 本間

BI：宇野 澁山

BII：木戸 待山

ピアノ：坂田

練習内容

3声のミサから

1. 「Kyrie」 おさらい 母音及び歌詞による唄いこみ
2. 「Agnus Dei」 階名による譜読み 歌詞のリズム読み 最後に歌詞で通して唄った。(2声によるアンサンブル練習の繰り返しを経て)
3. 「Credo」の105小節以降の階名による譜読み 1～104小節のおさらい 105小節以降の歌詞付けが残り次回以降の練習で取り組む

次回練習

4月28日(土) 14：00～ 於 経沢氏宅

練習曲 「3声のミサ」 「永訣の朝」

指揮者不在となるため、大野さんとピアニスト坂田さんのリードで練習
特記事項

TIとして待望久しかった新入団員を迎えることができた。

(67年入学 高木 保さん)

以上

報告者 木戸

日時：2012・3・24

場所：新宿村スタジオ West館 304号室

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：大野 村田

TII：江守 仮谷川 北村 富田 本間

BI：宇野 奥村 藤山 瀧山

BII：奥戸 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- 1、抒情歌曲集「どんぐりころころ」「ずいずいずっころばし」「叱られて」
「早春賦」「浜辺の歌」を全曲復習した。昨秋の男声合唱フェスティバル以来 数ヶ月ぶりの取り組みであり、やや忘れがちであったが徐々に調子が出てきた。1, 2曲目はテンポの変化、繰り返し部分、コーダへのつながり等もっと唄いこんで慣れる必要がある。
4,5曲目は共に8分の6拍子であるが、ピアノ伴奏アルベジオのリズムとの合わせが課題(特に6拍目が遅れ勝ちでリズムが崩れる)

次回練習

- 1、4月7日(土) 14:00~17:00 於新宿村スタジオ S-21
- 2、練習曲「三声のミサ」のみ

特記事項

- 1、4月14日(土)と4月28日(土)の練習は指揮者不在となるため、一応練習は取りやめる。(ただし昨日の練習後の懇親会で、有志による自主練習をしてはとの声あり、次回練習時に決める)

報告者 木戸

日時：2012・3・10(土) 14:00~16:40

場所：新宿村スタジオ S2号館 7号室

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：大野 村田

TII：江守 仮谷川 北村 富田 本間

BI：宇野 奥村 藤山 瀧山

BII：木戸 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- 1 「月光とピエロ」大阪外大 OB の演奏録音を聴いた指揮者から、楽譜に表れていない特徴的なテンポ、強弱の変化について指示があった。これに基づき部分練習を重ねながら、全曲をさらった。
- 2 「三声のミサ」 「Credo」の後半部分の譜読みが残っているが、今日は「Sanctus」の譜読みと歌詞付けを行った。やや急ぎ足であったが、何とか最後までたどりついた。

次回練習

3月24日(土) 14:00～ 於新宿村スタジオ WEST 304号室

練習曲：「三声のミサ」(Sanctus Agnus Dei)と

日本抒情曲集(浜辺の歌、早春賦 叱られて)

コーラスアルバム(ずいずいずっころばし どんぐりころころ)

以上 報告者 木戸

日時：2012・2・25 14:00～16:30

場所：新宿村 S-21 スタジオ

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：村田

TII：仮谷川 北村 富田 本間

BI：藤山

BII：木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- 1、三声のミサ Credo 63小節～104小節 パート単独と二声アンサンブルで部分練習を繰り返しながら 繰階名読みと歌詞読みを終えた。最後に1小節～104小節を通して唄った。
- 2、「永訣の朝」練習番号15から最後まで部分練習を繰り返した。練習番号16は指定テンポには未だ付いて行けず、ややテンポを緩めて唄った。

次回練習

1、3月10日(土) 14:00～17:00 於新宿村スタジオ S2号館 7番

2、練習曲 「三声のミサ」 「月光とピエロ」

以上 報告者 木戸

日時：2012・2・11 14：00～16：45

場所：新宿村スタジオ S-23

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：村田

TII：江守 仮谷川 北村 富田 本間

BI：宇野 奥村 藤山 瀧山

BII：木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

- 1、「永訣の朝」最初から部分練習を繰り返しながら、練習番号⑭までをさらった。
- 2、「三声のミサ」の Kyrie をさらった後 Credo のの譜読みと歌詞付けをした。(二声のアンサンブルで音程を確認しながら、譜読みは 63 小節まで、歌詞付けは 42 小節まで終了)

次回練習

日時：2月25日(土) 14：00～ 場所：新宿村スタジオ S-21

練習曲 「永訣の朝」及び「三声のミサ」

以上 報告者 木戸

日時：2012・1・28 14：00～16：30

場所：経沢氏宅

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：(関本) (宇野) ()内 臨時編成

TII：仮谷川 経沢 富田 本間

BI：奥村 藤山 瀧山

BII：木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

1. 「月光とピエロ」に取り組んだ。4,5,1,3,2の順で部分練習を繰り返しながら、最終的に全曲をさらった。3,5曲目は唄い慣れていないこともあってテンポを落として唄った。
2. 本日はTIのお二人欠席のため、臨時的にBIの関本・宇野両氏にTIを唄ってもらった

次回及び次々回練習の日時と場所

1、2月11日(土) 14：00～17：00 於 新宿村スタジオ S-23

2、2月25日(土) 14：00～17：00 於 新宿村スタジオ S-21

日時：2012・1・14(土) 14:00~16:30

場所：経沢さん宅

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：村田 (内田) (子安)

TII：江守 仮谷川 北村 経沢 富田 本間

BI：宇野 奥村 関本 藤山 渕山

BII：奥戸 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

()内は特別参加

練習内容

- 1、「早春賦」 母音によるアンサンブル確認 全員メロディ斉唱によるフレーズ感を確認後、通して唄った。
 - ・全体にレガートで唄う
 - ・小節最後の8部音符の入り遅れ(特にBII重い)、前へ前へのフレーズ感
 - ・48p 2段目 3小節目 BIIの上昇音階 *decresc*してメロディを生かす
 - ・51p 2段目 2小目からの付点4部音符 乱暴にならぬよう軽く
 - ・53p 1、2段目の「や」の唄い収め 柔らかく(特にTI)
- 2、三声のミサ
 - ・前回練習後要望のあったBIの担当パート変更の件は「Bussus」から「Tenor」に変更した。従って本日の編成は
Cantus：3名 Tenor：11名 Bussus：4名 バランス上は？
 - ・「Kyrie」と「Gloria 42小節まで」前回のおさらい、母音によるアンサンブル確認後 歌詞で通した
 - ・「Gloria 43s~最後まで」パート毎に階名による音取りと2パートによるアンサンブル練習などを繰り返し、歌詞付けをした。一応最後まで歌詞で通すことができた。

次回練習

- 1、日時・場所：1月28日(土)14:00~ 於 経沢さん宅
- 2、練習曲：「月光とピエロ」

特記事項

- 1、新入会員 本間 真人さん(1976年入学) パート：TII
- 2、パート編成の変更
関本さん：TIからBIへ 宇野さん：TIIからBIへ
- 3、2月の総会で大野東京支部長が退任される予定のため、その後任に富田さんを常任委員及び東京支部長に推薦することを東京支部として確認した。

2011年（降順）

日時：2011・12・24（土）

場所：経沢氏宅

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：大野 関本 村田

TII：宇野 江守 仮谷川 北村 経沢 富田

BI：奥村 藤山 湊山

BII：奥戸 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

1、クリスマス・イヴと言うことで、奥戸氏から提供のあった曲

「Carol of the Drum」に取り組んだ。BI、BIIはリズムを刻むのみ。

TI、TIIは同じようなメロディの繰り返しで最後は何とか様になった？

2、東京支部としては初めて「三声のミサ」に取り組んだ。

Cantus：TI Tenor：TII Bassus：BI、BII のパート分けとした。

少々見慣れない4/2拍子と時々出てくる6/2拍子に、最初は少々譜読みに

まごついたが、すぐに慣れ「Kyrie」はわけなく言葉付けまで終了。

「Gloria」も同様に取り組んだが、かなり手こずり42小節まで何とか譜読みと
言葉付けを終えた。

終了後 BassusをBIが唄うのは要求される音域が低過ぎて、無理があるとの
声が上がりに、パート分けについて再度検討することになった。

(BIはTenorを担当 TIIの一部のメンバーがCantusを唄う？など)

次回練習

日時・場所：1月14日 14:00～16:30 於 経沢氏宅

(終了後 18:00から 駒八別館で新年会を予定)

練習曲：「三声のミサ」及び「日本抒情歌曲集」

特記事項

1、BI鈴木氏が転勤のため、しばらく休団。パートバランスを考慮して

TIIの宇野氏をBIへスカウトすることとなった。これにより東京支部の

メンバー構成は TI：3 TII：5 BI：4 BII：4 計 16名となる。

以上 報告者 木戸 啓喜

日時：2011・12・10（土） 13:00～15:30

場所：経沢氏宅

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI : 関本 村田 (大野)
TII : 宇野 江守 仮谷川 北村 経沢 富田
BI : 奥村 藤山
BII : 奥戸 木戸 待山 山邊
ピアノ : 坂田

練習内容

- 1、「月光とピエロ」より
 - 1) 「秋のピエロ」20小節～28小節のみを集中的に部分練習をした。
(母音で音程を確認しつつパート練習、最後は歌詞で)
 - 2) 「月夜」パート練習で音程確認後 通して唄った。
* 出だしと最後のベース 低音部力まず楽に、
* 11,12,13小節 BI、BII 音をずり上げない
* 21～29小節 TI、TII 音程確実に
- 2、「永訣の朝」
 - 1) 練習番号(22)～最後までパート別に確認 これで音取終了
 - 2) 練習番号(18)～(21) 繰り返し練習 変拍子あり パート別に異なるメロディパターンが入り混じり 最も難しい部分である
 - 3) 練習番号(15)(16) 特にテンポの速い(16)の繰り返し練習
28ページに入ってからテンポの変化 指揮に旨くついて行けるかが課題
 - 4) 以上の練習後 練習番号(15)～最後まで通して唄った

次回練習

日時 : 12月24日(土) 14:00～16:30 場所 : 経沢氏宅
練習曲 : 「三声のミサ」(初めての取り組み)

特記事項

今回は当日クリスマスイヴにつき、奥戸氏提供の「Carol of the Drum」も練習する予定

以上 報告者 木戸

日時 : 2011年11月26日(土) 14:00～16:30

場所 : 経沢氏宅

参加者(敬称略)

指揮 : 甲和

TI : 大野 関本 村田

TII : 江守 仮谷川 北村 経沢 富田

BI : 奥村 藤山 渕山

BII : 奥戸 木戸 待山 山邊

ピアノ : 坂田

練習内容

1、「月光とピエロ」から 「4、ピエロの嘆き」に取り組んだ。何名か唄ったことがない人もいたが、パート練習を中心にすぐに歌詞で唄った。「1、月夜」もそうだが、出だしの p や p p で唄う部分は BII の安定した響きが支えとなり、和音を決めることが不可欠。

「2、秋のピエロ」を一通り唄ったが、うろ覚えの猥雑な演奏となり「まるで宴席での演奏のようだ」と指摘された。今後丁寧に取り組んでゆかねばならない。

2、「永訣の朝」久々の練習となった。

前回までに取り組んだ練習番号 (1) ～ (10) 2ヶ月以上の空白期間があり、復習に思わぬ時間を要した。本日は新たに (11) ～ (21) に譜読みで取り組んだ。(12) (13) (16) (18) などの激しいテンポの変化は相当に唄いこんで覚え切ってしまうといけない。事前の十分な自主練習が必要となる。この曲は唄い出すと十数分間休みなく、唄いきるには相当なパワーが求められる。

次回練習

日時：12月10日(土) 13:00～15:30 (いつもより1時間早まる)

場所：経沢氏 宅

練習曲：「永訣の朝」「月光とピエロ」

以上 報告者 木戸 啓喜

1、日時場所 2011・10・22(土) 14:00～16:30 於 経沢宅

2、出席者(敬称略)

指揮：甲和 ピアニスト：坂田

TI：関本 (松本 内田)

TII：仮谷川 経沢 北村 富田 江守

BI：藤山 奥村 淵山 (堀)

BII：待山 奥戸 (大江 佐々木) 山邊

() 内はエキストラの諸氏

3、練習内容

「叱られて」

音がぶつかる部分とその後の和音の対比が明確になるよう留意する。

2番の歌詞の後半部分(二人のお里は～)は1番の歌詞と少しニュアンスが異なる。2番の方は少し明るく歌う。

「Muss i denn」

自分は間違っていて覚えているという声があちこちから聞こえる。

前回の練習から2週間経つとまた元に戻ってしまったと指摘された。

一旦身についてしまった癖を治すのは中々難しい。

Muss i denn の部分はまだムシデンと聞こえてしまう。Muss ich den のつもりで歌うこと。

メロディがもっと聞こえる様、メロディパート以外は少し抑えること。

4、次回練習日

11月12日(土) 14:00~17:00 於 新宿村スタジオ (23st)

練習曲 「Muss i denn」 「叱られて」

フェスティバル前日の練習となります。

5、その他

フェスティバル出演時の服装は

黒色のスラックスに黒の靴

上着はなしで、襟付きのオープンシャツ (柄・色は自由)

楽譜は、黒のカバーをつけて「Muss i denn」を挟んで持つ

報告者 (代筆) 山邊

1、日時場所 2011・10・8(土) 14:00~16:30 於 経沢宅

2、出席者(敬称略)

指揮：甲和 ピアニスト：坂田

TI：大野 関本 村田 (松本)

TII：宇野 江守 仮谷川 北村 富田 (岡部)

BI：奥村 鈴木 藤山 淵山 (堀)

BII：待山 山辺 木戸 (大江)

()内はエキストラの諸氏

3、練習内容

「Muss i denn」 1番~3番に区切りながら、母音発声で音程を確かめその後独語を確認。2番はレガートで抒情的に。最後に1番~3番通して唄ったが、指揮者から「やはり昔から身につけていた癖からなかなか抜け切れていない」との指摘。

「叱られて」 10小節のBIIの3連音符 レガートで 11小節3拍目のGdurの和音を決める 16 17 18小節のHumの頭軽くアクセント 24小節の1拍目 軽くアクセント 2番最後のTIメロディ1小節短くする等

4、次回練習日

10月22日(土) 14:00~16:30 於 経沢宅

練習曲 「Muss i denn」 「叱られて」 他 抒情歌曲集から

5、その他

「月光とピエロ」の楽譜配布 「三声のミサ」の練習用CD配布

報告者 木戸 啓喜

1、日時場所 2011・9・24(土) 14:00~16:30 於 経沢宅

2、出席者(敬称略)

指揮：甲和 ピアニスト：坂田

TI：大野 関本

TII：宇野 江守 仮谷川 北村 経沢 富田

BI：奥村 鈴木 藤山 淵山

BII : 待山 山辺 木戸

3、練習曲

「永訣の朝」に初めて取り組んだ。練習番号①～⑩について譜読みした後、言葉を付けて唄った。④の二長調への転調 ⑤の変拍子及びテンポアップへの転換 その他テンポ変化への対応 など 今後の練習時の課題として残った。

4、次回練習

10月8日(土) 14:00～ 於 経沢宅

練習曲 日本抒情歌曲集 コーラスアルバム 「Muss i denn」

5、その他

Byrd の「三声のミサ」の楽譜が到着、配布された。また第11回演奏会の録音CDも到着、配布となった。

以上 報告者 木戸 啓喜

1. 日時：2011年9月10日(土) 14:00～16:30

2. 場所：新宿村スタジオ S館 25スタジオ

3. 出席者：指揮 甲和 ピアノ 坂田

TI 大野 関本 村田 松本(エキストラ)

TII 宇野 江守 仮谷川 富田

BI 鈴木 藤村 淵山

BII 奥戸 待山 山辺 木戸

4. 練習曲

1) 日本抒情歌曲集から「叱られて」「早春賦」 一度全員でメロディを歌うことによって、各パートの縦の線が揃いやすくなった。

2) 「Muss i denn」に改めて取り組んだ。永年歌い続け、慣れから来る風化(語尾の子音の欠落、語尾・語頭を適当につなげるリエゾン現象などで丸くなってしまったドイツ語)にメスが入った。

5. その他

1) 11月13日(日)の東京都男声合唱フェスティバルでの演奏曲が次の通り決定。日本抒情歌曲集より「叱られて」& 「Muss i denn」

2) 「永訣の朝」及び「日本抒情歌曲集&コーラスアルバム抜粋曲」の練習用CDが完成。各団員に配布済み。

6. 次回練習について

1) 日時・場所：9月24日(土)14:00より 於 経沢氏宅

2) 練習曲： 「永訣の朝」の他 「叱られて」「Muss i denn」?

報告者 木戸 啓喜

年月日：2011・8・27(土)

1、場所：新宿村スタジオ 16st

2、時間：14:00～16:30

3、出席者

指揮：甲和 ピアニスト：坂田

T I：大野 関本 T II：宇野 仮谷川 富田

B I：奥村 藤村 淵山 B II：奥戸 木戸 待山 山辺 14名

4、練習曲

前回同様 「叱られて 早春賦 浜辺の歌」 コーラス・アルバム

より「どんぐりころころ」 のおさらいと譜読み

前回と今回練習した6曲から、今後は5曲に絞りたいとの指揮者の弁

5、次回練習

9月10日(土) 14:00～ 於 新宿村スタジオ S館 25st

年月日：2011・8・13日(土)

1、場所：経沢宅

2、時間：14:00～16:30

3、出席者

指揮：甲和 ピアニスト：坂田

T I：大野 関本 村田 T II：江守 仮谷川 北村 経沢 富田

B I：藤村 淵山 B II：奥戸 木戸 待山 以上 15名

4、練習曲

林 光「日本抒情歌曲集」より 「浜辺の歌 叱られて 早春賦」

増田 順平「コーラス・アルバム」より 「どじょっこふなっこ

ずいずいずっころばし」

以上 5曲を早足の譜読みで一通り通した。

5、特記事項

江守茂和氏(67年入学)が入団 (T IIは勢力拡大し、6名となった)

日時：2011・6・25(土) 13:00～17:00

場所：新宿村スタジオ S館-23st

参加者(敬称略)

指揮：萩原

T I：大野 関本 村田 内田

T II：宇野 仮谷川 北村 経沢 富田

B I：奥村 鈴木 藤山 淵山 甲和

B II：奥戸 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容

「花に寄せて」1曲目から7曲目までまず一通り唄った後、各曲ごとに細かく

指導いただいた。指摘・指導事項を順次羅列する。

「たんぽぽ」

- 1、T I 10小節（以下Sと略す）の唄い出し 唐突にならぬよう予め息の流れを作ってから、言葉を発すること
- 2、14、15、16Sの「とんでゆくのを」の唄い方 言葉の流れ つながり
- 3、23Sの「ただ」は軽く「ひとつ」のHの子音をしっかり
- 4、B I 28Sの最後の音 「う」 確かな音程で
- 5、31、32SのHum マルカート気味 対照的に33、34Sはレガートで
- 6、36SのF音浮かないよう Fis音は高めに
- 7、38、39、40Sのテンポの変化 指揮をよく見ること 40Sの2分音符の縦の線揃える（遅れないように）
- 8、52S B Iの8分音符 二つに分けて振る あわてない

「ねこじゃらし」

- 1、全体に爽やかな感じ 少年らしさ 澁刺さ イメージする
- 2、T I、IIの唄い出し 軽い *marcato* を意識して
- 3、12S 24S 8分音符+付点4分音符 レガートでつなぐ
- 4、19S B I、II 促音明確に
- 5、28S~35S B II パートソロ わくわく感 揺れない真っ直ぐな発声で
- 6、36、37、38S B I ことば重点に 「しれない」 滑らないように
- 7、51S~58S B II パートソロ 子音 早めに長めに発声 「ぬ」「く」「と」など8分音符 特に要注意
- 8、64S テンポやや緩める
- 9、91S 92S ディミニエンドとクレッシェンド 文字通り軽く

「しおん」

- 1、唄い出しの「Ho」 やわらかく長めに
- 2、6S 「いらぬ」の音程 B I、T II 正確に T IのHum T IIメロディを明確になぞる
- 3、8、9、10,11、12S T II メロディしっかり 他パートは控えめに
- 4、23S 「ah」は新しい世界の広がりイメージ
- 5、26S T Iメロディ明確に 他パートはクレッシェンド 遅めに掛ける

「つばき・やぶかんぞう・あさがお」

- 1、力強く 深く根を張って 生きるエネルギー ユニゾン唄い方
- 2、12,13,14SのAの音 良く聴きあい揃える
- 3、15S 4拍目「に」 ソフトに
- 4、15,16,17S ことば シャベリ
- 5、13,14S 19,20S 16部音符 アクセント付けない
- 6、21,22S 唄い出しの子音 前に
- 7、24S T II、B IIの促音 明確に
- 8、34S 1拍目「も」の子音 明確に
- 9、37、38S「いつか」「くさが」「かぜに」「ゆれる」言葉のくくり
- 10、16分音符 滑らない
- 11、42、43Sの唄い方 37、38Sよりも強い言葉で（対比的に）
- 12、50、51S 促音明確に 「ぼん」のN音 意識して
- 13、57S 「のぼって」 促音 滑らない あわてない

14、61S クレッシェンド ディミニエンド 忘れずに

15、64、65、66S T I 音程正確に

16、64、65S T II リズム丁寧に

「てっせん・どくだみ」

- 1、ゆったりした2拍子のリズム、タイやスラーで大きなフレーズ感で
- 2、7,8,9S T I、B I メロディ mp でアピール (T II、B II は p)
- 3、11,12S B I のメロディ 明確に(T II、B II 音量押さえ気味で)
- 4、19S からテンポアップ 伴奏を聴いているとコーラスが遅れ、埋没してしまう 打鍵よりも子音の発音・発声を先んじる気持ち
- 5、25、37S B I 出だしの聴こえづらい子音 早めに、長めに
- 6、27,28S 39,40S B I メロディ 明確に
- 7、33S 4パート 出だし音 縦の線 揃える
- 8、44S この1小節で molto rit. 粘っこく 指揮よく見る

「みょうが」

- 1、リズム読みで言葉に慣れること
- 2、16,22S T I 喰いつき 正確に
- 3、25S 3拍目 「ば」 拡がりを持って
- 4、33S T II B I B II 喰いつき 正確に
- 5、27S 1拍目 「ちゃん」 鋭くなく 緩めに
- 6、35S の フェルマータ 長めに (2倍程度延ばす)

「ばら・きく・なずな」

- 1、3拍子の感じではなく 大きく1拍子の流れで
- 2、9、25S T I T II 「はは」 大切に丁寧に 子音の発声要注意
- 3、57S から 文字通り「祈るように」 指揮を良く見ること
- 4、58S 1拍目 「が」 柔らかく収める
- 5、59S 「いちどだけ」 ディミニエンドしながら後ろへ引きずる?
- 6、60S 1拍目の休止符で ブレス 深く
- 7、95,96S テンポやや緩め 2分音符 三つに振り分ける
- 8、97S ゆったりとテンポアップ B II 柔らかく安心感のある唄い方
- 9、106からの「lululu」 レガートで 音程高めに
- 10、115,116S B I 2分音符の動き 明確に

「Gross-Wien」

エキストラによる「Soli」と「Tutti」に区分して、初めて唄った

- 1、Soli から Tutti へのつながり 遅れがち 流れを感じて
- 2、112S から ややテンポアップする
- 3、発音に時間のかかる子音 早めに 前へ
- 4、歌詞を前へ前へと先読み 付点2分音符など伸ばす音を唄っている時
- 5、間違っても振り返らない 見直すひまはない
- 6、390S Tra の子音 充分前もって唄う
- 7、最後の音 楽譜よりさらに 3小節+2拍 伸ばす

以上 自分の楽譜のメモ書きから、気づいたことを羅列しましたが、趣旨を良く理解せぬまま、誤った理解をしているところもあるかも知れません。

次回練習

7月9日(土) 14:00~17:00 (延長もありうる) 於 経沢氏宅

「月下の一群」他 6月19日と25日の練習の復習

日時：2011・6・19 14:00~17:00

場所：新宿村スタジオ S館-23st

参加者(敬称略)

指揮：三木先生

TI：大野 関本 村田 (内田)

TII：宇野 仮谷川 北村 経沢 富田

BI：奥村 鈴木 藤山 湊山 甲和

BII：奥戸 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容「The Sound of Music」から1曲目から順次 細か指導を受け、最後に全曲通した。
各曲の主な指摘、指導事項を羅列する。

「The Sound of Music」

- 1、爽やかな2部合唱 美しい緑の野山、小鳥の飛翔 等をイメージする
- 2、1~18小節 (以下Sと略す) までの同じ音が続くところ、音程が下がり気味 (レガートで唄ってしっかり保つ)
- 3、各パートともオブリガードで唄う部分 抜かないでクリアーに (例えば 32SのBI 42SのTI・TII 51S~61SのTI)
- 4、46S 4拍目から力を感じさせる唄い方 49Sからcrescで盛り上げ
- 5、慣れない言葉 ためらい 発音遅れ テンポだれがち

「Do-Re-Mi」

- 1、子供の楽しさを表現すること
- 2、2S~26S TI、IIのしゃべり 滑らないように レガートで唄う
- 3、10~12S の(spoken) ハイトーンで
- 4、BI,IIの19、20Sは疑問・覚束なさ 29、30Sは確信して「分かった」
- 5、6、22S 付点をカット 8分休符を追加
- 6、Deer の発音要注意 「ディール」ではなく「ディーア」の感じ
- 7、52Sからのテナーのパートソロ 元気良く 長い音をしっかり保つ
- 8、66、67S アクセント明確に
- 9、100~114S各パート 4分音符 刻んでテンポを明確に表現する
- 10、120~131S TI、BIIはレガートで TII、BIは対照的に軽快に
- 11、187S 2拍目の前 ブレス 2拍目はややテヌート気味に

「Edelweiss」

- 1、男声合唱らしい豊かな響き、ハーモニーで（5曲目も同じ）
- 2、p mpで唄う際 声が内にこもってしまう もっと息を前に出す
- 3、キーになる言葉の重み 例えば Morning Greet Clean Bright など出だしの子音+母音 意識して
- 4、68S molt rit.

「The Lonely Goatherd」

- 1、楽しんで唄ってほしい
- 2、11、15S オクターブ上がる部分レガートで（他のパートも同じ）
- 3、20～27S O-ho は力強く 残り部分は軽快にリズムを刻む（43～50S 60～67S も同じ）
- 4、前半に繰り返しフレーズの最後に出てくる「heard」「herd」の語尾を唄い収めると合唱が締まる
- 5、54 58 59S BII 2拍と4拍の音きちんと唄い切る

「Climb Ev' ry Mountain」

- 1、1番の山 2番はさらに高い山 を目指すイメージ
- 2、20～22S 前半は徐々に盛り上げ後半は少し落ち着いたところで cresc（39～42S も同じ）
- 3、50 56S やや前向きテンポで唄い 57S の頭で切る
- 4、3曲目と同様 男声合唱らしい豊かな響き、ハーモニーが欲しい

次回練習

- 1、6月25日(土) 13:00～17:00 於新宿村スタジオ S館-23st
- 2、萩原先生による特別練習 「花に寄せて」「Gross-Wien」

以上 報告者 木戸

日時：2011・6・11 14:00～17:00

場所：経沢氏宅

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：大野 関本 村田

TII：宇野 仮谷川 北村 経沢 富田

BI：奥村 鈴木 藤山 淵山

BII：奥戸 木戸 待山 山邊 (堀)

ピアノ：坂田

練習内容

1. サウンド オブ ミュージックの1曲目から5曲目まで順次おさらい。
言葉がなかなかついて来ない。子音の発音、発声の遅れを何度も指摘された。自主練習での唄いこみが不可欠。
2. 「月下の一群」から4曲目、5曲目をさらった。唄い出しの準備遅れとフレーズをレガートで唄うよう何度か指摘された。

次回練習

1. 日時：6月18日(土) 14:00～17:00 於新宿文化村 23スタジオ
2. 練習曲：「花に寄せて」「Gross Wien」「The Sound of Music」

以上 報告者 木戸

日時：2011・5・28 14:00～17:00

場所：経沢氏宅

参加者(敬称略) 全員出席

指揮：甲和

TI：大野 関本 村田

TII：宇野 仮谷川 北村 経沢 富田

BI：奥村 鈴木 藤山 淵山

BII：奥戸 木戸 待山 山邊

ピアノ：坂田

練習内容 「月下の一群」より

1. 「輪踊り」「人の言うことを信じるな」を最初はスローテンポでリズム・音程を確認した後 ノーマルテンポで唄った。
2. 「海よ」「秋の歌」を通して唄ったが、繰り返し指摘されたのはフレーズをレガートで唄うこと
3. 最後に「小曲」をさらった

次回練習

1. 日時・場所： 6月11日(土) 14:00～17:00 経沢氏宅
2. 練習曲：「サウンド オブ ミュージック」と「月下の一群」

以上 報告者 木戸

日時：2011・5・14 14:00～17:00

場所：経沢氏宅

参加者(敬称略)

指揮：甲和

TI：大野 関本 村田

TII：宇野 仮谷川 北村 経沢 富田

BI：奥村 鈴木 藤山 淵山

BII：奥戸 木戸 山邊 (堀)

ピアノ：坂田

練習内容

1. 「Gross-Wien」 ワルツIVの歌詞読み2回した後 メロディをつけ通したその後 ワルツIII II Iの順でさらい 最後に全曲 通した
2. 「美しく青きドナウ」を全曲通した後 ワルツII IIIを集中練習
3. 「花に寄せて」から VII VI Iを集中練習

次回練習

1、日時 場所 2011・5・28 14:00～ 於 経沢氏宅

2、練習曲 「月下の一群」全曲

特記事項

前回報告した萩原先生による特別練習日の時間を一部訂正します。

6月25日(土) 「14:00～18:00」は間違い 「13:00～17:00」が正しい
お詫びかたがた訂正いたします。 以上

報告者 木戸

日時：2011・4・30 14:00～17:00

場所：新宿文化村 S-20 スタディオ

参加者（敬称略）

指揮 甲和

TI：大野 村田

TII：宇野 仮谷川 富田

BI：奥村 鈴木 瀧山

BII：奥戸 木戸 待山 山邊

計 13名

ピアノ 坂田

練習内容

「Sound of Music」から No 4、5、3、2、1の順で全曲さらった
「Gross-Wien」のワルツ(企)7歌詞付けを行った後 ワルツ(特A監A(企)へ
歌詞をつけ、ワルツ(協)へ母音で全曲通した。

特記事項

1、演奏会のチケットとチラシの配布を開始した

(本日のチケット配布枚数 東京公演用 390枚 大阪公演用 74枚)

2、三木先生 萩原先生による特別練習日程、場所決定

三木先生：6月19日(日) 14:00～17:00 新宿文化村 S-23 スタディオ

萩原先生：6月25日(土) 14:00～18:00 同上

3、次回練習予定：5月14日(土) 14:00～17:00 於 経沢氏宅

「Gross-Wien」のワルツ(協)7歌詞付け 「花に寄せて」から
No1 2 6 7 及び 「美しく青きドナウ」の通しの練習となります。

以上 報告者 木戸 啓喜

2011年4月23日(土) 14:00～16:30 於 経沢氏宅

指揮:甲和

TI：大野 関本 村田

TII：仮谷川 北村 経沢 富田

BI：奥村 鈴木 瀧山 藤村

BII：奥戸 待山 木戸

以上 15名

ピアノ：坂田百合子さん

練習曲：「花に寄せて」から②～⑦ 及び ①の順で全曲をさらった

次回練習は

日時：4月30日(土) 14:00～17:00

場所：新宿文化村 S-20 スタジオ

練習曲：「Gross-Wien」及び「Sound of Music」

2011年3月

前回の練習は、3月12日(土)の予定でしたが、大震災直後の交通混乱などで中止しております。

2011年3月26日(土) 14:00～16:40 新宿村スタジオ 23S

指揮：甲和

T I：大野 関本 村田

T II：北村 仮谷川 富田

B I：奥村 鈴木 澁山

B II：待山 山邊 木戸

以上13名参加

ピアノ：坂田 百合子さん

練習曲：The Sound of Music から

(3) Edelweiss (4) The Lonely Goatherd (5) Climb Ev'ry Mountain

の譜読み及び歌詞付け 一通り 終了

Gross Wien のワルツ I～IVの譜読みとワルツ I の歌詞付け

次回練習は 4月9日(土) 14:00～17:00 経沢さん宅 にて

練習曲 Gross Wien のワルツ II、III、IVの歌詞付け及び「月下の一群」

木戸

2011年2月26日(土) 午後2時～午後5時 新宿村スタジオ 23S

(C)甲和

(T1)村田

(T2)仮谷川、北村、経澤、富田、

(B1)奥村、鈴木、藤山、淵山

(B2)奥戸、木戸、服部、待山、山邊

以上15名 ピアノ 坂田百合子さん

練習した曲

1. Gross-Wien (367小節まで)

『The Sound of Music』から

2. The Sound of Music

3. Do-Re-Mi

来週の練習は3月12日(土)14時から経澤氏書斎です。

「月下の一群」を練習します。

2011年2月26日(土)午後2時~午後5時 新宿村スタジオ 23S

(C)甲和

(T1)村田

(T2)仮谷川、北村、経澤、富田、

(B1)奥村、鈴木、藤山、淵山

(B2)奥戸、木戸、服部、待山、山邊

以上15名 ピアノ 坂田百合子さん

練習した曲

1. グロス ウィーン (367小節まで)

『The Sound of Music』から

2. The Sound of Music

3. Do-Re-Mi

来週の練習は3月12日(土)14時から経澤氏書斎です。

「月下の一群」を練習します。

2011年2月12日(土)午後2時~午後5時 新宿村スタジオ 23S

(C)甲和

(T1)大野、村田

(T2)宇野、仮谷川、子安、富田、

(B1)奥村、鈴木、藤山、淵山

(B2)木戸、服部、待山、山邊

以上15名 ピアノ 坂田百合子さん

練習した曲

『花に寄せて』から練習の順番で:

Ⅲ しおん

Ⅱ ねこじゃらし

V てっせん・どくだみ

VII ばら・きく・なずな

Ⅳ つばき・やぶかんぞう・あさがお

Ⅵ みょうが

I たんぽぽ

次回の練習は2月26日(土)午後2時から5時まで、今回と同じの新宿村スタジオ S23です。

「Gross-Wien」と「The Sound of Music」、「Do-Re-Mi」の楽譜をご持参ください。

私事ですが、服部は3月中旬に神戸へ転居いたします。

東京支部の皆様には大変お世話になりました。

有難うございました。

2011年1月22日(土)午後2時—午後5時 新宿村スタジオ 23S

(C)甲和

(T1)内田、大野、関本、村田

(T2)宇野、北村、子安、富田、

(B1)鈴木、野中、藤山、淵山

(B2)奥戸、木戸、服部、待山、山邊

以上18名 ピアノ 坂田百合子さん

練習した曲

『花に寄せて』から練習の順番で：

VI みょうが

I たんぽぽ

VII ばら・きく・なずな

次回の練習は2月12日(土)午後2時から5時まで、今回と同じの新宿村スタジオ 23Sです。

『花に寄せて』全曲をさらえる予定です。

練習後、東京支部の新年会を行いました。

本部から子安常任委員が出席してくださいました。

野中さんから「お江戸コラリアーズ」、The Copenhagen Chamber Choir 「CAMERATA」、ヴォーカルアンサンブル ヴィクトリア のジョイントコンサートの紹介がありました。

2月6日(日)14:00開演 第一生命ホールです。

2011年1月8日(土)午後2時—午後5時 新宿村スタジオ 23S

(C)甲和

(T1)大野、関本、村田

(T2)宇野、仮谷川、北村、経澤、富田、

(B1)奥村、鈴木、藤山、淵山

(B2)奥戸、木戸、服部、待山、山邊

以上18名 ピアノ 坂田百合子さん

本年最初の練習です。

練習した曲

『花に寄せて』から 練習の順番に：

V てっせん・どくだみ

IV つばき・やぶかんぞう・あさがお

II ねこじゃらし

VI みょうが

次の練習は1月22日（土）午後2時から5時までです。

場所は8日と同じ新宿村スタジオ 23Sです。

2010年（降順）

2010年12月25日（土）午後2時—午後4時30分 経澤氏書齋

(C)甲和

(T1)大野、関本、村田

(T2)宇野、仮谷川、北村、経澤、富田、

(B1)奥村、鈴木、藤山、淵山

(B2)奥戸、木戸、服部、待山、山邊

以上18名 ピアノ 坂田百合子さん

今年最後の練習です。練習後、桂先輩を偲んで Mussi denn を歌いました。

練習した曲

『花に寄せて』から

I たんぽぽ

II ねこじゃらし

III つばき、やぶかんぞう、あさがお

来年1月と2月の練習は、以下の通りです。

1. 場所 すべて新宿村スタジオ S23 です。お間違いないよう。

1. 日時

1月8日（土）午後2時—5時

22日（土）午後2時—5時 練習後OB会東京支部新年会

2月12日（土）午後2時—5時

26日（土）午後2時—5時

良いお年をお迎えください。

2010年12月11日（土）午後2時—午後4時30分 経澤氏書齋

(C)甲和

(T1)関本、村田

(T2)宇野、仮谷川

(B1)奥村、鈴木、藤山、淵山

(B2)奥戸、木戸、服部、山邊

以上 13 名 ピアノ 坂田百合子さん

練習した曲

『The Sopund of Music』から

・「The Sound of Music」

・「Do-Re-Mi」

『花に寄せて』から

・ I 「たんぼぼ」

・ III 「しおん」

次の練習は 12 月 25 日（土）午後 2 時から経澤氏書斎です。

練習曲は『花に寄せて』から II 「ねこじゃらし」、IV 「つばき・やぶかんぞう・あさがお」を予定しています。

V 「てっせん・どくだみ」まで進むかもしれません。

2010 年 27 日（土）午後 2 時—午後 4 時 30 分 経澤氏書斎

(C)甲和

(T1)関本

(T2)仮谷川、北村、富田

(B1)奥村、鈴木、藤山、淵山

(B2)奥戸、木戸、服部、待山、山邊

以上 14 名 ピアノ 坂田百合子さん

練習した曲

* 『The Sound of Music』から「The Sound of Music」

* 『花に寄せて』から「I たんぼぼ」

次の練習は 1 2 月 1 1 日（土）午後 2 時から経澤氏書斎です。

練習曲は『The Sound of Music』から「Do-Re-Mi」及び『花に寄せて』から「III しおん」です。

予習をお願いします。

2010 年 11 月 20 日（土）午後 2 時—午後 4 時 45 分 新宿村スタジオ S 2 3

(C)甲和

(T1)内田、大野、関本、花田、村田

(T2)宇野、岡部、仮谷川、北村、富田

(B1)奥村、清田、鈴木、藤山、淵山、堀（正）

(B2)奥戸、木戸、服部、堀（良）、待山、山邊

以上 23 名 ピアノ 坂田百合子さん

練習した曲

「月下の一群」から

Ⅱ. 輪踊り

Ⅲ. 人の言うことを信じるな

12月23日（火・祝）のスケジュールは以下の通りです。

昼食は各自で摂ってください。

*正午（12時）から午後1時 ピアノアートサロンで直前練習

ピアノアートサロン 中央区月島3-32-1

ユニハイツ勝どき1階

電話 03-3533-8963

最寄駅 地下鉄大江戸線「勝どき」駅

*午後2時52分 集合

*午後3時20分-27分 男声合唱フェスティバルに出演

*午後3時40分 解散

男声フェスティバルの後の練習は11月27日（土）午後2時から経澤氏書斎です。

2010年11月13日（土）午後2時-午後4時30分 経澤氏書斎

(C)甲和

(T1)大野、関本、花田、村田

(T2)宇野、仮谷川、北村、経澤、富田

(B1)奥村、清田、鈴木、藤山、淵山、堀（正）

(B2)奥戸、木戸、服部、堀（良）、待山、山邊

以上22名 ピアノ 坂田百合子さん

練習した曲

「月下の一群」から

Ⅱ. 輪踊り

Ⅲ. 人の言うことを信じるな

次の練習は11月20日（土）午後2時から4時30分まで

新宿村スタジオS23です。

「月下の一群」の楽譜をご持参ください。

2010年10月30日（土）午後2時 - 午後4時30分 新宿村スタジオ S24

(C) 甲和

(T1) 関本、村田、花田

(T2) 仮谷川、北村、宇野、富田、岡部

(B1) 渕山、藤山、奥村、清田
(B2) 待山、木戸、奥戸、山邊、大江、堀 (良)
以上 19 名 ピアノ 坂田百合子さん

練習した曲

「月下の一群」から

- Ⅲ. 人の言うことを信じるな
- Ⅱ. 輪踊り
- V. 秋の歌
- I. 小曲

次の練習は 11 月 13 日 (土) 午後 2 時から経澤宅です。

「月下の一群」、The Sound of Music, Do-Re-Mi の楽譜を持参ください。

男声合唱フェスティバルまでの練習予定

- 11 月 13 日 (土) 14:00-16:30 経澤宅
- 11 月 20 日 (土) 14:00-16:30 新宿村スタジオ
- 11 月 23 日 (火) 12:00-13:00 ピアノアートサロン (勝どき)
- 15:20-15:27 男声合唱フェスティバル出演 at 浜離宮朝日ホール
- (14:52 集合、15:40 解散)

甲和伸樹

2010 年 10 月 23 日 (土) 午後 2 時—午後 4 時 30 分 経澤氏書斎

(C)甲和
(T1)大野、村田、花田
(T2)仮谷川、北村、経澤、宇野、富田、岡部
(B1)奥村、鈴木、堀 (正)、清田、
(B2)待山、木戸、山邊、大江、堀 (良)
以上 19 名 ピアノ 坂田百合子さん

練習した曲

「月下の一群」から

- I. 小曲
- Ⅱ. 輪踊り
- Ⅲ. 人の言うことを信じるな
- Ⅳ. 海よ
- V. 秋の歌

次の練習は 10 月 30 日 (土) 午後 2 時から新宿村スタジオ S24 スタジオです。

「月下の一群」、The Sound of Music, Do-Re-Mi の楽譜を持参ください。

甲和伸樹

2010年10月9日(土) 午後2時—午後4時30分 経澤氏書齋

(C)甲和

(T1)内田、大野、関本、花田、村田

(T2)宇野、岡部、仮谷川、北村、経澤、富田

(B1)清田、鈴木、藤山、淵山、

(B2)大江、奥戸、木戸、服部、堀(良)、待山、

以上 22名 ピアノ 坂田百合子さん

練習した曲

「月下の一群」から

I. 小曲

II. 輪踊り

III. 人の言うことを信じるな

IV. 海よ

V. 秋の歌

次の練習は10月23日(土) 午後2時から経澤氏書齋です。

「月下の一群」、The Sound of Music, Do-Re-Mi の楽譜を持参ください。

2010年9月25日(土) 午後2時—午後4時30分 経澤氏書齋

(C)甲和

(T1)花田、村田

(T2)宇野、岡部、仮谷川、北村、経澤、富田

(B1)奥村、清田、鈴木、淵山、堀(正)

(B2)服部、堀(良)、待山、山邊

以上 18名 ピアノ 坂田百合子さん

練習した曲

「月下の一群」から

II. 輪踊り

III. 人の言うことを信じるな

IV. 海よ

次回の練習は10月9日(土) 午後2時から経澤氏書齋です。

「月下の一群」と「Sound of Music」の楽譜を持参ください。

訂正

8月29日付及び9月13日付メールで、10月30日(土)及び11月20日(土)の新宿村スタジオでの練習時間

を午後 3 時から 6 時までと書きましたが、正しくは午後 2 時から午後 5 時までです。

東京では 8 月末からは、11 月の東京男声合唱フェスティバルに向けての練習を中心に行なっておりますが、今年 6 名が期間限定にて練習に参加いただくこととなりました。

全員が男声合唱フェスティバルに出演できるかどうかについては未定ですが、全員出演であれば T1:4 名、T2:6 名、B1:6 名、B2:7 名の計 23 名となる見込みです。

甲和 伸樹

2010 年 9 月 11 日 (土) 14 時—16 時 30 分 経澤氏書斎

(C)甲和

(T1)大野、関本、花田、村田

(T2)宇野、岡部、仮谷川、経澤、富田

(B1)奥村、清田、藤山、淵山、堀

(B2)大江、奥戸、服部、待山、山邊

以上 20 名 ピアノ 坂田百合子さん

練習した曲

「月下の一群」から

I. 小曲

II. 輪踊り

III. 人の言うことを信じるな

V. 秋の歌

次回は「月下の一群」から「III. 人の言うことを信じるな」の復習と「IV. 海よ」の譜読みを中心に練習します。

10 月 30 日と 11 月 20 日の練習は以下の通りに決りました。

*10 月 30 日(土) 午後 3 時から 18 時まで S 館 24 号室

*11 月 20 日(土) 午後 3 時から 18 時まで S 館 23 号室

2010 年 8 月 28 日 (土) 14 時—16 時 30 分 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、関本、村田 (T2)宇野、岡部、仮谷川、北村、経澤、富田

(B1)奥村、藤山、堀 (B2)大江、奥戸、木戸、服部、待山、山邊

以上 19 名 ピアノ 坂田百合子さん

練習した曲 「月下の一群」から

I. 小曲

II. 輪踊り

V. 秋の歌

次回の練習は「月下の一群」Ⅲ. 人の言うことをしんじるな、を中心に練習する予定です。

今後の練習予定

9月 11日(土)、25日(土) いずれも午後2時から 経澤氏書斎

10月 9日(土)、23日(土) いずれも午後2時から 経澤氏書斎

30日(土) 午後3時から 新宿村スタジオ予定(確定次第連絡します)

11月 13日(土) 午後2時から 経澤氏書斎

20日(土) 午後3時から 新宿村スタジオ予定(確定次第連絡します)

2010年7月24日(土) 14時-17時 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、関本、村田 (T2)宇野、北村、経澤、富田

(B1)奥村、鈴木、淵山 (B2)奥戸、木戸、服部、待山、山邊

以上16名 ピアノ 坂田百合子さん

練習した曲

1. 山田耕筰作品集
2. 学生王子
3. 方舟

次の練習は8月28日(土) 経澤氏書斎です。

2010年7月10日(土) 14時-17時 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、関本、村田 (T2)宇野、仮谷川、北村、経澤、富田

(B1)奥村、鈴木、藤山、淵山 (B2)奥戸、木戸、服部、待山、山邊

以上18名 ピアノ 坂田百合子さん

練習した曲

・「山田耕筰作品集」から

4. あわて床屋

6. 砂山

12. すかんぼの咲くころ

14. かやの木山の

19. 待ちぼうけ

・ NEU-WIEN

・ 「The Student Prince」から

6. Student March Song

・ An der schoenen blauen Donau

・ 斉太郎節

・ Staendchen

・ Muss i denn

・ 「方舟」から

4. 方舟

*次の練習は7月18日(日)東京前日練習です。

18時から21時まで新大久保の辻音楽事務所第一です。

服部さんがお休みのため、代理で報告いたします。

2010年7月3日(土) 14時 - 17時 新宿村スタジオ 第4スタジオ

(C) 甲和 (T1)大野、関本、村田 (T2)仮谷川、北村、経澤、宇野、富田

(B1)奥村、淵山、藤山、鈴木 (B2)奥戸、木戸、待山

以上16名 ピアノ 坂田百合子さん

練習曲

「方舟」より

2. 木馬

1. 水底吹笛

3. 夏のおもひに

4. 方舟

「The Student Prince」より

4. Student Life

1. Golden Days

2. Drinking Song

3. Deep In My Heart, Dear

5. Serenade

「斎太郎節」

次回以降の予定は以下となります。

・東京練習：7月10日(土) 14:00～17:00 経澤氏書斎

全ステージ分

シュトラウスが中心になると思います。

・前日合同練習：7月18日(日) 18:00～21:00 辻音・第1スタジオ(土屋ビル4F)

全ステージ分

・東京演奏会：7月19日(月) 11:00～練習 14:00 開演

・東京練習：7月24日(土) 14:00～17:00 経澤氏書斎

練習内容は東京演奏会の結果により決めさせていただきます。

・大阪演奏会：7月31日(土) 10:00～練習 14:00 開演

・瀬戸演奏会：8月8日(土) 11:00～練習 14:00 開演

8月度の東京練習日程に関しては未定ですが、8月21日(土)か8月28日(土)の一回のみの開催となると思います。

以上

服部さんがお休みのため、待山さんに代理でご報告いただきました。

2010年6月27日(日) 14時 - 17時 新宿村スタジオ S23 スタジオ

指揮 三木先生 ピアノ 坂田百合子さん

(T1)内田、大野、関本、村田 (T2)仮谷川、北村、経澤、宇野、富田

(B1)奥村、淵山、藤山、鈴木 (B2)奥戸、木戸、待山、山邊

以上 17名

練習曲 山田耕筰作品集から

あわて床屋

砂山

すかんぼの咲くころ

かやの木山の

待ちぼうけ

以上5曲、時間をかけて練習をした。

終了後三木先生を囲んで有意義なひと時を過ごした。

服部さんお休みのため甲和が代理報告いたします。

27日(日)三木先生来京練習分に関しては、甲和も欠席のため、どなたか、代理でのご報告をお願いいたします。

2010年6月26日(土) 14時 - 16時45分 経澤氏書斎

(C) 甲和 (T1)内田、大野、関本、村田 (T2)仮谷川、北村、経澤、宇野、富田

(B1)奥村、淵山、藤山 (B2)奥戸、木戸、待山、山邊

以上 17名 ピアノ 坂田百合子さん

練習した曲

「山田耕筰作品集」

砂山

あわて床屋

すかんぼの咲くころ

かやの木山の

待ちぼうけ

「方舟」

4. 方舟

1. 水底吹笛

次回以降の定演までの練習予定は以下のように確定いたしました。

- ・ 6月27日(日) 14:00～17:00 新宿村スタジオ S23 スタジオ
三木先生来京：山田耕筰
- ・ 7月3日(土) 14:00～17:00 新宿村スタジオ 4 スタジオ
「方舟」・「学生王子」・ アンコール曲
- ・ 7月10日(土) 14:00～17:00 経澤氏書斎
全ステージ分

以 上

服部さんお休みのため甲和が代理報告いたします。

2010年6月13日(日) 14時 - 18時 新宿村スタジオ S23 スタジオ

指揮 萩原先生 ピアノ 坂田百合子さん

(T1)内田、大野、関本 (T2)仮谷川、北村、経澤、宇野、富田 (B1)奥村、淵山、藤山、鈴木、甲和
(B2)奥戸、木戸、待山、山邊 以上17名+ 堀 (定演フロントマネージャ)

練習した曲

「方舟から」

1. 水底吹笛
2. 木馬
3. 夏のおもひに
4. 方舟

「NEU-WIEN」

大阪から萩原先生に来ていただき4時間にわたって、「方舟」及び「NEU-WIEN」の練習をみっちりとしていただきました。

本来なら定演まで一ヶ月余りを残すだけとなった現時点は、本番指揮者による仕上げの段階に来ないといけないのですが、「方舟」に関しては、まだまださらなる研鑽の必要があることを認識する場となりました。

なお、練習終了後に、日曜定休日の店を借り切り萩原先生を交えての懇親会を催し、大いに歓談盛り上がりしました。

次回以降の定演までの練習予定は、

- ・ 6月26日(土) 14:00～17:00 経澤氏書斎 「山田耕筰」 (楽譜は全ステージ分お持ちください)
- ・ 6月27日(日) 14:00～17:00 新宿村スタジオ S23 スタジオ 三木先生来京：山田耕筰
- ・ 7月10日(土) 14:00～17:00 経澤氏書斎 全ステージ分

が確定しております。

6月13日(日)の練習時にメンバー各位から7月3日(土)の追加練習開催の要望が多くあり、これに関しては指揮者(甲和)のスケジュール調整中となっております。

以 上

2010年6月12日(土) 14時-17時 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)内田、大野、関本 (T2)仮谷川、北村、経澤、富田(B1)奥村、淵山、藤山、
(B2)奥戸、木戸、服部、待山、山邊 以上 16名 ピアノ 坂田百合子さん

練習した曲 「方舟から」

1. 水底吹笛
2. 木馬
3. 夏のおもひに
4. 方舟

次の練習は6月13日(日) 14時から18時 新宿村スタジオ No. S23。

萩原先生による練習で、曲目は「方舟」、「Neu-Wien」、「Donau」。

S館への道が工事のため変更になっていますのでご注意ください。本館と事務所の前の道をそのまま進んで一旦通り過ぎ、迂回してS館玄関へ行って下さい。

練習後懇談会を開きます。奮ってご参加くださいますよう。

2010年5月29日(土) 14時-17時 新宿村スタジオ No.4

(C)甲和 (T1)大野、関本、村田 (T2)宇野、仮谷川、北村、富田
(B1)奥村、淵山、藤山、(B2)奥戸、木戸、服部、山邊
以上 15名 ピアノ 坂田百合子さん

練習した曲

*学生王子」から

1. Golden Days
 2. Drinking Song
 3. Deep in My Heart Dear
 4. Student Life
 5. Serenade
- *NEU-WIEN
*An der schoenen blauen Donau

次の練習は6月12日(土) 14時から経澤氏書斎です。

「方舟」を練習します。

2010年5月22日(土) 14時-17時 新宿村スタジオ No.39

(C)大野 (T1)村田 (T2)宇野、仮谷川、北村、富田(B1)奥村、鈴木、淵山、藤山、
(B2)木戸、服部、待山、山邊 以上 14名

練習した曲

「NEU-WIEN」 Walzer 3 & Walzer 4 及び 1 & 2 の復習

*定期演奏会の切符とチラシを団員に配布しました。

*次の練習は5月29日(土)午後2時から新宿村スタジオ No.4 です。

甲和さん：

29日の練習曲は5月22日に練習予定だった「学生王子」「Donau」と元々29日練習予定の「方舟」の3曲と解してよろしいでしょうか？

2010年4月24日(土) 14時-16時30分 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、関本 (T2)宇野、北村、富田、(B1)奥村、淵山、藤山、鈴木
(B2)木戸、服部、待山、山邊 以上14名 ピアノ坂田百合子さん

練習した曲

NEU-WIEN

次の練習は5月8日(土)午後2時から経澤氏書斎です。

「NEU-WIEN」と「方舟」を練習します。

2010年4月10日(土) 14時-16時30分 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、村田 (T2)宇野、仮谷川、北村、富田、経澤 (B1)奥村、淵山、堀
(B2)奥戸、木戸、服部、待山、山邊 以上16名 ピアノ坂田百合子さん

練習した曲

*「コーラス・アルバム」から

12. すかんぼの咲くころ

14. かやの木山の

19. 待ちぼうけ

6. 砂山

4. あわて床屋

*「The Student Prince」から

4. Student Life

3. Deep in My Heart Dear

5. Serenade

次の練習は4月24日(土)午後2時から経澤氏書斎で。

NEU-WIENを練習します。歌詞を読んでおいてください。

2010年3月20日(土) 14時-16時40分 新宿村スタジオ No.15

(C)甲和 (T1)関本、村田 (T2)宇野、仮谷川、北村、富田、(B1)奥村、鈴木、藤山、
(B2)木戸、服部、待山、山邊
以上14名 ピアノ坂田百合子さん

練習した曲

* 「The Student Prince」から

1. Golden Days
2. Drinking Song
4. Student Life

* 「美しく青きドナウ」

次の練習は4月10日(土) 14時から経澤氏書斎です。

「The Student Prince」と「コーラス・アルバム」山田耕筰作品を
練習します。

2010年3月13日(土) 14時-14時30分 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)関本、(T2)仮谷川、北村、経澤、富田、(B1)奥村、鈴木、藤山、淵山、
(B2)奥戸、木戸、服部、待山、山邊
以上15名 ピアノ坂田百合子さん

練習した曲 「方舟」から

- III. 夏のおもひに
- IV. 方舟

次の練習は3月20日(土) 14時-17時、新宿村スタジオ No.15 で行います。お間違いないようご参集ください。

「The Student Prince」と「美しく青きドナウ」を予定しています。

なお、3月27日(土)の練習は都合により取りやめます。

2010年2月20日(土) 14時-17時 新宿村スタジオ No.15

(C)甲和 (T1)関本、村田 (T2)仮谷川、北村、富田、(B1)奥村、鈴木、藤山、淵山、
(B2)奥戸、木戸、服部、待山、山邊 以上15名 ピアノ坂田百合子さん

練習した曲

「NEU-WIEN」全曲 音取り

次の練習は3月13日(土) 14時から経澤氏書斎です。

その後は3月20日(土) 14時-17時、新宿村スタジオ No.15 です。ご予約ください。

2010年2月13日(土) 14時-17時 新宿村スタジオNo. 39

(C)甲和 (T1)大野、村田 (T2)仮谷川、北村、富田、(B1)奥村、鈴木、藤山、淵山、
(B2)木戸、服部、待山、山邊 以上14名 ピアノ坂田百合子さん

練習した曲

「方舟」から

Ⅲ. 夏のおもひに

Ⅱ. 木馬

Ⅰ. 水底吹笛

次の練習は2月20日(土) 14時-17時、新宿村スタジオNo.15です。

「NEU-WIEN」と「方舟」全曲の楽譜を持参ください。

2010年1月16日(土) 14時-16時30分 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、村田 (T2)宇野、仮谷川、子安、経澤、富田、(B1)奥村、鈴木、藤山、淵山、
(B2)奥戸、木戸、服部、待山、山邊 以上17名 ピアノ坂田百合子さん

練習した曲

木下牧子「方舟」から

Ⅰ. 水底吹笛

Ⅳ. 方舟

*練習後、新年会を行いました。本部から子安さんが来てくださいました。

参加者合計29名。盛況でした。

*次の練習日は1月30日(土)です。会場と時間はまだ決まっていません。

決まり次第ご連絡します。

「方舟」全曲(水底吹笛、木馬、夏のおもひに、方舟)と「コーラス・

アルバム 第一部 山田耕筰作品集」の楽譜をお持ちください。

*2月からの練習日は従来通り第2、第4土曜日午後2時からとなります。

2009年(降順)

2009年12月26日(土) 14時-17時 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、関本、村田 (T2)宇野、仮谷川、北村、経澤、富田、
(B1)奥村、鈴木、藤山、淵山、(B2)奥戸、服部、待山 以上16名 ピアノ坂田百合子さん

練習した曲

木下牧子「方舟」から

Ⅳ. 方舟 74小節まで

Ⅰ. 水底吹笛 全部

*次の練習は1月16日(土)です。会場と時間は決り次第ご連絡します。

練習が終わった後「のうすらんど」へ新年会に出かけます。

*その次の練習は1月30日(土)です。これも練習会場と時間が決り次第ご連絡申し上げます。1月は第3週と第5週という奇数週が練習日になります。

2月以降は従来通り偶数週の土曜日の午後2時からの練習になります。

皆様良いお年を

2009年12月12日(土) 14時-15時30分 経澤氏書斎

あと、「大阪大学卒業生の集い IN 東京」に出演のため、学士会館へ移動。

(C)甲和 (T1)大野、花田、村田 (T2)宇野、仮谷川、北村、経澤、富田、

(B1)奥村、鈴木、藤山、淵山、堀 (B2)奥戸、木戸、服部、待山 以上18名 ピアノ坂田百合子さん

練習した曲

大阪大学学生歌

Student March Song (The Student Prince から)

Muss i denn

Staendchen

Freie Kunst

以上本日の演奏予定曲です。

甲和さんの出演報告を参照ください。

次の練習は12月26日(土) 14時から経澤氏書斎です。

今年最後の練習です。「方舟」を練習します。

2009年11月28日(土) 14時-17時 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、村田 (T2)仮谷川、北村、経澤、富田、(B1)奥村、鈴木、堀、淵山

(B2)奥戸、木戸、待山 以上14名 ピアノ坂田さん

練習した曲

「The Student Prince」から

1. Golden Days

2. Drinking Song

4. Student Life

12月12日のステージに備えて

6. Student March Song

大阪大学学生歌

Muss i denn

Staendchen

Freie Kunst

次回の練習

12月12日(土) 14時から経澤氏書斎

時間を見計らって学士会館へ向かいます。

上記の演奏曲の楽譜と共にステージ用の礼服、白シャツ、
黒の蝶ネクタイをご持参ください。

2009年11月21日(土) 14時-17時 辻音楽事務所(新大久保)

(C)甲和 (T1)内田、大野、花田、村田 (T2)宇野、岡部、仮谷川、北村、富田、

(B1)奥村、鈴木、藤山、瀧山、(B2)奥戸、木戸、服部、待山

以上18名 ピアノ 坂田さん

練習した曲

「The Student Prince」から

5. Serenade

6. Student March Song

「大阪大学学生歌」

「Muss i denn」

次の練習は11月28日(土)、経澤氏書斎です。

「The Student Prince」1. 2. 3. 4を練習しますが、

12月12日(土)大阪大学卒業生の集いIN東京で歌う「Freie Kunst」

「Staendchen」「Muss i denn」「大阪大学学生歌」の楽譜も持参ください。

12月12日(土)は通常通り、14時から経澤氏書斎で練習します。

時間を見計らって学士会館へ移動しますので、上記楽譜と、礼服、

白シャツ、黒の蝶ネクタイを持参ください。

これ以外詳しいことが決まり次第、順次連絡いたします。

2009年11月14日(土) 14時-17時 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、花田、村田 (T2)宇野、岡部、仮谷川、北村、富田、経澤

(B1)奥村、藤山、瀧山、堀 (B2)奥戸、木戸、服部、待山 以上18名 ピアノ 坂田さん

練習した曲

「The Student Prince」から

5. Serenade

6. Student March Song

*次の練習は11月21日(土) 14時-17時、新大久保の辻音楽事務所 314号室です。経澤氏書斎ではありませんので間違いなきようお願いします。

*11月23日(月・祝)の男声合唱フェスティバル(男フェス)について

演奏曲は「Student Prince」から

5. Serenade

6. Student March Song

正式な集合時間は 14 時 04 分。

出演時間は 14 時 32 分ー40 分

服装は黒ズボン、上はニットの細番手のハイネックまたはタートルネックシャツ。

シャツの色は任せます。シャツはユニクロで売っていますが、見本を 21 日の練習時にお持ちします。

出演に備えて直前練習を 23 日当日 12 時ー13 時 30 分に行います。

昼食を済ませておいてください。

場所は「ピアノアートサロン」。以前の場所から道路を挟んだ前に移転しているようです。

新住所：東京都中央区月島 3-3-2-1 ユニハイツ勝ちどき 1 階

電話：03-3533-8963

「ピアノアートサロン」で検索してください。

男フェスの後、11 月 28 日（土）から通常の練習に戻ります。

時間は 14 時から 16 時 30 分、場所は経澤氏書斎です。

*12 月 12 日（土）

「大阪大学卒業生の集い IN 東京」に出演します。

服装は黒の礼服に白シャツ蝶ネクタイです。

2009 年 10 月 31 日（土）14 時ー17 時 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)関本、花田、村田 (T2)岡部、仮谷川、北村、富田、経澤 (B1)奥村、鈴木、藤山、湊山、
(B2)奥戸 以上 14 名 ピアノ 坂田さん

練習した曲

「The Student Prince」から

2. Drinking Song

5. Serenade

6. Student March Song

「大阪大学学生歌」

2009 年 10 月 24 日（土）14 時~16 時 30 分 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、関本、花田、村田 (T2)宇野、岡部、仮谷川、北村、富田、経澤
(B1)鈴木、藤山、湊山、堀 (B2)木戸、服部、待山 以上 18 名 ピアノ 坂田さん

練習した曲

「The Student Prince」から

3. Deep in My Heart Dear

5. Serenade

6. Student March Song

* 次の練習は 10 月 31 日 (土) 午後 2 時から経澤氏書斎です。

* 12 月 12 日 (土) 午後 3 時から学生会館で大阪大学卒業生の集い IN 東京があり、この集いに大阪男声東京支部の出演が決まりました。3 曲程度を選曲中です。

2009 年 10 月 10 日 (土) 14 時~17 時 辻音楽スタジオ 314 号室

(C)甲和 (T1)内田、大野、関本、花田、村田 (T2)宇野、仮谷川、北村、富田(B1)鈴木、藤山、瀧山
(B2)奥戸、木戸、服部、山邊 以上 17 名 ピアノ 坂田さん

練習した曲

「The Student Prince」から練習の順番に

1. Golden Days
2. Drinking Song
6. Student March Song
5. Serenade

* 次の練習は 10 月 24 日 (土) 午後 2 時から経澤氏書斎。

* 10 月 31 日 (土) も練習します。午後 2 時から経澤氏書斎。

2009 年 9 月 26 日 (土) 14 時~17 時 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、花田、村田 (T2)宇野、岡部、仮谷川、北村、経澤、富田
(B1)奥村、鈴木、藤山、瀧山 (B2)木戸、服部、待山、山邊 以上 18 名 ピアノ 坂田さん

練習した曲

「The Student Prince」から練習の順番に、

6. Student March Song
3. Deep in My Heart Dear
4. Student Life
5. Serenade

* 岡部さんが参加くださり、T 2 は 6 名となりました。

* 次の練習は 10 月 10 日 (土) 14 時から 17 時。

場所は新大久保駅の辻音楽事務所 314 号室です。

* 男フェスの直前練習は 11 月 21 日 (土) の予定です。

2009 年 9 月 12 日 (土) 14 時~16 時 30 分 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、関本、花田、村田 (T2)宇野、仮谷川、北村、経澤、富田

(B1)奥村、鈴木、湊山、藤山 (B2)奥戸、木戸、服部、待山、 以上 18 名 ピアノ 坂田さん

練習した曲

The Student Prince から

1. Golden Days

5. Serenade

6. Student March Song

*次の練習は 9 月 26 日 (土) 14 時から経澤氏書斎

*11 月 23 日の男声合唱フェスティバル (男フェス) では上記 5.Serenade と 6. Student March Song を歌う予定。

2009 年 8 月 22 日 (土) 14 時~16 時 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)関本、村田 (T2)仮谷川、北村、経澤、富田(B1)湊山、藤山
(B2)奥戸、木戸、服部、待山、山邊 以上 14 名 ピアノ 坂田さん

練習した曲

「The Student Prince」から

6. Student March Song

2. Drinking Song

5. Serenade

*次の練習は 9 月 12 日 (土) 14 時から経澤氏書斎です。

2009 年 8 月 8 日 (土) 14 時~16 時 30 分 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、関本、村田 (T2)仮谷川、北村、経澤、富田 (B1)鈴木、湊山
(B2)奥戸、木戸、服部、待山、山邊 以上 15 名 ピアノ 坂田さん

練習した曲

*「The Student Prince」から

5. Serenade

*増田順平編「コーラス・アルバム」男声編から

19. 待ちぼうけ

4. あわて床屋

6. 砂山

12. すかんぼの咲くころ

14. かやの木山の

・次回の練習は 8 月 22 日 (土) 14 時から経澤氏書斎です。

「The Student Prince」と「コーラス・アルバム」両方の楽譜を持参ください。

- ・8月22日(土)18時「お江戸コラリアーズ」の演奏会が杉並公会堂大ホールで開かれます。
三名の阪大男声OBが出演します。時間の許す方は聞きに行ってください。

2009年7月25日(土)14時~16時30分 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、関本、村田 (T2)宇野、仮谷川、北村、経澤、富田
(B1)野中、藤山、湊山 (B2)奥戸、木戸、服部、待山、山邊 以上17名 ピアノ 坂田さん

練習した曲 増田順平編「コーラス・アルバム」男声編から

4. あわて床屋
6. 砂山
12. すかんぼの咲くころ
14. かやの木山の

*野中聡洋さん(2002年入団B1)がお江戸コラリアーズの8月22日の演奏会の宣伝がてら大阪男声東京の練習に参加されました。

*次回の練習は8月8日(土)14時から経澤氏書斎です。

2009年6月20日(土)14時~17時 新宿村スタジオ s館 23号室

(C)甲和 (T1)大野、関本 (T2)宇野、仮谷川、北村、経澤、富田 (B1)奥村、鈴木、藤山、湊山
(B2)木戸、服部、待山、山邊 以上16名 ピアノ 坂田さん

練習した曲

1. 水のいのち
2. Foster Album
3. 美しく青きドナウ

次回の練習は6月27日(土)14時から経澤氏書斎です。

ドイツ物を中心に練習します。定演までの最後の練習です。

2009年6月14日(日)15時~18時 辻音楽スタジオ 314号室

(C)三木 (T1)内田、大野、関本、村田 (T2)宇野、仮谷川、北村、経澤、富田 (B1)奥村、鈴木、藤山、湊山
(B2)木戸、甲和、服部、待山、山邊 以上19名 ピアノ 坂田さん

三木先生をお迎えしました。

練習した曲

1. Foster Album
2. ドイツ男声合唱曲集

次の練習は、6月20日（土）14時からですが、経澤さんのご都合がよくないようなので会場を探しています。
決まり次第連絡いたします。

2009年6月13日（土）15時~18時 辻音楽スタジオ 314号室

(C)萩原 (T1)内田、大野、関本、村田 (T2)宇野、仮谷川、北村、経澤、富田 (B1)奥村、鈴木、藤山、湊山
(B2)奥戸、木戸、甲和、服部、待山、山邊 以上20名 ピアノ 坂田さん

萩原先生に来ていただきました。

内田さん（T1）が参加してくださいました。

練習した曲

1. 水のいのち
2. ミルテの花

次の練習は三木先生をお迎えして6月14日（日）、午後3時から6時まで
今日と同じの辻音楽スタジオ（新大久保）314号室で行います。

2009年5月30日（土）14時~16時30分 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)関本、村田 (T2)宇野、仮谷川、北村、経澤、富田 (B1)奥村、鈴木、藤山、湊山
(B2)木戸、服部、待山 以上15名 ピアノ 坂田さん

練習した曲

1. 水のいのち から
「雨」
2. Foster Album から
「My Old Kentucky Home, Good Night」
「Beautiful Dreamer」
「Oh, Susanna」
「Gentle Annie」
3. ミルテの花

30日の練習に宇野 肇さんが参加してくださいました。T2です。

2009年5月23日（土）14時~17時 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、関本、村田 (T2)仮谷川、北村、経澤、富田 (B1)奥村、鈴木、藤山、湊山
(B2)木戸、服部、待山、山邊 以上16名 ピアノ 坂田さん

練習した曲

1. ドイツ男声合唱曲集から

「Die Nacht」
「Wasserfahrt」
「Liebes Gretelein」
「Heimweh」
「Das Doerfchen」

2. 水のいのちから
「水たまり」
「川」
「海」
「海よ」

次回練習は5月30日（土）午後2時から、経澤氏書斎で。
定期演奏会で歌う曲全部の楽譜をご持参ください。

2009年5月9日（土）14時~16時40分 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、関本、村田 (T2)仮谷川、北村、経澤、富田 (B1)鈴木、藤山、湊山
(B2)木戸、服部、待山、山邊 以上15名 ピアノ 坂田さん

練習した曲
「ミルテの花」全曲

次の5月23日（土）の練習では、ドイツ合唱曲集と時間があれば「水のいのち」を練習します。
ご用意ください。

2009年4月24日（土）14時~16時 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、村田 (T2)仮谷川、北村、経澤、富田 (B1)奥村、鈴木、藤山、
(B2)奥戸、木戸、待山、山邊 以上14名 ピアノ 坂田さん

外は本格的な雨。風邪が流行っています。

練習した曲 「Foster Album」から

2. My Old Kentucky Home, Good-Night
4. Beautiful Dreamer
5. Oh! Susanna
6. Gentle Annie
7. De Camptown Races

次の5月9日（土）はミルテの花およびドイツ合唱曲を練習します。

2009年4月11日(土) 14時~16時30分 経澤氏書齋

(C)甲和 (T1)大野、関本、村田 (T2)仮谷川、北村、経澤、富田 (B1)奥村、鈴木、藤山、浏山
(B2)木戸、服部、待山、山邊 以上16名 ピアノ 坂田さん

練習した曲

「水のいのち」から

3. 川
4. 海
5. 海よ

*4月25日(土)の練習曲は「Foster Album」です。

*7月11日(土)の直前練習は昨年と同じ萩窪の「かんげいかん」で午後5時から始めます。

2009年3月

2009年3月14日(土) 14時~16時30分 経澤氏書齋

(C)甲和 (T1)大野、関本、村田 (T2)北村、経澤、富田 (B1)奥村、鈴木、藤山、浏山、
(B2)奥戸、木戸、服部、待山、山邊 以上16名 ピアノ 坂田さん

練習した曲

- *Heimweh
- *Das Doerfchen
- *ミルテの花

3月28日(土)の練習予定曲

3月14日と同じ、ミルテの花、Die Nacht, Wasserfahrt,
Liebes Gretelain, Heimweh, Das Doerfchen 以上の楽譜をご持参下さい。

2009年2月28日(土) 14時~17時 辻音楽スタジオ

(C)甲和 (T1)大野、関本、村田 (T2)北村、富田 (B1)奥村、鈴木、藤山、浏山、
(B2)奥戸、木戸、服部、待山、山邊 以上15名 ピアノ 坂田さん

練習曲

- *Liebes Gretelein
- *Wasserfahrt
- 「Foster Album」から
- *My Old Kentucky Home, Good-Night
- *Beautiful Dreamer
- *Oh! Susanna
- *De Camptown Races

次回練習は 3月14日(土) 14時から経澤氏書斎です。

ミルテの花、Die Nacht, Wasserfahrt, Liebes Gretelein、Heimweh, Das Dorfchen

以上の楽譜を持参ください。

2009年2月14日(土) 14時~16時 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、関本、村田 (T2)仮谷川、北村、経沢、富田、(B1)奥村、鈴木、藤山、渊山、
(B2)奥戸、木戸、服部、待山、山邊 以上17名 ピアノ 坂田さん

練習曲

「Die Nacht」 「MYRTENBLUETEN」

次の練習

2月28日(土) 午後2時辻音楽スタジオ314号室(5時までの予定)

以下の楽譜をご持参下さい。

「Foster Album」 「MYRTENBLUETEN」 「Das Doerfchen」

「Heimweh」 「Wasserfahrt」 「Liebes Gretelein」 「Die Nacht」

2009年1月31日(土) 14時~16時 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)関本 (T2)北村、経沢 (B1)奥村、鈴木、藤山、渊山 (B2)木戸、服部、待山
以上11名 ピアノ 坂田さん

練習曲

「Foster Album」 から

6. Gentle Annie

7. De Camptown Races

練習スケジュール

・2月14日(土) 午後2時から経澤氏書斎

「ミルテの花」 「Die Nacht」 「Wasserfahrt」

「Liebes Gretelein」 を練習します。

・2月28日(土) 午後2時から辻音楽スタジオ314号室

「Foster Album」 「水のいのち」 を練習します。

2009年1月17日(土) 14時~16時 経澤氏書斎

(C)甲和 (T1)大野 (T2)仮谷川、北村、子安、経沢、富田 (B1)奥村、鈴木、藤山、渊山、
(B2)奥戸、木戸、服部、待山、山邊 以上16名

練習曲

「Foster Album」 から

2. My Old Kentucky Home, Good-Night

4. Beautiful Dreamer

5. Oh! Susanna

*大阪本部から子安委員が練習に参加されました。

*今後の練習スケジュール

1月24日 練習はありません。

1月31日 練習します。午後2時から経澤氏書斎

2月14日 練習します。午後2時から経澤氏書斎

2月28日 練習はありません。

・2月の他の日に一回練習するか、あるいは3月に通常の
2回に加えて、もう1回練習するかは追ってご連絡します。

*次回練習曲は 6.Gentle Annie 7.De Campton Races

*平成20年東京支部練習会会計の資料が配布されました。

*午後6時から東京支部の新年会が田町「のうすらんど」で三十数名が参加して開かれ盛況でした。

大阪本部からは桂名誉会長、子安委員が参加くださいました。

2008年（降順）

2008年12月13日（土）13時~16時 経沢氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、関本、村田 (T2)仮谷川、経沢 (B1)奥村、鈴木、藤山、湊山、
(B2)奥戸、木戸、服部、待山 山邊 以上15名

*練習曲

「Foster Album」から

2. My Old Kentucky Home, Good-Night

4. Beautiful Dreamer

英語の発音が各人各様なので、統一する必要があります。

*練習後、会計報告、来年からの運営の打合せ、担当者の変更検討がありました。

*連絡事項

1. 12月27日（土）の練習は都合により中止します。

従って年内の練習はなくなりました。

2. 次の練習は来年1月17日（土）です。午後2時から経沢氏書斎で

練習の後、新年宴会へでかけます。

2008年11月22日（土）13時~16時 辻音楽事務所

(C)甲和 (T1)大野、花田、村田 (T2)仮谷川、北村、富田、堀 (B1)奥村、鈴木、藤山、湊山、
(B2)奥戸、木戸、服部、待山 以上16名 & ピアノ 坂田さん

11月23日（日・祝）の男フェスに備えて「水のいのち」から

1. 雨
 2. 水たまり
- を練習しました。

次回練習は、12月13日（土）14時から経沢氏書斎です。

練習曲は Foster Album を予定しています。

2008年11月15日（土）14時~16時半 経沢氏書斎

(C)甲和 (T1)関本、花田、村田 (T2)仮谷川、北村、経沢、富田 (B1)奥村、鈴木、藤山、湊山、堀
(B2)奥戸、服部、待山、山邊 以上17名 & ピアノ 坂田さん

練習曲 「水のいのち」から

1. 雨
2. 水たまり

次の練習は11月22日（土）午後1時から4時まで新大久保駅辻音楽事務所4階です。

2008年11月8日（土）14時~16時半 経沢氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、関本、花田、村田 (T2)仮谷川、北村、経沢、富田 (B1)奥村、鈴木、藤山、湊山、堀
(B2)服部、待山、山邊 以上17名 & ピアノ 坂田さん

練習曲 「水のいのち」から練習順に

1. 雨
2. 水たまり
4. 海
5. 海よ

*臨時練習をします

11月15日（土）14:00から 経沢氏書斎。ご参集ください。

2008年10月11日（土）14時~16時半 経沢氏書斎

(C)甲和 (T1)関本、花田、村田 (T2)仮谷川、北村、経沢、富田 (B1)奥村、鈴木、藤山、湊山、堀
(B2)木戸、服部、待山、山邊 以上17名 & ピアノ 坂田さん

練習曲 「水のいのち」から練習順に

1. 雨
2. みずたまり
3. 川（全曲通しました）

指揮者から

- i 歌詞をよく読んでおいて欲しい。特に50ページに記載の歌詞
- ii 演奏上の注意が52ページにあるので予習しておいてほしい。

次の練習日は10月25日(土)14時から経沢氏書斎です。

2008年10月4日(土)14時~16時 経沢氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、関本、村田 (T2)仮谷川、北村、経沢、富田 (B1)奥村、鈴木、藤山、湊山、堀
(B2)奥戸、木戸、服部、待山、 以上17名

練習曲 「水のいのち」から、練習順に

- 2. みずたまり
- 1. 雨
- 3. 川 (25ページ上段まで)

次の練習は10月11日(土)14時から経沢氏書斎です。

2008年8月23日(土)14時~17時 経沢氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、関本、村田 (T2)仮谷川、北村、経沢 (B1)奥村、藤山、鈴木
(B2)奥戸、木戸、服部、待山、山邊 以上15名

練習曲

「水のいのち」から

- 1. 雨
- 2. みずたまり (14ページ *andante* の前まで)

連絡事項

- * 来年の演奏会の曲「水のいのち」と「Foster Album」の楽譜が団員に渡されました。
- * B2 鈴木さんが B1 へ移られました。
- * 次の練習は9月13日(土)午後2時から、経沢氏書斎

富田義人様

ようこそ。

次の練習は上記通り9月13日(土)午後2時からです。

会場がお判りにならないなら、ご連絡ください。

楽譜は練習会場でお渡しいたします。

2008年7月12日(土)14時~17時 経沢氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、関本、村田 (T2)仮谷川、北村、経沢 (B1)奥村、藤山、湊山、堀

(B2)鈴木、木戸、服部、待山、山邊 以上 16名 ピアノ 坂田さん

定演の直前練習を除くと今回は最後の練習です。

練習曲

1. Wein, Weib und Gesang
2. 私はカメレオン
3. 日本抒情歌曲集
4. 島よ

各曲について指揮者から再度細かい指示がされました。

自宅で十分練習して身につけるよう言われました。

2008年6月28日(土) 14時~17時 経沢氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、関本、村田 (T2)仮谷川、北村、経沢 (B1)奥村、藤山、湊山
(B2)鈴木、木戸、服部、待山、山邊 以上 15名 ピアノ 坂田さん

練習曲

「島よ」全曲

*堀さん、佐々木さんが来てくださり7月27日の演奏会の打ち合わせを行いました。

*連絡事項

次回の練習は7月12日(土)午後2時から経沢氏書斎です。

ステージにかける全曲の楽譜をご持参ください。

2008年6月21日(土) 13時~17時 ヤマハ・ピアノサロン(月島)

(C)萩原 (T1)内田、大野、関本、村田 (T2)仮谷川、北村、経沢 (B1)奥村、藤山、湊山
(B2)鈴木、木戸、甲和、服部、待山、山邊 以上 17名 ピアノ 坂田さん

演奏会が近くなり、本部から萩原先生に来ていただき練習しました。

入れ替わりに甲和さんが途中から本部へ出向きました。

内田さん(T1)が富山から参加してくださいました。

練習曲

1. 「わたしはカメレオン」から全曲
2. 「Wein, Weib und Gesang」
3. 「Staendchen」

2008年6月22日(日) 13時~16時 辻コーラススタジオ(新大久保)

(C)三木 (T1)内田、大野、関本、村田 (T2)仮谷川、北村、経沢 (B1)奥村、藤山、湊山
(B2)鈴木、木戸、甲和、服部、待山、山邊 以上 17名 ピアノ 坂田さん

今日は三木先生に来ていただきました。内田さんは二日続きで参加です。

練習曲

「日本抒情歌曲集」からオン・ステージ予定の5曲

連絡事項

次の練習は6月28日(土)、14時から経沢氏書斎です。

「島よ」、「Staendchen」、「Muss i denn」の楽譜を持参ください。

2008年6月14日(土) 14時~16時45分 経沢氏書斎

(C)甲和 (T1)大野、関本、村田 (T2)仮谷川、北村、経沢 (B1)奥村、藤山、湊山
(B2)鈴木、木戸、服部、待山、山邊 以上15名 ピアノ 坂田さん

練習曲

- * 「酒・女・歌」
- * 「日本抒情歌曲集」から練習の順に
 - ・カチューシャの唄
 - ・椰子の実
 - ・お菓子と娘
 - ・待ちぼうけ
 - ・箱根八里
- * 「わたしはカメレオン」から
 - ・ひきがえる
 - ・かっぱ
- * 「美しく青きドナウ」

連絡事項

1. 6月21日(土)の練習は月島の「ピアノアートサロン Aサロン」
大江戸線「勝ちどき駅」下車。男声合唱フェスティバルの直前練習の場所です。
時間は13時から17時まで4時間。
当日は萩原先生です。「わたしはカメレオン」と「酒・女・歌」を練習します。
この他にマルシュネルの「Staendchen」と「MUss i denn」の楽譜もご持参ください。
2. 6月22日(日)は新大久保の「辻コーラススタジオ」で13時から16時まで三木先生です。
「日本抒情歌曲集」の楽譜をご持参ください。

2008年5月31日(土) 14時~16時半 新大久保 辻コーラススタジオ

(C) 甲和 (T1) 大野、関本、村田 (T2) 仮谷川、北村、経沢 (B1) 奥村、藤山、湊山
(B2) 鈴木、木戸、山邊、服部 以上14名 ピアノ 坂田さん

練習曲

* 「島よ」から

第四曲、第三曲（28ページ上段まで）、第六曲

* 「わたしはカメレオン」から

3. ひきがえる 4. きりん 5. かつば 6. うみつばめ

”かつば”の歌詞が紛らわしいので、漢字を書き込んで区別したら、との提案がありました。

河童、搔っ払った、菜っ葉、一杯(?)、一把(?)

連絡事項

次の練習は6月14日(土)午後2時から経沢さんの書斎です。

その際、「島よ」以外の楽譜を全部持って来て下さい。

i.e. 「わたしはカメレオン」「日本抒情歌曲集」「酒・女・歌」「美しく青きドナウ」

服部さんが練習お休みされましたので、代わって報告いたします。(甲和)

2008年5月24日(土) 14時～16時半 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T1) 大野、関本、村田 (T2) 仮谷川、北村、経沢 (B1) 奥村、藤山、淵山
(B2) 待山、木戸、奥戸、山邊、鈴木 以上15名

体操と発声

練習曲

1. 「日本抒情歌曲集」から

「お菓子と娘」

「椰子の実」(冒頭部のみ)

「カチューシャの唄」

2. 「私はカメレオン」から

「3. ひきがえる」

「5. かつば」

「2. 蝉」

「4. きりん」

「1. わたしはカメレオン」(一回通しのみ)

連絡事項

5月31日(土)は「島よ」と「わたしはカメレオン」

新大久保の「辻コーラススタジオ314号室」にて練習します。

2008年5月10日(土) 14時～16時半 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T1) 関本、村田 (T2) 仮谷川、経沢 (B1) 藤山、湊山
(B2) 鈴木、木戸、待山、服部 以上11名

体操と発声

練習曲

1. 「日本抒情歌曲集」から
箱根八里、椰子の実、待ちぼうけの3曲
 2. 「酒・女・歌」
- 以上を坂田さんのピアノ伴奏で練習しました。

連絡事項

5月24日(土)は「わたしはカメレオン」と「日本抒情歌曲集」を練習します。

2008年4月26日(土) 14時～16時半 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T1) 大野、関本、村田 (T2) 仮谷川、北村、経沢 (B1) 奥村、藤山、湊山
(B2) 鈴木、木戸、服部、山邊 以上14名

体操と発声

練習曲

「島よ」を坂田さんのピアノ伴奏で通しました。

連絡事項

次の5月10日(土)は「わたしはカメレオン」と「日本抒情歌曲集」を練習します。

2008年4月12日(土) 14時～16時半 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T1) 大野、村田 (T2) 仮谷川、北村、経沢 (B1) 奥村、藤山、湊山
(B2) 鈴木、木戸、待山、服部、山邊 以上14名

体操の後発声

練習曲

「酒・女・歌」を歌詞をつけて通しました。
「島よ」第5曲と第6曲。

連絡事項

4月17日付の甲和さんからのメールを参照ください。
今後の予定が記されています。

昨晩まで東京を離れていました。報告が遅れて申訳ありません。
またPCに変なソフトが紛れ込みました。
17日の午後発信したメールがもし届いていましたらキャンセルして下さい。

2008年3月29日（土）14時～16時半 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T1) 大野、村田 (T2) 仮谷川、北村、経沢 (B1) 奥村、藤山、湊山
(B2) 鈴木、木戸、待山、服部、山邊 以上14名

体操の後発声

練習曲

「Wein, Weib und Gesang」を歌詞付けした。
「島よ」第五曲と第六曲を復習した。

連絡事項

4月17日付、甲和さんからのメールを参照下さい。

昨晩まで東京を離れていました。報告が遅れて申訳ありません。

2008年3月29日（土）14時～16時半 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T1) 村田 (T2) 仮谷川、北村、経沢 (B1) 奥村、藤山、湊山
(B2) 鈴木、木戸、待山、服部、山邊 以上13名

体操の後発声

練習曲

「酒・女・歌」を全曲音取りしました。

連絡事項

1. 次の練習は4月12日（土）
「酒・女・歌」と「島よ」の第5曲と第6曲を予定「酒・女・歌」は歌詞を予習してください。
2. 5月の練習
通常第2週と第4週に加えて、第5週（5月31日）にも練習します。
3. 6月、大阪本部から指揮者に来ていただく日は決まり次第
ご連絡します。

2008年3月22日（土）14時～16時半 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T1) 大野、関本、村田 (T2) 仮谷川、北村、経沢 (B1) 奥村、藤山、湊山

(B 2) 奥戸、鈴木、木戸、待山、服部 以上 15 名

体操と発声

練習曲

「島よ」から第 1 曲～第 4 曲。

連絡事項

1. 次の練習は 3 月 29 日 (土) 午後 2 時 経沢氏書斎です。
練習曲は「酒・女・歌」と「島よ」第 5 曲と第 6 曲です。
「酒・女・歌」の音と歌詞を予習しておいてください。
2. 4 月の練習はこれまでどおりの第 2 週と第 4 週です。
i.e. 4 月 12 日 (土) と 4 月 26 日 (土) です。
3. 5 月は第 2 週と第 4 週が確定。第 5 週の 31 日 (土) を考えているが確定ではない。
4. 4 月からピアノに来てもらう予定。何日かは未定。
5. 4 月 5 日、甲和氏は大阪本部で練習する。
6. 6 月には大阪本部から指揮者に来ていただく予定。
7. 本番は大阪 7 月 20 日 (日)、東京 7 月 27 日 (日)

2008 年 3 月 1 日 (土) 14 時～16 時半 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T 1) 大野、関本 (T 2) 仮谷川、北村、経沢 (B 1) 奥村、藤山、湊山
(B 2) 鈴木、木戸、待山、山邊、服部 以上 14 名

体操と発声

練習曲

「島よ」から第四曲を練習。これで全曲が終わりました。
次の練習では「島よ」を始めから終わりまで通して歌います。

連絡事項

*今後の予定

- 3 月 22 日 (土) は上述どおり「島よ」を通します。
3 月 29 日 (土) 以降は「ワイン・女・歌」を予定しています。

2008 年 2 月 23 日 (土) 14 時～16 時半 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T 1) 村田 (T 2) 仮谷川、北村、経沢 (B 1) 奥村、藤山、湊山
(B 2) 奥戸、鈴木、木戸、待山、山邊、服部 以上 14 名

体操と発声

練習曲

「島よ」から第3曲

難しい曲ですが、歌詞をつけて終いまで通しました。

次は第4曲を練習します。

3月の練習日の変更（3月は3回練習します）

*次は3月1日（土）14時から経沢氏書齋で練習します。

*3月8日（土）は練習を休みます。

*3月22日（土）、29日（土）両日練習します。

2008年2月9日（土）14時～16時半 経沢氏書齋

（C）甲和（T1）大野、関本、村田（T2）仮谷川、北村、経沢（B1）奥村、藤山、湊山
（B2）鈴木、待山、山邊、服部 以上14名

体操と発声

練習曲 「島よ」から

第2曲と第6曲

連絡事項

来週は第3曲を練習します。時間が余れば第4曲に入ります。

2008年1月26日（土）14時～16時 経沢氏書齋

（C）甲和（T1）大野、村田（T2）仮谷川、北村、経沢（B1）藤山、湊山
（B2）木戸、鈴木、待山、服部 以上12名

体操と発声

練習曲

「島よ」から 第1曲と第5曲

連絡事項

*次回は第2曲と第6曲を練習します。予習をお願いします。

*ご参考

「島よ」は以下のように分けられています。

第1曲 P3～P8

第2曲 P8 Moderato～P19

第3曲 P20 Adagio～P33

第4曲 P33 Allegro～P45

第5曲 P46 Adagio～P53

第6曲 P53 Moderato～P59

*音源ができています。

2008年1月19日(土) 14時～16時半 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T1) 大野、関本、村田 (T2) 仮谷川、子安、北村、経沢 (B1) 奥村、藤山、渊山
(B2) 奥戸、木戸、鈴木、待山、服部 以上16名

体操と発声

練習曲 「わたしはカメレオン」から

2. 蝉
3. ひきがえる
4. きりん
5. かつば

このあと、1. わたしはカメレオン と 6. うみつばめ をさらいました。

これで「わたしはカメレオン」を終わり、次から「島よ」を練習します。

次回は1月26日(土)、午後2時から経沢氏書斎です。

練習の後、三田の「のうすらんど」で大阪本部から来てくださった青山会長と子安委員と共に奥村団員の司会で賑やかに新年を祝いました。

2007年(降順)

2007年12月22日(土) 14時～16時 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T1) 関本、村田 (T2) 仮谷川、北村、経沢
(B1) 奥村、(B2) 木戸、鈴木、待山、服部 以上11名

体操と発声

練習曲

「わたしはカメレオン」から

3. ひきがえる

2007年最後の練習です。パートのバランスを欠きましたが”ひきがえる”を最後まで歌詞をつけて通しました。

最後に1～6を通して歌う予定でしたが、エネルギーが続かず来年に持ち越されました。

来年1月の練習は19日と26日ですのでお間違いないよう。

19日は練習終了後、新年会へと流れます。

2007年12月8日(土) 14時～16時 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T1) 関本、村田 (T2) 仮谷川、北村、経沢
(B1) 奥村、藤山、渊山 (B2) 奥戸、木戸、鈴木、待山、山邊、服部 以上15名

体操と発声

練習曲 「わたしはカメレオン」から

- 2 蝉
- 5 かつば
- 4 きりん

以上三曲を歌詞をつけて通しました。

連絡とお願い

次の練習は12月22日(土)14時から経沢氏書斎です。

「わたしはカメレオン」から 3.ひきがえる を練習します。

予習をお願いします。

最後に1. から6. まで通しますので、復習もお願いします。

以上、指揮者からの依頼です。

2007年11月20日(土) 19時～21時 辻コーラススタジオ

(C) 甲和 (T1) 花田、村田 (T2) 枝木、仮谷川、北村、
(B1) 大野、奥村、藤山、(B2) 鈴木、待山、山邊、服部 以上13名

体操と発声

11月23日「男フェス」に備えて最後の練習です。

練習が夜間で遠隔地の人には来られない事、また急な病気にかかる人も出て出来上がりは今一步の感があります。
まだ二日あり、本番に強い現役時代を思い出して頑張るよう指揮者から要請されました。

練習曲 「わたしはカメレオン」から

1. わたしはカメレオン
6. うみつばめ

2007年11月10日(土) 14時～16時20分 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T1) 大野、関本、花田、村田 (T2) 枝木、仮谷川、北村、経澤
(B1) 藤山、渊山、堀 (B2) 木戸、鈴木、待山、山邊、服部 以上17名

体操と発声

練習曲

先週に引続き、「わたしはカメレオン」から

6. うみつばめ

今日も34小節から54小節を重点的にさらえて怪しい音をデバッグ。

コード部分も同様。次第に改善されているが更に練習が必要。

1. わたしはカメレオン

16小節から練習に入る。19小節のB2「おしゃれずき・・・」が遅れ勝ち。B1部分も歌うことで遅れないよう注意がありました。

11月23日の「男フェス」まで当日を入れてあと2回の練習のみ。

各自、充分自習するよう指揮者から要望されました。

2007年11月3日(土) 14時~16時20分 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T1) 大野、関本、花田、村田 (T2) 枝木、仮谷川、北村、経澤 (B1) 奥村、藤山、湊山、堀
(B2) 木戸、鈴木、待山、山邊

以上17名

体操と発声

練習曲

「わたしはカメレオン」から

一番”わたしはカメレオン”と 六番”うみつばめ”はいずれも一応通してあるが、あらためて最初から歌って怪しい箇所をチェックしてはパート練習を重ねる形で順次進め、最後に通して歌い身に付ける様にした。指揮者から多数指摘されたが、以下に記録するにとどめる。

*カメレオン

16音符の入り、特に直前に休止符のない箇所の入り方がピリッとしない。繰り返し練習する。

*うみつばめ

特に32~54小節をこなすのに今日も時間がかかった。あと、前回と同じくコード部分のタテ線が未だ合わない。

2007年10月27日(土) 14時~16時半 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T1) 関本、花田、村田 (T2) 仮谷川、北村、経澤
(B1) 大野、藤山、堀 (B2) 木戸、鈴木、待山、山邊 以上14名

体操、発声

練習曲

「私はカメレオン」から

6. うみつばめ

前回練習の続きで、28 節から最後までを練習し、あと全体を通して歌いました。特に 40 小節から 67 小節を時間をかけて固めました。

全体に縦の線がずれやすく、特に 79、83 小節の縦の線に留意するよう注意がありました。

11 月 23 日の東京男声合唱フェスティバルは 60 団体が参加し、我々は 6 番目に出演します。

2007 年 10 月 13 日（土）14 時～16 時半 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T 1) 大野、関本、花田 (T 2) 仮谷川、北村、経澤

(B 1) 奥村、藤山、淵山、堀 (B 2) 奥戸、木戸、鈴木、待山、服部 以上 16 名

体操、発声

練習曲

「わたしはカメレオン」から

6. うみつばめ

譜読み、歌詞をつけてパート練習のあと、高音・低音 2 パートで音を合わせ、最終 4 パートで歌う。31 小節目から難しくなります。

今日は 54 小節まで進みました。

連絡事項

*次の練習は 10 月 27 日（土）午後 2 時から経沢氏書斎

*11 月 20 日（火）の新大久保での練習は午後 7 時からです。

2007 年 09 月 22 日（土）14 時～16 時半 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T 1) 枝木、大野、関本、村田 (T 2) 仮谷川、北村、経澤、花田

(B 1) 奥村、藤山、淵山、堀 (B 2) 奥戸、木戸、鈴木、待山、山邊、服部 以上 19 名

体操、発声

練習曲

1. 「わたしはカメレオン」から

i わたしはカメレオン

ii 蝉

以上の二曲を譜読み後、歌詞をつけて通しました。

2. 「日本抒情歌曲集」から

椰子の実を復習しました。

今日は枝木、花田、堀の三氏が参加してくださり、上 3 パートが 4 名宛、バス 6 名とバランスが取れた構成で素晴らしい音が出ました。

練習後はワインを傾けて愉快的な時間を過ごしました。

連絡事項

- *10月の練習は従来通り2週目&4週目の土曜日となります。
- *11月23日(金・祝)の男声合唱フェスティバルに参加予定。
曲目は未定。会場は浜離宮朝日ホール

2007年09月15日(土) 14時~16時半 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T1) 関本、村田 (T2) 仮谷川、北村、経澤
(B1) 大野、藤山、(B2) 木戸、待山、山邊、服部 以上12名

体操の後発声

練習曲 「日本抒情歌曲集」より

9. カチューシャの歌

今日が初めての練習です。パートごとに階名で音を確認、4パートを合わせ歌詞をつけて最後まで通しました。

7. お菓子と娘

復習です。特に2番とラララの受け渡しを反復練習しました。

連絡事項

- *9月22日(土)は通常通り練習を行います。
「日本抒情歌曲集」、「私はカメレオン」の両方の楽譜を持参して下さい。
- *9月22日(土)、枝木・花田両氏が練習を見学にいらっしゃる予定です。

2007年08月25日(土) 14時~16時 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T1) 関本 (T2) 仮谷川、北村、経澤
(B1) 奥村、藤山、(B2) 奥戸、木戸、鈴木、待山、山邊、服部 以上13名

体操、発声練習

練習曲 林 光 日本叙情歌曲集から

*「お菓子と娘」

各パートが階名で音を確認した後、2・3パートを組み合わせ、最後に全パートを合わせた。

*「箱根八里」

前回練習の復習

連絡事項

1. 9月8日(土)の練習を休みます。代わりに9月15日(土)に練習します。
9月22日(土)は通常通り練習します。
2. 7月22日(日)の演奏会のCD
団員には一枚無償で差上げます。追加は一枚200円です。指揮者までお申し出下さい。

2007年8月11日(土) 午後2時より 経澤邸で

出席者 (指揮) 甲和
(T1) 大野 関本 村田
(T2) 仮谷川 北村 経澤
(BR) 奥村 淵山
(BS) 城戸 鈴木 待山 山邊 以上13名

今期初めての練習、新譜を配布し、思いも新たに発声練習からスタート。

林光の男声合唱による日本叙情歌曲集から3曲、パート練習を積み上げて、出来たところで通して歌った。練習した曲は次の3曲、いずれもメロディが良くわかっており、編曲も素直なので楽な気持ちで進行した。

2 箱根八里 5 椰子の実 12 待ちぼうけ

終了後今期の幸運を祈ってスパークリングワインで乾杯、冷やしそこなつて少しぬるいワインだったが、抜いたキャップは派手に飛んでいき、これからの一年を祝福してくれた。

服部 道彦

2007年07月07日(土) 14時~17時30分 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T1) 関本、村田 (T2) 仮谷川、北村、経澤 (B1)、大野、奥村、藤山、渊山
(B2) 木戸、待山、山邊、鈴木、奥戸 以上15名

練習した曲 (14:00~16:30)

富士山、南薔薇、ドナウ、思い出す、斎太郎、計5曲の抜粋

次回 (前回服部報告の再送)

7月21日(土) 東京での演奏会前日の練習

時間 午後1時~4時半

場所 「三茶しゃれなあど」

世田谷区役所三軒茶屋分庁5階

オリオンの間

世田谷太子堂2丁目16番7号

電話 03-3411-6636

7月22日(日) 東京での演奏会(トッパンホール)

2007年6月23日(土) 14時~16時半 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T1) 関本、村田 (T2) 仮谷川、北村、経澤
(B1) 大野、奥村、藤山、渊山、(B2) 奥戸、木戸、鈴木、待山、山邊、服部 以上16名

6月9日、10日に萩原先生、三木先生に教えていただいた呼吸法を再度練習しました。全員が輪になって前の人の腰に手を当て横隔膜の動きを確かめました。

練習曲

定期公演に備えて以下を練習しました。

I. 濟太郎節

II. 思い出すために

- 1 「かなしみ」 リズムに注意すること低音部の”いつも”は最初が出だしが悪く、次いで慌てる傾向がある。
 - 2 「てがみ」 9小節 低音部 半音が低すぎる。
 - 3 「世界のいちばん遠い土地へ」 音程が全般に悪い
 - 4 「ぼくが死んでも」 音程が悪い
 - 5 「思い出すために」 「ダダバ・・・」は前へ前へと歌うこと
 - 6 「種子」 これも音程が悪い
- *全体に音程が悪い。上から見下ろす形で音をとること。下から上がって行くのではない。

III. 富士山

III 「作品第拾陸」

B1. B2 は出だしに同じ音が続く。どうしても音が下がるので緊張して音出しすること。

IV. 南国の薔薇 一 曲の説明

- ・ウインナワルツの軽さを強調するためにソロを多用した。
- ・指揮者が下がった後もう一度出てきてコーダを演奏する。

V. 美しく青きドナウ

ワルツNo. 3でテナーは飛び出すな

*連絡事項—今後の予定

7月7日(土) 臨時練習 経澤氏書斎 午後2時から

7月14日(土) 大阪内本町グリーンビル5階
午後6時半～9時

7月15日(日) 大阪での定期演奏会

7月21日(土) 東京での演奏会前日の練習

時間 午後1時～4時半

場所 「三茶しゃれなあど」

世田谷区役所三軒茶屋分庁5階 オリオンの間

世田谷太子堂2丁目16番7号 電話 03-3411-6636

行き方 東急田園都市線 三軒茶屋下車

徒歩1～2分

パソコンで「三茶しゃれなあど」で検索してください。

7月22日(日) 東京での演奏会(トッパンホール)

服部 道彦

2007年6月10日(日) 14時~17時分 第一文化ビル 314号室

(C) 三木 (T1) 関本、村田 (T2) 仮谷川、北村 (B1) 大野、奥村、藤山、淵山、堀
(B2) 奥戸、木戸、甲和、待山、山邊、服部 以上 16名

大阪から三木さんにお越しをお願いしました。

ブレスの方法と日本語の発音の仕方を強調され、三木さんが指揮を担当される曲を練習しました。梁塵秘抄は訂正箇所を確認いただきました。

ピアノは昨日に続き坂田さんです。

練習曲

1. 「富士山」
2. 「梁塵秘抄」

次の練習は6月23日(土) 午後14時から経澤邸です。

演奏する全楽譜をご持参ください。

2007年6月9日(土) 13時~17時 第一文化ビル

13時~15時 314号室、14時~17時 413号室

(C) 萩原 (T1) 関本、村田 (T2) 仮谷川、北村、経澤
(B1) 大野、奥村、藤山、淵山、堀 (B2) 奥戸、木戸、甲和、待山、山邊、服部 以上 17名

萩原さんが指導に来てくださいました。ご自身が指揮をなさる曲とドイツ語の短母音、長母音、二重母音、無声音を指導いただきました。

練習曲

1. 「思い出すために」
2. 「南国の薔薇」
3. 「美しく青きドナウ」

2007年5月26日(土) 14時~17時30分 経沢さん書斎

(C) 甲和 (T1) 大野、関本、村田 (T2) 仮谷川、北村、経澤
(B1)、奥村、藤山、淵山、堀 (B2) 奥戸、木戸、鈴木、待山、山邊、服部 以上 17名

練習曲

1. 「富士山」
2. 「An der Schoenen Blauen Donau」

*昭和18年工応化卒の宮崎さんが見学にいらっしゃいました。

*6月9日(土) 萩原さんの指揮で「思い出すために」と「南国の薔薇」を練習します。

会場 第一文化ビル (JR 新大久保駅) 13時~17時

13時～15時 314号室、15時～17時 413号室

*6月10日(日) 三木さんに指揮で「富士山」を練習します。

会場 第一文化ビル 314号室 14時～17時

2007年5月26日(土) 14時～17時30分 経沢さん書斎

(C) 甲和 (T1) 大野 (T2) 仮谷川、北村、経澤

(B1) 奥村、藤山、湊山、(B2) 奥戸、木戸、待山、山邊、服部 以上13名

坂田さんのピアノで以下の曲を練習しました。

1. 「思い出すために」
2. 「南国の薔薇」
3. 「美しく青きドナウ」

東京メンバー各位

i 5月28日付、甲和さんの「本日の練習録音」と同じく28日付甲和さんと糟谷さんの「第27回ANCHOR大阪男声ライブ録音」のメールを参考にしてください。

ii 臨時練習のお知らせ

6月2日(土) 経澤さん書斎で午後2時から臨時練習を行います。

練習曲は「富士山」と「美しく青きドナウ」です。

2007年5月12日(土) 14時～17時30分 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T1) 大野、関本、村田 (T2) 仮谷川、経澤

(B1) 奥村、藤山、湊山、山田 (B2) 木戸、待山、山邊、服部 以上14名

体操のあと発声

練習曲

「富士山」を以下の順番で練習しました。

- Ⅲ 作品第拾陸
- Ⅳ 作品第拾捌
- Ⅰ 作品第壹
- Ⅱ 作品第肆
- Ⅴ 作品第貳拾壹

連絡事項

*5月26日(土)は「思い出すために」と「Rosen aus dem Sueden」を練習します。

*6月2日(土)臨時練習では「富士山」を練習します。

切符とチラシが到着し団員に配布されました。未だの方は次の練習日にお受取ください。

2007年4月28日(土) 14時～17時30分 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T 1) 大野、関本、村田 (T 2) 仮谷川、北村、経澤
(B 1)、奥村、湊山、(B 2) 奥戸、木戸、鈴木、待山、山邊、服部 以上15名

体操、発声

練習曲

I. 「思い出すために」から

2. てがみ

7小節～16小節 低音部 音を探っているテンポが遅くなる。

6. 種子

この曲は朗々と歌い上げるのではなく、話しかける感じで歌う。

バス・バリトンらしい音色はあまり出さないほうがよい。

23小節 高音部 ”みずのなかに” の”み”をはっきり立てる。

24小節 低音部 ”種子、種子”は頑張らない。

29小節～31小節 高音部 ”せかいの終りがあすだとしても”

の時、低音部は ”種子を種子を”と歌い

31小節の ”きみ”で高音、低音が合うように

されたい。

49小節 高音部・低音部 ”(あ)すだとしても”は合わせる。

5. 思い出すために

77小節以下 "ダバダ"でダの母音は明るめ、バは暗いめに発音する。

低音部は頑張り過ぎないこと。

II. Rosen aus dem Sueden

連絡事項

*6月9日の練習(萩原氏)

一時～三時 土屋ビル4階 第一スタジオ

三時～五時 文化ビル四階 413 スタジオ

*6月10日の練習(三木氏)

二時～五時 文化ビル三階 314 スタジオ

2007年4月14日(土) 14時～17時30分 経沢氏書斎

(C) 甲和 (T 1) 大野、関本 (T 2) 仮谷川、北村、経澤
(B 1) 奥村、藤山、湊山、山田 (B 2) 奥戸、木戸、鈴木、待山、山邊、服部 以上15名

体操の後発声練習

練習曲

「思い出すために」から

5. 思い出すために

42小節 piano で入り、50小節で mp、62小節で f。

64小節 低音部 ”オルガンの” の”オ” は早めに立てる。

70小節 高音部 ”は一じめて” の”は” をしっかり発音する。

77小節 両部 ”ダダバダダバ” の”ダ” の”あ” は明るい
”あ”、”バ” の”あ” は暗い”あ”である。

1. かなしみ

35小節～38小節 accel→ cresc. テンポも変わる。

3. 世界のいちばん遠い土地へ

*連絡事項

- ・4月28日の練習では、「南国のぼら」と「思い出すために」をさらえます。
- ・5月12日 多田武彦を練習します。
- ・6月9日 三木氏に代わって萩原氏 午後1時～5時 「南国のぼら」「思い出すために」
- ・6月10日 萩原氏に代わって三木氏 「富士山」「梁塵秘抄」

※6月9日の会場、6月10日の時間と会場は記録子のメモが不正確なため改めてご案内いたします。

2007年3月31日(土) 14時～16時半 経沢邸

(C) 甲和 (T1) 大野、関本、村田 (T2) 仮谷川、北村、経沢

(B1) 奥村、藤山、淵山、(B2) 奥戸、木戸、鈴木、待山、山邊、服部 以上16名

体操の後発声

練習曲

「思い出すために」から

1. かなしみ

初めての練習である。階名・L a・歌詞の何でも良いから歌いやすい手段で歌うよう、との指揮者の指示があったが、自然に歌詞で歌うようになった。

指揮者の説明と注意

1. 曲は高音部と低音部のからみ。正確に覚えてほしい
2. 5小節 ”いつも” で低音部が遅れる。
3. 8小節 ”いえがある” の”が” で低音部が遅れ勝ち
4. 20小節 ”ひとりぼ” で低音部が上がりきらない
5. 21小節 ”わたしは” で高音部は低音部にそろえる

*連絡事項

演奏会前日の練習場が決まりました。

7月21日 13時～16時30分

世田谷区太子堂二丁目 16-7
区役所三軒茶屋分庁舎 5階
東京在住者は早めに来て椅子を揃えてください。

2007年3月24日(土) 14時~17時 第一文化ビル 314号室

(C) 甲和 (T1) 大野、村田 (T2) 仮谷川、北村 (B1) 奥村、藤山、湊山、山田
(B2) 奥戸、木戸、待山、山邊、服部

体操と発声

練習曲「思い出すために」より

3. 世界のいちばん遠い土地へ
2. てがみ
4. ぼくが死んでも
5. 思い出すために

*連絡事項

- ① 3月31日(土)には、「思い出すために」より1. かなしみを練習します。
- ② 6月9日(土)の練習場所
午後2時~3時 第二スタジオ
午後3時~5時 413号室
- ③ 6月10日(日)の練習場所
午後1時~5時 314号室

2007年3月17日(土) 14時~ 於; 第一文化ビル(大久保) 4F Rm413

(C) 甲和、(T1) 大野、関本、村田、(T2) 仮谷川、北村、
(B1) 藤山、(B2) 奥戸、木戸、待山、山邊 以上11名

練習した曲 (14:00~16:30)

「思い出すために」 3 ; p13 to p19、「思い出すために」 6 ; p34 to p39

連絡事項

- 1 第7回定演東京演奏会の子安メモ(大野さん経由)が伝達されました。
- 2 (3月の練習)
3/24 14時~ 於; 第一文化ビル(大久保) 3F Rm314 (phone; 03-3371-2562)
3/31 14時~ 於;経澤氏書斎

2007年2月24日(土)

欠号

2007年2月10日(土)

参加者 (C) 甲和、(T1) 関本、村田、大野、(T2) 仮谷川、経澤、北村
(B1) 奥村、淵山、藤山、(B2) 待山、木戸、山邊

練習曲 「思い出すために」より2曲(4 僕が死んでも、6 種子)

初めてこの曲を練習した。最初に木戸さんが作成されたピアノパートの入ったCD(これは、テンポのゆれ、曲想、そしてブレスも入っているすばらしい労作である)を聴いてイメージを掴んだ。

甲和さんのピアノに合わせて歌詞をつけるところまで進めた。ドイツ物とはちがって、2声部が絡み合いながら旋律を歌うので、非常に勉強になる。主旋律と対旋律の歌い分け、フレーズの表情の付け方が出来るようになればよいが、今日はまだそこまでは行かなかった。テナーもそうであるが、特にバリトン・バスの方にはとまどいがあったようだ。

ワインパーティ、赤2本銘柄は記録せず。

話題は今日の練習曲から。シャープ1個でよいのに、なぜフラットを6個もつけて全体を半音下げるのだろうかという素朴な疑問に始まって、弦楽器、管楽器、そしてラッパへ。「ラッパで統制される生活」を送った経験のある関本さんから、陸軍の就寝ラッパは味も素っ気も無いが、海軍の就寝ラッパは長くて聞いているといつの間にか眠ってしまうようなものだった、と口真似をいれて面白い話をして頂いた。

次回は24日

(記録係が欠席のため代わって報告します) 大野 堯

2007年1月27日(土)14時~ 於;経澤氏書斎

(C) 甲和、(T1) 大野、(T2) 仮谷川、北村、経澤、(B1) 奥村、藤山、淵山
(B2) 奥戸、服部、待山、山邊 以上12名

練習した曲 (14:00~17:00) Rosen aus dem Sueden ことば(歌詞)共

奥戸 行一郎

2007年1月13日(土)

欠号

2006年(降順)

2006年12月9日(土)14時~ 於;土屋ビル4F(大久保)

欠号

2006年11月25日(土)14時~ 於;土屋ビル4F(大久保)

(C) 甲和、(T1) 花田、村田、(T2) 大野、仮谷川、北村、
(B1) 奥村、藤山、淵山、堀、山田、(B2) 奥戸、木戸、鈴木、待山、山邊 以上16名

練習した曲 (14:00~17:00) Rosen aus dem Sueden
ことば(歌詞)無しで音取り

連絡事項

12/09 (土) 14:00～、今年最後の練習 於; 第一文化ビル 3F(大久保)

PS ; 所要あり奥戸は 12/09 の練習と 01/13 の新年会を休みます。初出(01/27)の練習には参加します。

気の早い事ですが、皆様どうぞ良いお年を。

奥戸 行一郎

2006年11月20日(月) 18時半～ 於; 土屋ビル 4F (大久保)

(C) 甲和、(T 1) 斉藤、関本、花田、(T 2) 仮谷川、北村、経澤、
(B 1) 奥村、藤山、淵山、山田、(B 2) 奥戸、木戸、鈴木、待山、山邊 以上16名

練習した曲 (18:30～21:00)

「富士山」から *II 作品第肆
*V 作品第貳拾壹

連絡事項 11/23 男声合唱 festival 出演
11/25 (土) 14:00～、11月最後の練習 於; 土屋ビル 4F (大久保)

奥戸 行一郎

2006年11月11日(土) 14時～ 経澤氏書斎

(C) 甲和、(T 1) 斉藤、関本 花田、村田、(T 2) 大野、仮谷川、北村、経澤
(B 1) 奥村、藤山、堀、山田、(B 2) 奥戸、木戸、鈴木、待山、山邊 以上19名

練習した曲 (14時～16時)

「富士山」から *II 作品第肆
*V 作品第貳拾壹

ワインパーティ (16時半～17時半)

話題 11/23 用練習あと1回、11/20 (月) 18:30～、於;土屋ビル 4F(大久保)

奥戸 行一郎

2006年10月28日(土) 14時～ 経澤氏書斎

(C) 甲和、(T 1) 大野、関本 村田、(T 2) 仮谷川、北村、経澤
(B 1)、奥村、藤山、山田、堀、藤山 (B 2) 奥戸、木戸、鈴木、待山、山邊 以上17名

練習した曲 (14時～16時半)

「富士山」から *II 作品第肆
*V 作品第貳拾壹

ワインパーティ (16時半～18時)

話題

- ① 11/23 用練習あと 2 回、1 回目 11/11 (土) 通常通り、
2 回目 11/20 (月) 18:30～、 於;土屋ビル 4F(大久保)
- ② 2007/7/22 用会場; トップパンで本部大阪の了解待ち
- ③ 2007 新年会会場; 三田で予約予定

奥戸 行一郎

2006 年 10 月 14 日 (土) 14 時～ 経澤氏書齋

(C) 甲和、(T 1) 関本 村田、(T 2) 仮谷川、北村、経澤
(B 1) 奥村、藤山、山田、堀 (B 2) 奥戸、木戸、鈴木、待山 以上 14 名

練習した曲 (14 時～16 時半)

「富士山」から *II 作品第肆
*V 作品第貳拾壹

ワインパーティ (16 時半～17 時半)

話題

- ① 11/23 用練習あと 3 回、三回目 11/20 (月) 18:30～、 於; 辻音楽事務所(大久保)
- ② 2007/7/22 用会場; 各自候補調査結果を大野会長にメール連絡の事
- ③ 2007 新年会会場; 調査続行

奥戸 行一郎

2006 年 9 月 2 日 (土) 14 時～17 時半 経澤氏書齋

(C) 甲和、(T 1) 大野、花田 (T 2) 仮谷川、北村、経澤
(B 1) 奥村、湊山、藤山、堀、山田 (B 2) 木戸、待山、山邊 以上 14 名

練習した曲 (14 時～16 時半)

「富士山」から

IV 作品第拾捌

譜読みおよび、歌詞付け

短い曲ではあるが、曲作りは難しそうです。

II 作品第肆

各部分の歌い方や歌詞を確認しながら、少しずつ表情付けを行いました。

ワインパーティ (16 時半～17 時半)

話題 多田武彦氏について

男声合唱フェスティバルについて

東京公演について

奥戸 行一郎

2006年8月26日(土) 14時～17時半 経澤氏書斎

(C) 甲和、(T 1) 大野、村田、花田 (T 2) 仮谷川、北村、経澤
(B 1) 奥村、淵山、堀、山田 (B 2) 奥戸、木戸、待山、山邊 以上15名

練習した曲 (14時～16時半)

「富士山」から *III 作品第拾陸
*I 作品第壹

ワインパーティ (16時半～17時半)

話題 9月の練習は第1、2土曜日、すなわち2日と9日になります。

奥戸 行一郎

2006年8月12日(土) 14時～17時半 経澤氏書斎

(C) 甲和、(T 1) 大野、村田、花田 (T 2) 仮谷川、北村、経澤、(B 1) 奥村、淵山、堀
(B 2) 奥戸、木戸、待山、山邊 以上14名

練習した曲 (14時～16時半)

「富士山」から *I 作品第壹
*V 作品第貳拾壹

尚、「Rosen aus dem Sueden」なる楽譜を配付(練習はせず)

ワインパーティ (16時半～17時半)

話題 11/23(木)の東京男声合唱フェスティバルに出演すること決定
披露する曲の選考は甲和さんに一任

今回から記録子が変わりました。非常に無頓着な記録子の為、長続きする事のみを期し極力簡単なレコードにしています。

奥戸 行一郎

2006年7月22日(土) 14時～17時半 経澤氏書斎

(C) 甲和、(T 1) 大野、村田 (T 2) 仮谷川、北村、経澤(B 1) 奥村、淵山、山田
(B 2) 奥戸、木戸、堀、待山、山邊、服部 以上15名

定演をはさんでほぼ1ヶ月ぶりの練習です。

東京地方は梅雨が終わらず、経澤氏書斎から見える街は水蒸気に包まれています。

体操のあと発声練習。

Mハミング、M→Ma 顎を軟らかく保つ

音を動かす Ma 音を咽喉でコントロールしない。

Ma→ Me→Ma Meが上がりきらない。

響きがない（ひらべったい）。

最後の Ma はしっかり戻す。

Ma→Me→Ma→Me→Ma

あとの Me は音が下がる。

定演の報告（甲和）

東京から6人参加した。Enfans・・・は大野兄だけ参加。

好評だった。プロに入ってもらって音が安定した。

関本さんの紹介 21歳、演奏は好評でアンコールを二曲弾いた。

来年の演奏曲について（甲和）

全部は決まってない。

「富士山」は決定済み。「柳河」に続く多田武彦二作目である。

「柳河」で音域が狭いと批判されたせいか、「富士山」では広がっている。また曲が一般に長くなっている。

「富士山」昔の版と今使用中の版では、曲想が変わっている。

また音符が T2 の一箇所に変更になっている。

音源は慶応義塾ワグネル・ソサィエティーにある。

（1885年コンサートにあり）

練習曲 「富士山」から

* II 作品第肆

この曲は長調・短調が交互にでるので、夫々の和音を掴んで歌うこと。

歌詞 なわとびは二人でまわすなわとびであろう。

”自分の顔は両掌・・・”りょうたなごころと読むべきであろうが、ここではりょうてと振り仮名がついている。

10頁 1段目2小節 T1/T2 歌いだしの音にもどること。

同じく4小節 B1/B2 3小節始めの音にもどること
コンサートで、戻りきってないのをよく聞く。

11頁 2段目3小節 ”どていのしたのうまごやし”の”う”の音をしっかりとると同時にはっきり”う”と発音する。

* I 作品第壹

4頁 4段目4小節 B1/B2 ユニゾンは高音部をよく聞きながら入ること

5頁 1段目5小節最後の音 四部とも もっとも綺麗な和音です。

7頁 2段目 4小節まで練習しました。

ワインパーティ

"Zeller Katz"2001（白）、Mosel-Saar-Ruwer

”十勝ワイン トカップ”（赤） 北海道中川郡池田町

”Casellero del Diablo" 2004（赤）, Concha y Toro, Chile

話題

東京でのコンサート

色々な意見が出ましたが、大野支部長がまとめて本部との打合せを行う事としました。

次回から記録子が変わります。長い間読んで下さり感謝です。

(C) 甲和、(T1) 関本、村田 (T2) 仮谷川、北村、経澤(B1) 奥村、藤山、湊山、山田
(B2) 奥戸、木戸、待山、山邊、服部 以上15名

定演前の東京での最後の練習です。JICAでジャワの鉄橋の仕事をなさっていた奥戸さんが復帰下さり、B2は5人体制となりました。

体操と発声

M ハミングから Ma そして Ma→Me

ハミングの時に鼻を鳴らす人がいる。

咽喉に力が入っている。もっと軟らかく。

練習曲

1. 僧侶の合唱

本部からのパート練習用MIDの提供があり、また経験者も居て、階名の後すぐに歌詞をつけました。

2. ザラストロのアリア

合唱部分は合計8小節ながら再度練習しました。

3. 柳川風俗詩

「紺屋のおろく」から「かきつばた」に移るとき、「かきつばた」から「梅雨の晴れ間」に移る際は曲想が大きく変わるので、深呼吸をして気分を変える様、指揮者から注意されました。

I 柳河

- ・P45 三段目 ” に うつった” では ” に” の i、” う” の u はしっかりたてること。
- ・P45 cresc.& accel に留意。あとP45 二段目でTempo Iに戻る。
- ・P46 四段目 B1はレガート

II 紺屋のおろく

全般に歌詞をもっと語れ。

- ・P47 二段目 ” しらぬ” から” かお” に移るのが遅れる。
- ・P48 最後の段 ” ほんに ほんに” の ” ほ” をしっかり発音する。
” おんに” と聞える。

III かきつばた

- ・P49 最後の段 オクターブユニゾン をしっかり歌う。
” かきつばた” の” か” をしっかり発音すること。

IV 梅雨の晴れ間

- ・歌い始めをもたつかないよう
- ・しっかりしゃべる
- ・リズム感を掴む
- ・拍の頭のアクセントをはっきり伝える
- ・” みずぐるま” のテンポをつかむ
- ・P52 三段目以下五段目終りまでの合唱部分は、mp→mf→f→ff である。四段目” たびのおやま” の箇所はまだmf である。注意！

・P5 3一段目&二段目をパート練習

連絡事項

次の練習は7月22日（土）午後2時からです。

練習曲は追ってご連絡いたします。

（7月8日の練習は都合によりお休みとします。）

ワインパーティ

奥戸さんを囲み話が弾みました。

赤一本半、白一本消費しました。ブランドは記録忘れです。

話題

定演のこと、

インドネシアの歴史、ODA 鉄橋、音楽

天下り

島について、山について

2006年6月10日（土）14時～16時 経澤氏書斎

（C）甲和、（T1）大野、関本 （T2）仮谷川、北村 （B1）奥村、藤山、湊山、山田

（B2）木戸、待山、服部 以上12名

練習場を使わせてくださっている経澤氏が珍しくも欠席。団員は主なき書斎に上がりこんで練習となりました。

体操の後、発声練習

Mハミング 口も体も用意してポンと声を出す準備が必要 M→Ma、Ma→Ma→Ma、Ma→Me→Ma 等で音を動かす。

Ma→Me→Mi→Mo→Mu→Mo→Mi→Me→Ma では最後の Ma の音がさがるとの注意がありました。

後刻テープを起こしてみると今日の発声練習は綺麗な音が出ています。注意が少ない理由が判りました。

練習曲

*Geschichten aus dem Wiener Wald

定演で合唱団が歌わない所と歌う順序の変更があり、指揮者から 順を追って具体的に説明がありました。あと変更通り通して歌う。

waltz③一拍目と二拍目の間を心持短く。

waltz④の256小節、264小節の Wenn der の食いつきをはっきりと。

*「魔笛」からザラストロのアリア

大部分がソロで合唱団は4小節が二箇所だけの短い曲です。

いきなり歌詞をつけて通しました。

連絡事項

次回練習は6月24日（土）です。

定演後は7月22日（土）に練習を始めます。

ワインパーティ

- ・ Zeller Schwarze Katz 2004, Mosel-Saar-Ruwer (白)
- ・ Remole Toscana 2003, Marchesi de Frescobaldi (赤)

話題

房総の山蛭、勤労奉仕の際の田んぼの蛭、 村上ファンド、日本の人口減少

2006年5月27日(土) 14時~16時30分 経澤氏書斎

(C) 甲和、(T1) 大野、村田 (T2) 仮谷川、北村、経澤(B1)、奥村、藤山、山田
(B2) 木戸、待山、山辺、服部 以上13名

体操の後発声練習

Mハミング

M→Ma 音は額で響かせ腹で支える。

Maは口先でまーと平べったくならないように。

一般に口の端をあげるようにして発声する。

練習曲

*RADETZKY MARSCH

以前に練習した曲だが、ブランクが長く殆ど初見と同じです。

階名で音を確認し歌詞を音符読みした後歌詞をつけて通しました。

ドイツ語の読みと表現記号に従って歌うよう指揮者に言われ、動体視力の鍛錬になる、と軽口が出る程度の仕上がりです。

指揮者の指示をしっかりと見られるよう歌い込みが必要です。

*柳河風俗詩

II 紺屋のおろく

III かきつばた

IV 梅雨の晴れ間

練習を重ねた曲だけにこなれてきましたが、指揮者から注意、それも同じ注意を何回か受けることがあり、その都度情けない思いです。

ワインパーティ

Piespirter Wichelsberg, Mosel-Saar-Ruwer Qualitaetswein (白)

赤は記録漏れ。申訳ありません。

話題

ラインワイン、川の名前(名前が変わる川)、健康、i-Pod

2006年5月13日(土) 14時~16時30分 経澤氏書斎

(C) 甲和、(T1) 大野、関本、村田 (T2) 仮谷川、北村、経澤(B1) 奥村、藤山、山田
(B2) 待山、山辺、服部 以上13名

うっとうしい天気です。時々降って来ます。今週は各パートが3名ずつです。「ドナウ」を練習しました。

*体操&発声

指揮者の注意

Mハミング

- ・ビブラートをかけない。
- ・口の周りをやわらかく
- ・(音を動かすと)最初の音と最後の音では、最後のほうが咽喉声になっている。

M a →M e →M a

- ・M e が相変わらず平べったい

練習曲

"An der Schoenen Blauen Donau"

何度か通して歌いました。指揮者の注意を下記。

P2 1 段目最初の小節 T1,T2 はゆっくり出ること。

2 段目第3小節 T1,T2 は "in" と言い直すこと。

4 段目第2小節,第4小節の "f" からテンポを早く。

5 段目最後の小節、"und"の発音は日本語の "う" ではない。

"おう" に近い。

P3 1 段目第1小節 からやや緩く。

5 段目第4小節 T1,T2 "alle"の発音。”あるれ2の気分。

P4 1 段目第1小節 T1,T2 第3小節 B1,B2 の "Nixen" の発音。

"k"は無声音。

4 段目第1小節 "blaut"をしっかりと響かせる。

4 段目第2小節は"dolce"である。

P7 1 段目第1、第2小節は P→F である。

1 段目第1小節 "D'rum"が遅れ勝ち。注意。

P8 5 段目第2小節 3拍目をためて歌う。

次回は "柳河" と"Radetzky Marsch"を練習します。

楽譜を持参ください。

ワインパーティ

*Chablis Premier Cru" Vatlon 2004 (白)

*Chianti Leonard 2004 (赤)

話題

和民、天狗

大阪男声の運営について

(C) 甲和、(T 1) 大野、関本、村田 (T 2) 経澤(B 1) 奥村、藤山、淵山、山田
(B 2) 木戸、待山、山辺、服部 以上13名

経澤さんの書斎から横浜のランドマークタワーや羽田に離着陸する飛行機が見えます。しかし西の方、富士山は今日も雲をかぶっています。気温17~18度。

今週はT 2が二人欠席で経澤さんだけです。

体操の後発声練習

*Mハミング ブレス後、体を整えてから声をだすこと。鼻にかかりすぎる。

口の中の空間を鳴らすこと。

*M a Mの続きのまま口を開ける。咽喉はリラックス。

音を動かすと次第に音が咽喉にかかり、咽喉で音をコントロールしようとしている。

*M a →M e →M a

M eは平たくならないよう。

練習曲

柳川風俗詩から II 紺屋のおろく

P 47 二段目「ゆうひのはまを」まで刻む。あと「しらぬかおして」から「しゃな一と」までテヌート。

poco a poco accel なので「はまを」まで前に倒して歌う。

二段目「しらぬかお」の「し」のくいつきをはっきりと。

四段目「きんのゆびわーも」 「ゆ」をたてる。

五段目B 1. B 2 「はくじょうなめつき」では「は」を立てる。

T 1. T 2 「くろの」は「く」をはっきり発音する。

P 48 三段目「あかいいりひに・・・つまされて」はテヌート。

四段目「しねばよい」は「しねば」と「よい」を分ける。「よい」はテヌート。

各所の「にくい」の「に」をはっきり発音する。

この曲には気持ちをぶつけるところ、引いたところ、小馬鹿にしたところがあり、それらの歌詞に加えてリズム、アクセント、テヌート、スタッカートなどで表現しようとしている。気持ちの切り替えが随所にある。例えば死ねばよいといいながら本当にそう思っているのではない。

GESCHICHTEN AUS DEM WIENER WALD

28小節から31小節 各小節に二分音符があるという安心感からか遅れて間延びする。リズムに遅れないよう。

149小節 etwas zurueckhalten から152小節で a tempo になり、153小節で cresc.となる。指示通りに歌うこと。

257小節の高音はB 2は遅れがちになるので気張らなくてよい。

連絡事項

次の練習には「美しく青きドナウ」の楽譜も持参ください。

ワインパーティ

白・赤共に日本製のワインをトライしました。

ブランド名の記録を忘れましたが、うまく仕上がっていました。

話題：ポリフェノール、イソフラボン、サプリ、みのもんた 奇跡の水（ドイツ）、睡眠薬、
枕（小豆、パイプ、厚紙） 冠婚葬祭の簡素化、姓

2006年4月8日（土）14時～16時30分 経澤氏書斎

(C) 甲和、(T1) 大野、関本、村田 (T2) 仮谷川、北村、経澤 (B1) 淵山、山田
(B2) 木戸、待山、服部 以上12名

昼過ぎに前線が東京を通り、涼しい午前と暖かい午後にはっきり分かれました。桜の季節がゆっくり通り過ぎて
います。

今週はT1が全員出席です。木戸さんが「ウインの森・・・」の練習用音源を作ってくださいました。

体操。発声練習

Mハミングの後、Maと伸ばす。音を動かす。途端に音が下がる。

とくに最後の音が落ちる。音を向こうへ向こうへと出すこと。

今日は何度もやり直しを受けました。

Ma→Me→Ma 相変わらずMeが平べったい。

練習曲 「柳河風俗詩」から

今日は歌詞の発音を主体にチェックを受けました。

Ⅲ かきつばた

- ・「ふるきながれの」 ユニゾンだから低音系は高い音を余り 頑張らない。「な」をはっきり発音のこと
- ・「三味せんの」 B2「ん」から「の」は一オクターブ飛び上がり、B1と 同じ音になるので、頑張り過ぎないこと。
- ・「なきあかす」 「な」をはっきり発音すること。
- ・「けつぐりのあたまにひんちいた」 「ちいた」の「ち」にアクセントがある。B1は少々ゆっくりと歌う。
- ・P49五段目「ひるはオンゴのてにかおり」 ここはこの曲のクライマックスの場所である。しっかりとはっきり歌うこと。
- ・P50一段目「てにかおり」 「かおり」をT1, B1, B2の三部が合わせること。
現状はばらばらに歌っている。

Ⅳ 梅雨の晴れ間

この曲はmpで始まる。最初から頑張りすぎないよう。

- ・P50三段目「あしどりかろく」 「あ」を口を開けてしっかり発音する。 スタッカートの場合は子音を立てる。
- ・P51三段目 「わらうなり」は「わろうなり」と発音する。
- ・同じく 「まわせ まわせ みずぐるま」の「ず」は殆ど発音するな。→テンポが狂う。
「まわせ まわせ」の「ま」はMで待って少しためるように発音する。

- ・四段目 B 1 / B 2 「みずぐるーま」の「ぐ」のくいつきが遅い。注意。
- ・P 5 2 一段目 「たまーりみず」のT 2 「ず」の音が怪しい。注意のこと。
- ・同じく三段目 「まわせまーわせ以下四段目三小節のみずぐるま」迄はT 2 / B 1 / B 2 いずれも少しテンポを落とすこと。「まわせまわせ・・・」の後の「ま」は「せ」の時からMを意識して発音のこと。
- ・P 5 3 一段目 「まわせみずぐるま ま」でB 2 「み」と「最後の「ま」の音が下がる。注意
- ・同じく一段目はT 2 と B 1 のテンポの取り方に注意。
- ・同じく B 2 は一段目の「みずぐるま」はレガートで、二段目の「みずぐるま」は他のパートに合わせて歌うこと。
- ・同じく B 1 は何度目も出てくる「まわせ」をしっかりと発音のこと。
- ・三段目 「べに」の「べ」 B 2 の食いつきが悪い。注意。
- ・四段目 「あしどりかるく てもかるく」 子音をたてること。

ワインパーティ

*WILHELM BERGMANN (白) Mosel-Saar Ruwer 2004

*Alasie Barbera D'asti (赤) Seperior 2003

話題 電力会社、歌詞翻訳、川柳、烏トラップ、現金のあり場所

2006年3月25日(土) 14時~16時30分 経澤氏書斎

(C) 甲和、(T 1) なし、(T 2) 仮谷川、北村、経澤 (B 1) 奥村、藤山、淵山、山田
(B 2) 木戸、待山、山邊、服部 以上12名

快晴です。東京の開花が宣言されましたが、まだちらほら程度です。

T 1 が全員欠席でメロディーなしの練習になりました。

体操の後発声と指揮者の注意

Mハミング。hを入れると音程がぶれるのでmのみの発音のこと。

鼻の中間で響かせる。

M→Ma Ma で音を動かす。Ma は軟口蓋を開けて真直ぐ前に声を出す。最後の音が落ちる傾向がある。注意。

Ma →Me →Ma 最後のMa の音が落ちる。

練習曲

「ウィーンの森の物語」

T 1 が全員欠席のため練習曲を「ウィーン・・・」に変更しました。

音階と歌詞で最初から終わりまで指定通りのリフレインで二度通しました。途中つかえる所、自信のないところは繰り返し練習しました。

歌詞は日頃余りお目にかからないドイツ語だけに今後繰り返し練習が必要でしょう。

連絡事項

4月8日(土)の練習曲は「柳河」を予定しています。

ワインパーティ

オリンピックにあやかり、赤ワインの肴にゴルゴンゾーラ+イタリアンパセリを試しました。白にはエメンタールの味噌漬けを添えました。

いずれも好評と勝手に喜んでいきます。

*MONSANTERIO DE SANTAANA 2004 S P A I N (赤)

*JACOB'S CREEK CHARDONNAY 2004 SOUTH AUSTRALIA (白)

話題

①PSE ②牛窓 ③日本酒

2006年3月11日(土) 14時~16時分 経澤氏書斎

(C) 甲和、(T1)大野、関本、村田 (T2) 仮谷川、北村、経澤

(B1)、奥村、藤山、淵山、山田 (B2) 木戸、待山、山邊 以上14名

体操に続いて発声練習。

Mハミングから始める。Mから口を開けてMaーと伸ばす。音が下がるのを注意される。MaーMeーMaーで音階をやるが、特に降りてゆくときに音が垂れる。

練習曲

*「ウィーン・・・」のCODA(前回未練習)から始め、パート練習から2部、4部と展開して最後は言葉をつけて練習しました。

*柳河風俗詩から「I. 柳河」

”ノースカイヤ”の”ノ”、などの出を合わせること、”母の形見の”の出だしの”は”を合わせることなど言葉の出だしに注意するよう指示されました。

低声ユニゾンの”赤い糸で”はゆっくり、はっきり、発音するようになどの指示もあり、それらを含めて要するにキレのよい発声を心がける必要があります。

今日又、強力な仲間が宇都宮から参加してくださいました。

木戸啓喜兄、B2、1958阪大男声入団です。奥村兄の紹介です。

これで低声部は練習参加者ベースで4人体制となり、益々厚みが増して来ました。

練習後、恒例のワインパーティーは木戸兄の歓迎パーティーとなり、団員各自の自己紹介だけで一時間半を要し、消費ワインも三本と久しぶりに盛り上がりました。

ワインの明細は待山兄の解説つきで以下の通りです。

- ・ZELLER SCHWARZE KATZ 2003年もの創立1618年のグスタフ アドルフ シュミット社製の白モーゼルワイン
- ・BOUTARI KRETIKOS 2002年ものヨーロッパワイン発祥の地、クレタ島(ギリシャ)のブメーリ クレティコス社の赤ワイン。
珍しいギリシャ製ワインです。
- ・COUVENT DES JAKOBINS BOURGOGNE 1859年創立のルイジャドウ社(ブルゴーニュの代表的メーカー)製の赤ワイン

2006年2月11日(祝・土) 14時～16時10分 経澤氏書齋

(C) 甲和、(T1) 大野、関本、村田 (T2) 仮谷川、北村、経澤 (B1) 奥村、藤山、湊山
(B2) 待山、山邊、服部

相変わらずの好天です。経澤兄の書齋から遥か南の横浜ランドマークタワーが目に入ります。

今日から北村兄がT2に参加くださり、T2は3名体制になりました。

長らく2名だったので格段に歌い易くなったとT2のコメントです。

これで各パート3名が揃いました。次は4名体制を目指したいと思います。

体操。あと発声練習。

いつもの通りMハミングから。Mハミングは顎が堅い。力を抜く。

M→Ma 下顎でMaではなく、上顎で発音する積りで(無理だが気分の問題)。

Ma→Ma→Maで音を動かす。咽喉で音を動かすな。

Ma→Me→Ma Meは暗めに音を出す。

練習曲

前回に引続き「ウィーンの森の物語」

7ページ206小節から順番は206～222→207～224→227～242→227～243(244～247)→207～226

()は間奏歌詞を読み、続いてリズム読みのもと歌詞で歌う。

ウィーナワルツは本来ワン・ツーで三拍目の裏が結構短い。

しかし歌詞がつくと三拍目が重くなって次第に曲が遅くなる。

本来のリズムをしっかりと刻んで欲しい。

連絡事項

2月25日(土)は都合により練習をお休みとします。

次回は3月11日(土)です。

ワインパーティー

*Pri Maria (白)、Gustav Adolf Schmidt Spaetlese 2000, Rheinhessen

*Cosillero del Diablo (赤)、Concha y Toro Cabernet Sauvignon, 2004

この日の話題は本部の問題。どちらにも言い分があるでしょうが、大人の判断を期待するとの意見が大勢です。

東京サイドの意見は大野支部長からといたします。

2006年1月28日(土) 14時～16時20分 経澤氏書齋

(C) 甲和、(T1)大野、関本、村田 (T2) 仮谷川、経澤 (B1) 奥村、藤山、湊山
(B2) 待山、山邊、服部

冬晴れの毎日です。今日は風が強いものの気温が上がってきました。

山邊兄がB2に加わってくださり厚みが増しました。

北村兄の参加が実現すればより素晴らしいハーモニーが響くと期待しています。

体操の後発声練習。

MハミングからMaへ。とたんに音が下がると指摘される。

Maで音を動かす。最後の音が戻りきらない。咽喉で音程をとっているのが原因。

Ma→Me→Ma。Meは口を平べったく開かないように。少し暗めに発音する。

Ma→Me→Mi→Mo→Mu→Mo→Mi→Me→Ma。

練習曲

"Geschichten aus dem Wiener Wald"

最後の練習から三ヶ月近くになります。階名で音を確かめなおし、あと歌詞をリズム読み。歌詞をつけてワルツ2の最後(205小節)まで進みました。ここまでしゃにむに進んだ感じです。

連絡事項

2月から通常の練習スケジュール(第2および第4土曜日)に入ります。今回は2月11日(土・祝)です。

練習終了後恒例のワインパーティーです。

年末年始の空白があったためか話題が豊富でした。

記録子は話題の多さに気をとられ、この日消費したワインの記録を忘れました。白・赤一本ずつでした。

この日の話題：

デジカメと設備の償却期間。

金型

鉄道とトンネル

水銀(昇汞水に関する蒔蓄の披露あり)

その他

2006年1月21日(土) 14時~17時00分 経澤氏書斎

(C) 甲和、(T1)大野、関本、村田 (T2) 仮谷川、経澤 (B1) 奥村、藤山、湊山 (B2) 待山、服部

今年初めての練習日は前夜来の雪です。練習後は京橋の美々卯で恒例の新年会を行いました。今年は本部の臨時総会とぶつかり、大阪からの来訪者が見られないのは寂しい。

軽く体操の後発声練習。

Mハミングに続き、Ma、Ma→Me→Ma、Ma→Me→Ma→Me→Maで音を動かす。

今年初めての練習に加え後の新年会もこれあり、指揮者の注意にいつもの冴えが見られないのは記録子の偏見か。

練習曲

新年会会場での演奏に備えました。

1. 大阪大学学生歌 青山編曲

2. 大阪大学学生歌 林 編曲

3. Muss i denn (パート練習もあり)

4. Staendchen

練習後、今年の東京からの定演参加につき意見交換しました。

委細は大野支部長から本部へ別途ご連絡いたします。

新年会は京橋美々卯で行いました。前述どおり本部からの参加者がなかったものの堀兄の尽力で計19名の参加を見ました。

席上、北村兄と山辺兄が次の練習からの参加を承諾くださり、年明け早々の朗報に一同大喜びです。

2005年（降順）

2005年12月10日（土）14時～16時10分 経澤氏書斎

（C）甲和、（T2）仮谷川、経澤 （B1）奥村、藤山、湊山、山田 （B2）傘谷、待山、服部

今日は快晴で気温は例年並みに戻り、練習場の経澤氏書斎から富士山が望めました。

T1が全員欠席です。傘谷氏が初めて参加されました。

体操の後発声練習。

Mハミングに続くMaでは音が下がる。声を咽喉に落とさないよう。

Ma→Ma→Maは口をあける意識を持たないように。

Mをしっかり立てる。

Ma→Me→MaはMeを横に開かないよう。全般に顎がかたい。

Ma→Me→Ma→Me→Ma 三番目のMaの音をしっかりとる。

練習曲

「柳河風俗詩」から

Ⅲ かきつばた

P49 一段目3小節「ながれの」の「が」は鼻濁音

P49 三段目3小節「ほそいといき」の「ほ」、5小節「なきあかす」の「な」ははっきり発音すること

P49 五段目4小節「・・・ながれ一の」の「一」で「え」を強調しないこと。

P50 二段目3小節「ほそいといき」の「ほ」も同様はっきりと発音。

Ⅱ 紺屋のおろく

P47 二段目4小節 遅れるな、5小節「かおして・・・」は間延びしないように。

P48 一段目2小節 「けじゅすか・・・」の「じゅ」は、スパッと発音する

Ⅳ 梅雨の晴れ間

テンポは良くなったが、音はひどい。

P51 三段目5小節 B1・B2 テンポを保つため「みずぐるま・・・」の「ず」は軽く発声する。

次は「ウインの森・・・」の練習を予定。新年会の歌も少々練習するかも知れません。

*次回練習は12月24日ですが、各自のご都合次第では練習にならないかもしれないので、ご都合をなるべく早くお知らせください。

ワインパーティ

*CHATEAU DE CAMPUGET 2003 (白) COSTIERES DE NIMES

*Vino Tinto Barrica 2003 (赤) DON RAMON CAMPO DE BORIA, Spain

話題はみずほ証券の誤発注に関連しコンピュータシステムの話、男声合唱でパートの決定基準、楽譜の印刷
etc.,

2005年11月12日(土) 14時~16時10分 経澤氏書斎

(C) 甲和、(T1) 大野、関本 (T2) 仮谷川、経澤 (B1)、奥村、藤山、湊山 (B2) 堀、待山、服部

東京は連日の好天です。湿度が下がり、記録子のパソコンがしょっちゅう立往生するのは静電気を拾うからだとか。堀兄が久し振りにお出でになりました。

体操の後、発声練習。

この時指揮者の注意が集中的に出されます。

Mハミング。

M→Ma Maで音が下がっている。Ma→Me→Ma Meで音が平べったくならないよう。

最後のMaの音が下がっている。

練習曲

「柳河風俗詩」から

IV 梅雨の晴れ間

P51、四段目前から三小節目。みずぐるま・・・の「ぐ」の食いつきが悪い。

P52 四段目四小節目から、「たびのおやまもさしのぞく、みずをくみだせのところは、
“た、お、さし、み、く”にアクセントを置くこと。

P53 一段目四小節最後のバスのA音が下がり気味。注意。

III かきつばた

I 柳河

P45 四段目に小節以下が四部合いにくい。

P46 一段目から二段目に移るところ。(くくるのじゃー、もうしもうし)
語りかけるように。

ワインパーティ

*EMBASSY OF THE UNITED STATES OF AMERICA Tokyo, Japan, California, Cabernet Sauvignon (堀
兄持参)

*Petite Grande Polaire 山梨甲州辛口 Veshu Sur Lie 2002

アメリカ大使館で使われているワインはライトタイプで口当たり良く好評です。

甲州辛口もさわやかで人気があります。

話題

- ・世間を騒がしている耐震強度の偽装問題につき経澤兄が専門家の見地から構造計算、鉄骨・鉄筋の使い方を説明。
- ・東京支部新年会の案内、名簿作成、会場設定で意見交換。

2005年11月12日(土) 14時~16時20分 経澤氏書斎

(C) 甲和、(T1) 大野、関本、村田 (T2) 仮谷川、経澤
(B1) 奥村、藤山、渊山 (B2) 待山、服部

前回練習日の10月22日に木枯らし一番が吹いて以来、急速に冬に向かっていきます。
今日は心配された風邪の影響もなく、ほぼ全員が揃いました。

体操の後発声練習。

Mハミング、M→Ma, Ma→Me→Ma で音を動かします。

恒例によりここで指揮者の注意があります。

*M→Ma で音が落ちる。落とすまいとすると咽喉に力が入る。

*Ma→Me→Ma ではMeに行く前にMaの音を十分保つこと。

練習曲

「Geschichten aus dem Wiener Wald」

前回に引続きこの曲に集中しました。階名で最初から低音部パート→低音部二部、高音部パート→高音部二部、最後に

四部で合わせました。今日は反復部分も入れて曲の終りまでさらえました。

記録子は録音機を忘れたので指揮者の指示の筆記をトライしましたが出来ず。練習を終わって疲労困憊。この曲は本当にきつい。

連絡事項

次回は「柳河」を練習します。

ワインパーティー

*山梨甲州(白) 2002 PETITE GRANDE POLAIRE サッポロワイン(株)

*Alliance CABERNET MERLOT VINTAGE 2002 BAROSSA VALLEY AUSTRALIA

話題

- ・「ウインの森・・・」はきつい。器楽曲に歌詞をつけたためか。
その点、「美しき青きドナウ」と異なる。
- ・迷惑メールについて、

2005年10月22日(土) 14時~16時30分 経澤氏書斎

(C) 甲和、(T1) 大野 (T2) 仮谷川、経澤 (B1)、奥村、渊山 (B2) 待山、服部

気温の上下が激しく、風邪が流行っています。

東京支部も関本さん、藤山さんの両兄が風邪でお休みです。

今日は天気予報に反してうっとうしい曇り空です。

体操の後、発声練習。

Mハミングに始まり、Ma→Me→Ma、
Ma→Me→Ma→Me→Ma で音を動かす。

指揮者の注意

- ・最後の音が下がる
- ・音を咽喉で調節している。
- ・ほっぺたより上に音を持っていく。

練習曲

"Geschichten aus dem Wiener Wald"

合唱用移調楽譜に変わって今回からCdurの楽譜を使用。

前は204小節まで練習しましたが、楽譜の変更により、最初からやり直しました。

今日は全体を掴む目的で階名で最後まで通しました。

練習方法はいつもの通りです。

パート・低音二部、パート・高音二部あと四部合わせます。

次回からは歌詞をつけて仕上げに入ります。

練習後、ワインパーティ

うっとうしい天気には負けないようシャンパンにしました。

Veuve Cliequot Ponsardin

話題はシャンパンの製造法、大新聞の内容・販促方法など

2005年10月8日(土) 14時~16時 経澤氏書斎

(C) 甲和、(T2) 仮谷川、経澤 (B1)、奥村、藤山、湊山 (B2) 待山、服部

関東地方は秋雨前線の影響で連日湿っぽく、この日も秋空とは程遠い天気です。今日はT1が全員欠席となりました。

体操に次いで発声練習。

いつもの通りMハミング、あと母音を入れてMa→Me→Maなどで音を動かす。

指揮者の注意：音を胸に落とさないよう。顔の上半分へ持って行くこと。

音を動かすときは階段ではなく、レガートで滑らかに。

Ma→Me→MaではMeに力が入りすぎる。

練習曲

Geschichten aus dem Wiener Wald

階名で音を取りながら204小節まで進みました。

まずは曲想を掴むところです。指揮者が注意を与える所まで至っていません。次回の練習もこの延長と思われる。

今日の練習はことのほかきつかったです。

終わってワインパーティー。

途中大野さんが参加されて盛り上がりました。

*Pri Maria (白) 2002 Spaetlese, Rheinhessenn

*CHATEAU SAINTE-COLOMBE (赤) COTES DE CASTILLON 2001

話題は運転免許、民生委員、国勢調査、佐々木邦、三洋電機などあちこち飛ぶのはいつものことです。

2005年9月10日(土) 14時~16時15分 経澤氏書斎

(C) 甲和、(T1) 関本 (T2) 仮谷川、経澤 (B1)、奥村、湊山 (B2) 待山、服部

暑さがぶり返しました。

体操に次いで発声練習。M ハミングで音を動かす。

指揮者の注意

- ・ Ma-Me-Ma では後になるほど音が下がる傾向。
- ・ Me の音は平べったくせず深く発声する。

練習曲

予定を変更して「柳河風俗詩」

I 柳河

団員の半数が歌った経験がある。

階名のあと歌詞をつけ、いつもの手順で練習しました。

指揮者の注意

- *この曲はテンポ、強弱、ふくらましの変化が多い。
- 指揮者の指示を特に注意してみるよう。
- *P44 二段四小節 バスは最後の音が下がり過ぎないように
- *歌詞

- ・ P44 歌い出しの「もうしもうし」の「も」は M をため気味にうたう。
- ・ P44 二段一小節 「みやしゃんせ」の「み」は少し強く発音のこと。
- ・ P45 四段二小節 「ははのかたみ」の「か」は K をはっきり発音する。

II 紺屋のおろく

III かきつばた

IV 梅雨の晴れ間

以上三曲をさらえました。

連絡事項

- ・ 9月24日(土)の練習はお休みします。
- ・ 次の練習曲は Geschichten aus dem Wiener Wald 場合により Enfance finie も。

ワインパーティー

P.J.Valckenberg MADONNA LIEBFRAUMILCH, RHEINHESSEN

参加者6人で消費はこの一本のみ。

話題： 物忘れのこと、ワインのこと、翌日の選挙のこと

2005年8月27日(土) 14時～16時15分 経澤氏書斎

(C) 甲和、(T 1) 大野、関本 (T 2) 仮谷川、経澤 (B 1)、藤山、湊山 (B 2) 待山、服部

少し涼しくなりました。

今日は各パート二人ずつです。

体操。ついで発声練習

M ハミング、続いて Ma 次に Ma→Me→Ma→Me→Ma で音を動かす。

指揮者からの注意

*音がぶら下がっている

*咽喉で音を調節しないよう

練習曲

「柳河風俗詩」から

II. 紺屋のおろく

歌ったことはないまでもよく聞いた曲で、曲想が頭に入っている感じです。

いつもの練習の順序で最後に歌詞をつけて通しました。

指揮者からの主な注意

*各「にくいあんちくしょう・・・」の「に」の食いつきをはっきり歌うこと

*歌詞の注意

・P4 7一段目 にくいあんちくしょうは の「は」の音を飲み込まないよう

・同じく こうやのおろく の「こ」をはっきり K を発音する

・P4 8一段目 はかたおびしめ の「は」は H をはっきり発音する

III. かきつばた

前回練習の復習です。

終わってワインパーティー

*Zeller Schwarze Katz 2003 Mosel-Saar Ruver (白) *LINDE LA VIARTE 2001, Bianco

話題は

・「紺屋のおろく」にかんする本部からの資料について遊んでもらえないだけでは悪態が少々過ぎるのでは在京美術館のこと

・電話販売の撃退法などなど

2005年8月13日(土) 14時～16時10分 経澤氏書斎

(C) 甲和、(T 1) 大野、関本、村田 (T 2) 仮谷川、経澤 (B 1) 奥村、藤山、湊山 (B 2) 服部

体操の後発声練習

Ma ハミング mM a の感じで発声、音を動かす。

N a ハミング (ほほの辺りで発声する)

N a → N e → N a で音を動かす

練習曲 (柳河風俗詩より)

Ⅲ. かきつばた

*この歌はシンコーペーションを意識せず、べたべたと歌うこと。

*三段目2小節 バス 1オクターブ飛び上がるころは無理して歌わず、バリトンに付いてゆく程度にする。

*同じく3小節 三味せんの「ほそい」の「ほ」はHをはっきり入れる。

Ⅳ. 梅雨の晴れ間

*52 ページ三段目以下、まわせまわせみずぐるま まわせ・・・で「ま」をはっきり発音すること。

連絡

1. 次の練習 8月27日(土) 14時から

練習曲は Ⅱ. 紺屋のおろく。時間が残れば Ⅰ. 柳河をさらえます。

2. 新しい楽譜が来ています。

- Enfance finie
- Geschichten aus dem Wiener Wald

ワインパーティー

Suntory Reserve, Bourgogne, G. Duboeuf (白) Wolf Blass, Australia, Shiraz (赤)

話題

先月の地震のこと、(M6に訂正されました)

指揮者のこと (朝比奈隆、小林研一郎、郡司博など)

総選挙のこと

ドイツ製自動車のこと

2005年7月23日(土) 14時~16時15分 経澤氏書斎

(C) 甲和、(T1) 大野、関本、村田、(T2) 仮谷川、経澤、(B1) 奥村、藤山、湊山、山田
(B2) 待山、服部

来年の定演の曲目案内

青山	「ウインの森の物語」+「ドナウ」または「カイザー」
ditto	「柳川風俗詩」
中川	「アンファン・フィニ」
山崎	「黒人霊歌」

体操の後発声練習

Ma→Ma→Ma、Ma→Me→Ma→Me→Ma で音を動かす。

咽喉に力をいれるな

咽喉で音を探るな

最後の音が上がり切らない

練習曲

「柳川風俗詩」より 「IV 梅雨の晴れ間」

最初はゆっくりしたテンポで十数小節ごとを各パートが階名で音を確認する。

低音部・高音部の順に合わせ、最後に四部で合わせる。

29小節からシンコペーションが出て何度もやり直しさせられる。

ワインパーティーは2本

***MADONNA P.J.VALCKENBERG, RHEINHESEN* FAIVELEY 2002 BOURGOGNE**

定演の話が出たところで地震。震源は千葉県北西部 M5.7 深さ90km、世田谷の震度は4でした。